

授業科目名	人間と宗教			科目コード	K0103P04
英文名	Humans and Religion				
科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 人間理解				
職名	非常勤講師	担当教員名	福井 真		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	4限目		
開講時期	3年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	歴史的な流れを追いながら、人間にとって宗教的な営みがどのような意味を持ってきたかについて様々な側面から考察する。さらに世界三大宗教の教義や死生観を学び、世界的な視野で宗教が人間生活に与える影響力を考える。				
キーワード	生きる	悩み	希望	安心	
到達目標	宗教的な考え方、死生観について基本的な知識を持つこと。				
	人生で出遭うであろう様々な命の問題に対して真摯に向き合う姿勢と、他者の「信教の自由」に配慮しながらも、自分ならばどう生きるかについて、確かな知識に基づいた思慮深い対応が出来る力を身につけること。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
		○			
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	宗教を学ぶに当たって（宗教とは何か、宗教の諸形態）	
	【予習】家族や自分が大事にしている宗教、自分が行っている宗教的な行為（初詣など）があればそれらを列挙し、その宗教や宗教的な行為の内容・意味合いを調べておく。	30分
	【復習】宗教とは我々の生活においてどういう意味を持つのか、自分なりに考えてみる。	30分
第2回	宗教とは何か（宗教的な心の芽生え）	
	【予習】人生において乗り越えがたい問題がある場合、自分ならどうするか考えてみる。	30分
	【復習】宗教と呼ばれるものの芽生えにはちゃんと意味があるということを再認識し、その主な意味についてまとめておく。	30分
第3回	宗教の色々な側面（１）（アニミズム、靈魂説、宗教的実在・神的存在）	
	【予習】「霊的な存在、神のような存在」とはどのようなものだと思いますか。自分なりの意見をまとめておく。	30分
	【復習】人類が歴史的に霊的な存在、あるいは神のような存在に目覚めた時、人類の精神文化においてどのような変化があったか、まとめておく。	30分
第4回	宗教の色々な側面（２）（呪術、占いなど）	
	【予習】占いやおまじないなど、日常的に自分が行っていること、その意味、効果などを考えてみる。	30分
	【復習】占いやおまじないなども宗教の一部であり、その意味についておさらいしておく。	30分
第5回	宗教の色々な側面（３）（神話：世界創造、人の起原など）	
	【予習】自分の興味のある神話を調べておく。好きなキャラクターがある神話から採取されているというのでもよい。	30分
	【復習】昔の人類は科学がまだ発達していなかったので、世界の成立、人の誕生という問題を神話という形で説明しようとした。神話には多くの説明の仕方があるのでおさらいしておく。	30分
第6回	宗教の色々な側面（４）（神話：死の起原、世界観など）	
	【予習】日常的な事柄で、自分がどうしても納得できないことが起こった場合、自分ならどのように納得して受け入れていけるだろうか、考えてみてほしい。	30分
	【復習】昔の人類は人の死などの納得しようもない困難が生じた場合、神話などで何とか意味づけをして納得した。その説明の仕方をおさらいしておく。	30分
第7回	世界三大宗教：ユダヤ教からキリスト教、イスラームへ 三大宗教をそれらの宗教思想（主に宗教的実在観、宗教的人間観、宗教的世界観）について学習する	
	【予習】ユダヤ教について基本的なことを調べておく。	30分
	【復習】ユダヤ教がキリスト教、イスラームの土台となっていったということを再認識し、その基本的な内容をおさらいしておく。	30分
第8回	世界宗教（１）キリスト教	
	【予習】キリスト教について基本的なことを調べておく。	30分
	【復習】キリスト教が歴史的にどういう風に成立し、発展していったかについて、その基本的な内容をおさらいしておく。	30分
第9回	世界宗教（２）イスラーム	
	【予習】イスラームについて基本的なことを調べておく。	30分
	【復習】イスラームが歴史的にどういう風に成立し、発展していったかについて、その基本的な内容をおさらいしておく。	30分

第10回	世界宗教（３）仏教	
	【予習】仏教について基本的なことを調べておく。	30分
	【復習】仏教が歴史的にどういう風に成立し、発展していったかについて、その基本的な内容をおさらいしておく。	30分
第11回	宗教の色々な側面（５）（宗教儀礼）	
	【予習】自分が日常的に何か宗教的な行動をしているならばまとめておく。	30分
	【復習】宗教儀礼にはどういう意味があるかを簡単にまとめておく。	30分
第12回	宗教の色々な側面（６）（教団と社会）	
	【予習】自分が日常的に何らかの宗教教団の活動で体験したり、目にしたことがあればまとめておく。	30分
	【復習】宗教教団と社会との関係について簡単にまとめておく。	30分
第13回	宗教の色々な側面（７）（宗教体験と人格）	
	【予習】自分の人生の中で、人生観が変わるような経験、ものの見方が大きく変わるような経験はあったか考えてみる。	30分
	【復習】宗教体験がどのように人格に関係するのかを簡単にまとめておく。	30分
第14回	宗教の色々な側面（８）（宗教の機能）	
	【予習】自分の生活の中で宗教的な行為（お墓参り、初詣など）がどういう意味を持つのか考えてみてほしい。	30分
	【復習】宗教の機能について簡単にまとめておく。	30分
第15回	実際の宗教の現場について 生活の中で宗教はどのように機能しているのかを見ていく	
	【予習】実際の生活の中で宗教が意味を持つのはどういう場所、場面なのか、想像してみよう。	30分
	【復習】実際に宗教が我々の生活に大きく関わり、大きな意味を持つ場合があることを再認識し、授業の内容をおさらいしておく。	30分
第16回	期末テスト	
	【予習】教科書と配布プリントを十分復習し、重要箇所を再確認しておくこと。	
	【復習】分からなかった箇所を教科書でおさらいしておく。	30分

評価方法	成績は、積極的な学習態度（授業内容に対する意見や質問を授業後毎回提出してもらう）の評価(50%)、並びに期末試験の評価（50%）に基づき総合的に判定する。欠席が6回以上の場合は、期末試験の受験資格なし。		
使用資料 <テキスト>	脇本平也『宗教学入門』講談社学術文庫	使用資料 <参考図書>	その都度提示し、特に必要な資料はプリント配付する。
授業外学修等	「クリスマスのサンタってよく考えたら何者？」というような身近なことから始めて、宗教や命の問題について関心を持つように心がけ、問題意識を持って授業に望んでほしい。		
授業外質問方法	毎回提出してもらう受講カードにて質問を受け付けます。それ以外は教務課を通してください。		
オフィス・アワー			

授業科目名	法学			科目コード	K0203L02
英文名	Jurisprudence				
科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 社会理解				
職名	教授	担当教員名	彼谷 環		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限	2限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	「社会あるところ法は存在する」（Ubi societas, ibi ius）。法は、特定の時代の、特定の地域における価値観が大きな影響を及ぼす。現代の日本、そして世界ではどのような法が適用され、求められているのだろうか。社会と法の相互作用を確認しながら、将来、教育者や保育者を目指す者にとって必要な法的知識と価値判断について考えていこう。				
キーワード	家族	契約	紛争と裁判	生命倫理	国際法
到達目標	子どもの教育、保育、福祉に関わることを意識して、最低限理解すべき法原則について、理解できる(40%)。				
	裁判員制度の導入をきっかけに身近な存在となった法律について、制定の趣旨とその効果について理解することができる（30％）。				
	法の成り立ちから、社会制度と法の関係、グローバル社会における法の役割を理解することができる（30％）。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
		○			○
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）			21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		○		○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○				○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイドランス——「法の世界」をのぞいてみよう。 ・世界の文明やギリシャ悲劇を題材に、自然法と実定法の区別を学ぶ。	
	【予習】法ができることとできないことについて考えてみる。	30分
	【復習】テキストや配布資料を参考に、現代社会で法が介入できる場合とそうでない場合について整理しておく。	60分
第2回	法とは何か——正義との関係、道徳との違い、法の体系	
	【予習】「法」についてどのように説明することが出来るか、考えておく。	30分
	【復習】今年成立した法律のなかで、最も関心があるものについて、その目的と概要をまとめておく。	60分
第3回	家族から考える法 ——婚姻と離婚、夫婦の権利義務 (理解度を自己確認できるようにするため、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。)	
	【予習】テキストを活用して、日本と諸外国の婚姻制度の違いについて調べておく。	30分
	【復習】日本の婚姻制度の特徴と問題点についてまとめる。	60分
第4回	家族から考える法 ——親子をめぐるルール、相続に関する問題 (理解度を自己確認できるようにするため、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。)	
	【予習】テキストを活用して、実親子関係と養親子関係のそれぞれの制度の特徴について調べておく。	30分
	【復習】最近の生殖補助医療により生じる新たな親子関係の課題についてまとめる。	60分
第5回	さまざまな契約——「契約が成立する」とは？ 問題のある意思表示 (理解度を自己確認できるようにするため、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。)	
	【予習】契約をめぐるトラブルの実例について調べておく。	30分
	【復習】13種類の典型契約を整理して覚える。	60分
第6回	消費生活と法——現代の消費者問題、訪問販売とマルチ商法	
	【予習】近年問題となった消費者事件について調べておく。	30分
	【復習】配布資料を参考に、薬害事件について概要をまとめる。	60分
第7回	医療と法 ——生殖補助医療の発展、妊娠・出産の自己決定(リプロダクティブ・ライツ)	
	【予習】生殖補助医療の発展の歴史をまとめておく。	30分
	【復習】最新の生殖補助医療により生じる諸問題について整理する。	60分
第8回	医療と法 ——脳死と臓器移植、安楽死と尊厳死	
	【予習】それぞれの概念の違いについて把握しておく。	30分
	【復習】日本の安楽死事件をめぐる概要と現代社会への問題提起について考察する。	60分

第9回	犯罪と法　——突然逮捕されてしまったら？　犯罪被害と罪刑法定主義	
	【予習】罪刑法定主義について調べておく。	30分
	【復習】様々な「解釈」の方法についてまとめておく。	60分
第10回	犯罪と法　——少年法の実在意義、「修復的司法」の考え方	
	【予習】少年が犯罪行為をした際、どのような手続きが取られるか調べておく。	30分
	【復習】少年法の改正の歴史とその特徴についてまとめておく。	60分
第11回	仕事と法　——職場の労働条件はどうやって決まるの？　採用と雇用の終了	
	【予習】「労働法」とは何を指すか、調べておく。	30分
	【復習】不当な解雇からの救済方法について整理しておく。	60分
第12回	仕事と法　——仕事と家庭の両立（ワーク・ライフ・バランス）、多様な働きかた	
	【予習】生活と労働の両立を図るための法律を調べる。	30分
	【復習】「働き方改革関連法」のポイントをまとめておく。	60分
第13回	子どもと法　——未成年者の意見表明権、「主権者」による政治	
	【予習】法律が示す大人と子どもの境界線について整理しておく。	30分
	【復習】諸外国の主権者教育の特徴について整理する。	60分
第14回	子どもと法　——児童虐待と犯罪被害者の支援策	
	【予習】近年問題とされる児童虐待の特徴について把握しておく。	30分
	【復習】児童虐待防止法の内容と具体的支援の方法について整理する。	60分
第15回	国際社会と法——「国際法」は法か？　グローバリゼーションと法の変化	
	【予習】「国際法」の種類について調べておく。	30分
	【復習】「子どもの権利条約」を素材として、国際法としての意義と特徴についてまとめておく。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 Ⅰでは、期末筆記テストで評価する（50％）。 到達目標項目 Ⅱ及びⅢでは、授業中に指定する課題を中心に評価する（50％）。 人間性：50％、 社会性：50％ なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 <テキスト>	丹羽徹編『子どもと法』（法律文化社）	使用資料 <参考図書>	テーマにあわせ適宜資料を配布する。
授業外学修等	・授業のはじめに今日生起している法的ニュースを取り上げるので、各自新聞をよく読むこと。 ・授業テーマについては、テキストや資料・文献等を参考に復習を心がけること。		
授業外質問方法	時間外の質問は、メールで受け付ける。 kayatama@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	水曜2限		

授業科目名	子どもと国際交流			科目コード	K0310P09
英文名	International Cultural Exchange for Children				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応				
職名	教授	担当教員名	福島 美枝子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限	5限目		
開講時期	3年・4年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	世界の国々の相互依存性や異なる文化を持つ人々の共存の必要性が益々高まる中、次代を築く子どもたちにどのような国際教育や国際交流体験を提供すべきかについて考え、この面での受講生の将来の教育実践の基礎をつくっていきたいと思います。教員のミニ講義、資料講読、フィールドワーク、個人発表、グループディスカッションを通して、実践的知識を身につけます。活発な参加を期待します。				
キーワード	相互依存・共生	子ども	国際教育	国際交流	教育実践
到達目標	小学校での国際教育と国際交流活動について国内の多くの実践例から学び、独自の指導案や活動案が作成できる。				
	小学生への英語教育の中で異文化との出会いがどのように設定されているかを学び、教師の役割について考察する。				
	富山県における国際交流活動に関する調査のためのフィールドワーク（姉妹校協定、スポーツ・文化事業、外国籍の子ども達への支援等についての調査）を行ない、身近にある実践と課題について学ぶ。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
○		○	○		
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）			地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
○				○	

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業ガイダンス、世界とのつながりを考える～グローバル化とは何か、多文化共生を巡る世界の問題	
	【予習】「グローバル化」という言葉であなたが意味していることを明確にして文で表してみよう	20分
	【復習】学習内容の復習	20分
第2回	富山を考える～多文化共生プラン、外国にルーツを持つ子ども達への支援、国際交流イベント	
	【予習】富山県（国際課）ホームページ検索	30分
	【復習】学習内容の復習	30分
第3回	日本を考える～異文化接触の歴史、自国の文化の対象化	
	【予習】資料（プリント教材）の読解	30分
	【復習】クラスでのディスカッションを経て考えたことを文章化する	30分
第4回	日本文化の特徴を考える	
	【予習】あなたが考える日本文化の特徴を書いてみよう	30分
	【復習】クラスのディスカッションと資料購読を経て深まった内容を改めて書いてみる	30分
第5回	学校教育における国際教育と国際交流～なぜ必要か・何を育てるのか・どのように行なうか	
	【予習】第5回授業のテーマについて現時点でのあなたの考えを書いてみよう	20分
	【復習】資料購読とクラスのディスカッションを経て拡大、進化した考えをまとめて書いてみる	30分
第6回	小学校における国際教育と国際交流（1）：日本における実践の類型とカリキュラムとの関わり	
	【予習】資料（プリント教材）の読解と要点整理	30分
	【復習】学習内容の復習	30分
第7回	小学校における国際教育と国際交流（2）：特色ある実践例 1	
	【予習】資料（プリント教材）の読解と要点整理 ・ 発表担当者はレジュメを作成	30分
	【復習】感想をまとめる ・ 発表担当者は受けた質問などを組み入れてレポート作成	30分
第8回	小学校における国際教育と国際交流（3）：特色ある実践例 2	
	【予習】資料（プリント教材）の読解と要点整理 ・ 発表担当者はレジュメを作成	30分
	【復習】感想をまとめる ・ 発表担当者は受けた質問などを組み入れてレポート作成	30分
第9回	小学校における国際教育と国際交流（4）：小学校英語に組み込まれた異文化との出会い	
	【予習】小学生だった頃の英語や国際交流活動の経験を思い出してみよう	30分
	【復習】学習内容の復習	30分

第10回	小学校における国際教育と国際交流（５）：日本における小学校英語の発展の歴史と今後	
	【予習】資料（プリント教材）の読解	30分
	【復習】日本の小学校英語の歴史的考察に関する要点の確認（小テスト）	30分
第11回	県内で行なわれている国際交流活動に関するフィールドワーク ～ 富山市国際交流協会訪問	
	【予習】フィールドワークでの質問項目の明確化	30分
	【復習】フィールドワークの結果報告書作成（グループワーク）	30分
第12回	県内の学校で取り組まれている国際交流活動に関するフィールドワーク ～ 海外姉妹校を持つ学校の訪問	
	【予習】フィールドワークでの質問項目の明確化	30分
	【復習】フィールドワークの結果報告書作成（グループワーク）	30分
第13回	個人研究プロジェクト＜準備＞～「富山における子どもの国際交流活動とあなたが描く子どものための国際教育と国際交流活動」	
	【予習】個人研究プロジェクトの構想	30分
	【復習】個人研究プロジェクト 調査活動	30分
第14回	個人研究プロジェクト＜調査＞～「富山における子どもの国際交流活動とあなたが描く子どものための国際教育と国際交流活動」	
	【予習】個人研究プロジェクト 調査活動	30分
	【復習】個人研究プロジェクト 調査活動	30分
第15回	個人研究プロジェクト＜発表準備＞～「富山における子どもの国際交流活動とあなたが描く子どものための国際教育と国際交流活動」	
	【予習】個人研究プロジェクト 調査活動	30分
	【復習】個人研究プロジェクトのまとめ	30分
第16回	個人研究プロジェクト成果発表会	
	【予習】個人研究プロジェクトの発表準備	30分
	【復習】	

評価方法	(1) 平常点：課題、宿題 （50%） （2）個人研究プロジェクト （50%）		
使用資料 <テキスト>	プリント教材を配布します。	使用資料 <参考図書>	水越敏行・田中博之（編著）『新しい国際理解教育を創造する - 子どもがひらく異文
授業外学修等	(1) 次週の教材を必ず読み、ディスカッションに備えてください。 (2) 教材の輪読を行なう場合は、担当箇所の内容と自身の意見をまとめたプリントを作成し配付してください。		
授業外質問方法	研究室での面談 または Eメールでの連絡 mifuku@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	火曜日 2限		

授業科目名	現代社会と生きがい				科目コード	K0610P03
英文名	Contemporary Society & Reasons for Living					
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 少子高齢化対応					
職名	教授 教授		担当教員名	大藪 敏宏 相山 馨		
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日		時限	4限目		
開講時期	3年・4年前期		授業の方法	講義		
必修・選択	選択		単位数	2単位		
授業の概要	産業革命後の社会構造の変化にともなう福祉国家の登場なしには、現代の高齢化を考えることはできない。授業では、現代社会の特性を理解するとともに、社会保障制度の公共性と安心できる生活について議論する。また、現代の少子高齢化社会における乳幼児期から高齢期までの生活課題について学び、それぞれのライフステージにおいて、どうしたら社会との関係を取り結びながら生きがいをもって自分らしい生き方ができるのかを考える。					
キーワード	産業革命	現代社会	福祉国家	ライフステージ	生きがい	
到達目標	・産業革命後の福祉国家の登場に至る経緯を理解する。					
	・少子高齢社会におけるライフサイクルの変化と生きがいについて考察することができる。					
卒業要件・資格関連等						
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー	
		○	○			
ディプロマポリシー	1.「人」としての資質・能力（人間性の向上）			4.21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養					
キー・コンピテンシー（重視する能力）						
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力		
/	/	○		/		
教授方法（授業方法）						
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動	
	○					

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション　現代社会と生きがい　概要と履修上の注意点		
	【予習】社会学のテキスト等で、現代社会の特質について調べる。		30分
	【復習】講義内容を振り返り、現代社会の特質や学んだ内容をノートにまとめる。		30分
第2回	現代社会と社会問題―新しい貧困と生き難さ		
	【予習】社会学のテキスト等で、現代の貧困の特質について調べる。		30分
	【復習】講義内容を振り返り、現代の貧困や学んだ内容をノートにまとめる。		30分
第3回	現代社会と社会問題―子どもへのまなざしと高齢者へのまなざし		
	【予習】社会学のテキスト等で、子どもや高齢者などの社会的弱者の問題状況を調べる。		30分
	【復習】講義内容を振り返り、社会的弱者の問題や学んだ内容をノートにまとめる。		30分
第4回	共生社会と生きがい―むらの生活と価値観		
	【予習】社会学のテキストで、地域社会の変化について調べる。		30分
	【復習】講義内容を振り返り、地域社会の変化や学んだ内容をノートにまとめる。		30分
第5回	共生社会と生きがい―地球時代の生活と価値観		
	【予習】社会学のテキスト等で、共生社会と権利について調べる。		30分
	【復習】講義内容を振り返り、共生社会と権利や学んだ内容をノートにまとめる。		30分
第6回	「異なったものの共存」と共生社会		
	【予習】社会学のテキスト等で、共生社会の課題について調べる。		30分
	【復習】講義内容を振り返り、共生社会の課題や学んだ内容をノートにまとめる。		30分
第7回	市民社会の成立構造の中での生きがいの考察		
	【予習】社会学のテキスト等で、社会問題と生きがたさについて調べる。		30分
	【復習】講義内容を振り返り、社会問題と生きがたさや学んだ内容をノートにまとめる。		30分
第8回	夜警国家の時代の社会と人権		
	【予習】社会学のテキスト等で、夜警国家について調べる。		30分
	【復習】講義内容を振り返り、夜警国家や学んだ内容をノートにまとめる。		30分
第9回	福祉国家の時代の人権と生きがい		
	【予習】社会学のテキスト等で、福祉国家について調べる。		30分
	【復習】講義内容を振り返り、福祉国家や学んだ内容をノートにまとめる。		30分

第10回	現代の社会問題と生きがい	
	【予習】社会学のテキスト等で、社会問題のとらえ方について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、社会問題のとらえ方や学んだ内容をノートにまとめる。	30分
第11回	ライフステージにおけるつながり—幼年期と少年期—	
	【予習】ライフステージに関する文献を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第12回	ライフステージにおけるつながり—青年期—	
	【予習】ライフステージに関する文献を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第13回	ライフステージにおけるつながり—壮年期と中年期—	
	【予習】ライフステージに関する文献を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第14回	ライフステージにおけるつながり—高年期—	
	【予習】ライフステージに関する文献を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第15回	まとめ	
	【予習】まとめてきた内容を振り返る	30分
	【復習】講義の全体を振り返り、学んだことを整理する	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	担当教員ごとの個別評価を合わせて総合評価する。(平常点(20%)、レポート・試験(80%)) 個別評価に一つでもFがある場合は、総合評価をFとする。 人間性：40%、 社会性：30%、 専門性：30% 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	社会福祉士養成講座編集委員会編『社会理論と社会システム』(新・社会福祉士養成講	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	予習・復習を必ずすること。授業で登場した消化不良の言葉については質問するか、図書館等で調べて消化すること。保育・教育・福祉の3分野等広い視野に留意し、「共生社会」を意識していくこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーを中心に、研究室等で随時受け付けます。		
オフィス・アワー	水曜2限(大藪研究室)		

授業科目名	キャリア支援講座			科目コード	K0703F03
英文名	Career Planning and Support II				
科目区分	キャリア系科目				
職名	教授 教授 准教授 教授		担当教員名	辻井 満雄 村上 満 本江 理子 彼谷 環	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	木曜日		時限	5限目	
開講時期	3年通年		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	2単位	
授業の概要					
キーワード	社会福祉士	国家試験	ソーシャルワーカー		
到達目標	社会福祉士33回分の国家試験の傾向について理解するとともに、説明できる。（50%）				
	社会福祉士を生かした職場等に高い関心を持ち、自らもその実現に向けて努力しようとする意欲をもつ。（50%）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
					○
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）			地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子どもの発達と相談支援			子ども育成の理論と実践	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○			○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<社会福祉分野> オリエンテーション・社会福祉士の仕事と採用 第33回社会福祉士国家試験の結果	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第2回	<社会福祉分野> 就職活動の傾向と対策（前年度卒業生の進路をふまえて）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第3回	<社会福祉分野> 社会福祉士が活躍できる職場について（１）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第4回	<社会福祉分野> 社会福祉士が活躍できる職場について（２）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第5回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験対策（明治期の社会福祉の歴史を中心として）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第6回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験対策（大正期の社会福祉の歴史を中心として）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第7回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験対策（昭和期の社会福祉の歴史を中心として）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第8回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験対策（社会福祉六法を中心として）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第9回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験対策（社会福祉六法を中心として）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第10回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験対策（社会福祉六法を中心として）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験対策（社会福祉六法を中心として）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	<社会福祉分野> 後期 前期の振り返り	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第13回	<社会福祉分野> 後期 先輩と語る（就職活動を振り返って：公務員関係）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第14回	<社会福祉分野> 後期 先輩と語る（就職活動を振り返って：児童関係）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第15回	<社会福祉分野> 後期 先輩と語る（就職活動を振り返って：障害者関係）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第16回	<社会福祉分野> 後期 先輩と語る（就職活動を振り返って：高齢者関係）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	<社会福祉分野> 後期 先輩と語る（就職活動を振り返って：病院関係）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	<社会福祉分野> 後期 先輩と語る（就職活動を振り返って：その他）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第19回	<社会福祉分野> 後期 模擬試験の解説	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第20回	<社会福祉分野> 後期 模擬試験の解説	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第21回	<社会福祉分野> 後期 模擬試験の解説	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第22回	<社会福祉分野> 総まとめ	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第23回		
	【予習】	
	【復習】	
第24回		
	【予習】	
	【復習】	
第25回		
	【予習】	
	【復習】	
第26回		
	【予習】	
	【復習】	
第27回		
	【予習】	
	【復習】	

第28回		
	【予習】	
	【復習】	
第29回		
	【予習】	
	【復習】	
第30回		
	【予習】	
	【復習】	
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目1は、小テスト等で評価する。(50%) 到達目標項目2は、受講態度・出席カードの記述内容等で評価する。(50%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：20% 社会性：30% 専門性：50%		
使用資料 <テキスト>	国家試験対応オリジナルプリント(毎回配布)	使用資料 <参考図書>	社会福祉小六法2021年版(ミネルヴァ書房)
授業外学修等	・社会福祉士の専門職の仕事に関して興味を持ち、情報収集をすること。 ・次回の学習範囲について教科書を読んでの予習、受講後のノートや配布資料の整理などの復習をして下さい。 ・児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておいて下さい。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問してください。(社会福祉分野)		
オフィス・アワー	社会福祉分野：(木曜・3限)E709村上研究室		

授業科目名	子ども育成専門演習			科目コード	K1103L03
英文名	Major Seminar in Child Development & Education				
科目区分	子ども育成の理論				
職名	准教授 教授 教授		担当教員名	石倉 卓子 宮田 徹 辻井 満雄	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	月曜日		時限	4限目	
開講時期	3年後期		授業の方法	演習	
必修・選択	学部必修		単位数	2単位	
授業の概要	子ども育成の理論に関する中核的な科目のうちの統合的科目として「子ども育成専門演習」を開講し、教育・保育・福祉の視点から総合的に学ぶ。1年次の授業「子ども育成入門」及び「子ども育成論」を踏まえ、子ども育成の現場における実践をめぐって、教育学・保育学・社会福祉学の視点から考察する。学年を3つの演習グループに分けてローテーションし、それぞれの分野の視点から子ども育成について学ぶ。				
キーワード	子ども育成	専門演習	教育・保育・福祉		
到達目標	保育所・幼稚園・認定こども園・小学校での実習事例や現場の実践事例、関係資料・文献などをめぐって発表・討論し、子ども育成の本質、意義・課題、目標・方法について自らの考えを述べることができる。(60%)				
	健やかな子どもの育成に貢献するための基本的な考え方を理解し、感性と意欲をもって、実践に向かう準備ができる。(40%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
	○		○		
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
	○		○	○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	社会福祉分野（児童福祉分野の実務経験あり） 社会福祉分野、保育・幼児教育分野、小学校教育分野の演習を5コマずつ行う。	
	（社会福祉分野）社会福祉学的視点からみた子ども育成【宮田】 1．集団討論（1）子ども・子育て家庭への支援	
	【予習】（社会福祉分野）子ども・子育て家庭をめぐる環境について調べる。	90分
	【復習】（社会福祉分野）子ども・子育て家庭をめぐる環境と課題について、授業内容を復習する。	90分
第2回	（社会福祉分野） 2．事例演習（1）インテークとアセスメント【宮田】	
	【予習】（社会福祉分野）子どもや保護者の抱える問題・ニーズについて調べておく。	90分
	【復習】（社会福祉分野）インテークとアセスメントについて授業内容を復習する。	90分
第3回	（社会福祉分野） 3．事例演習（2）援助計画【宮田】	
	【予習】（社会福祉分野）子ども、子育て家庭を支える社会資源について調べる。	90分
	【復習】（社会福祉分野）援助計画の意義と視点等について授業内容を復習する。	90分
第4回	（社会福祉分野） 4．事例演習（3）援助の実施と評価【宮田】	
	【予習】（社会福祉分野）援助の実施と評価について調べる。	
	【復習】（社会福祉分野）援助の実施と評価について授業内容を復習する。	
第5回	（社会福祉分野） 5．事例研究 児童虐待への対応事例【宮田】	
	【予習】（社会福祉分野）児童虐待への対応について調べる。	90分
	【復習】（社会福祉分野）児童虐待への対応について、授業内容を復習する。	90分
第6回	保育・幼児教育分野（幼稚園教諭の実務経験あり）	
	（保育・幼児教育分野） 1．事例研究（1）幼児理解にはじまる保育：年少児（グループ討論・発表）【石倉】	
	【予習】（保育・幼児教育分野）年少児の発達段階について調べておく。	90分
	【復習】（保育・幼児教育分野）年少児の心身の発達について授業の内容を復習する。	90分
第7回	（保育・幼児教育分野） 2．事例研究（2）幼児理解にはじまる保育：年長児（グループ討論・発表）【石倉】	
	【予習】（保育・幼児教育分野）年長児の発達段階について調べておく。	90分
	【復習】（保育・幼児教育分野）年長児の心身の発達について授業の内容を復習する。	90分

第8回	(保育・幼児教育分野) 3. 事例研究(3) 保育現場における保護者対応・教職員との協働(グループ討論・発表)【石倉】	
	【予習】(保育・幼児教育分野) 保護者支援と保育者の協働で大切なことを考える。	90分
	【復習】(保育・幼児教育分野) 具体的な保護者支援や保育者の協働の仕方について授業内容を復習する。	90分
第9回	(保育・幼児教育分野) 4. 集団討論(1) 認定こども園の現状と課題 (グループ討論・発表)【石倉】	
	【予習】(保育・幼児教育分野) 認定こども園とは何かを調べる。	
	【復習】(保育・幼児教育分野) 認定こども園の現状や課題について授業内容を復習する。	
第10回	(保育・幼児教育分野) 5. 集団討論(2) 幼児期の終わりまでににつけたい10の力と幼小連携(グループ討論・発表)【石倉】	
	【予習】(保育・幼児教育分野) 指針等で幼児期の終わりまでににつけたい10の姿について一読しておく。	90分
	【復習】(保育・幼児教育分野) 10の姿を踏まえた幼小連携について、授業の内容を復習する。	90分
第11回	(小学校教育分野) 教育学的視点からみた子ども育成(教育分野の実務経験あり) 1. 集団討論(1) 学校とは何か -学校の機能について考える-【辻井】	
	【予習】 (小学校教育分野) 学校存在にはどのような意味があるのか調べる。	90分
	【復習】 (小学校教育分野) 学校存在にはどのような意味があるのかについて、授業中の内容を復習する。	90分
第12回	(小学校教育分野) 2. 事例研究(1) 「どうして勉強するの?」という問いについて考える【辻井】	
	【予習】 (小学校教育分野) 学校教育の意味について調べる。	90分
	【復習】 (小学校教育分野) 学校教育の意味について、授業中の内容を復習する。	90分
第13回	(小学校教育分野) 3. 集団討論(2) 教育は善か -教育倫理学の視点から教育を考える-【辻井】	
	【予習】 (小学校教育分野) 教育は善であるのか考える。	90分
	【復習】 (小学校教育分野) 教育倫理学の考え方について、授業中の内容を復習する。	90分

第14回	(小学校教育分野) 4. 事例研究(2) 教師はなぜ子どもを指導してよいのか?【辻井】	
	【予習】 (小学校教育分野) 学校教育における教師と子どもの教育的関係について調べる。	
	【復習】 (小学校教育分野) 学校教育における教師と子どもの教育的関係について授業の内容を復習する。	
第15回	(小学校教育分野) 5. 事例研究(3) 教師という職業をめぐる問題【辻井】	
	【予習】 (小学校教育分野) 教師をめぐる問題について調べる。	90分
	【復習】 (小学校教育分野) 教師をめぐる問題について、授業の内容を復習する。	90分
第16回	まとめ 子ども育成における教育・保育・福祉の視点 (3分野の教員・宮田・石倉・辻井)	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 について、担当教員ごとの個別評価を合わせて総合評価する。(態度や出席票記入内容など平常点50%・レポート50%) 個別評価に一つでもFがある場合は総合評価をFとする。 また、科目の授業全体のうち5回を超えて欠席した場合、及び各教員の担当授業のうち2回を超えて欠席した場合は受験資格を失う。		
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	別途、適宜紹介します。
授業外学修等	1.演習資料がある場合は、事前に十分読み込んでおいて下さい。授業ごとに終了後の振り返りをして下さい。 2.教育・保育・福祉の各分野の授業で学習した内容をその都度再確認して下さい。		
授業外質問方法	オフィスアワー等にそれぞれの分野の教員の研究室を訪ねて下さい。適宜質問に対応します。 不在の場合は、メール(学籍番号・氏名を明記)で申し出るか、事務室に問い合わせてください。		
オフィス・アワー	石倉：水曜日5限(E-403石倉研究室)、宮田：水曜日2限(E-507宮田研究室)、 辻井：月曜日3限(E-304辻井研究室)		

授業科目名	保育者論			科目コード	K1103L05
英文名	Theory of Childcare Profession				
科目区分	子ども育成の理論				
職名	准教授	担当教員名	本江 理子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	木曜日	時限	1限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	保育者の役割と倫理、保育者の専門性などについて学び、保育者の専門性の向上とキャリア形成の意義について考えていく。 講義を中心とするが、視聴覚教材や保育の実践事例などを用いた発表やグループ討議などを取り入れながら理解を深めていく。 (担当教員：保育士・幼稚園教諭・保育施設巡回指導の実務経験あり)				
キーワード	倫理観と人間性	保育者の役割	保育の専門性	保育者の連携・協働	保育者としての資質
到達目標	保育者の役割と倫理、保育者の制度的な位置づけについて説明することができる。（３０％）				
	保育者の連携・協働、保育者の資質向上とキャリア形成について具体的に考えることができる。（３０％）				
	保育者の専門性について考察し、理解することができる。（４０％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
	○	○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○	○	/	/

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	保育職の意義と保育者の使命及び倫理 全国保育士会倫理綱領 学習シート「全国保育士会倫理綱領」	
	【予習】これまでの学んできたことを振り返り、保育職の意義とは何かを考える	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる 当日中に、WEBシラバス上で「鉛筆を持った人マーク」をクリックし、今日の授業についてのアンケートフォームに記入し、回答送信ボタンを押す（毎回）。	90分
第2回	保育士・幼稚園教諭・保育教諭の免許・資格に関する要件や責務	
	【予習】第1回の授業内容をふまえ、第2回の授業内容に関して、自分なりに調べる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる テキストの目次を見て、テキストの概観をつかみ、保育の基本を再確認しておく	90分
第3回	保育者の一日	
	【予習】テキストの第1章を読む	90分
	【復習】テキストの気になった箇所を読み進める	90分
第4回	各指針・要領にみる保育者の役割 （1）第1章 総則を中心に	
	【予習】幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の解説本（参考図書 ～ ）を準備する テキストの目次を見て、テキストの概観をつかみ、保育の基本を再確認しておく	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる テキストの第13章を読む	90分
第5回	各指針・要領にみる保育者の役割 （2）第2章以降を中心に	
	【予習】幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の解説本の「解説」部分も読み込む	90分
	【復習】第4回、第5回の授業内容をノートにまとめ、整理する テキストの第2章を読む	90分
第6回	保育者の専門性 （1） 養護と教育の一体的展開	
	【予習】テキストの第6章を読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる テキストの気になった箇所を読み進める	90分
第7回	保育者の専門性 （2） 家庭との連携と保護者に対する支援	
	【予習】授業内容に関する資料（文献）を準備する テキストの第10章を読む	90分
	【復習】授業内容をふまえて、自身が準備した資料にもふれて整理する	90分
第8回	保育者の専門性 （3） 遊びや生活を通して学ぶということ	
	【予習】テキストの第5章を読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる テキストの気になった箇所を読み進める	90分

第9回	保育者の専門性 （４） 環境を通して行う保育	
	【予習】テキストの第 8 章を読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる テキストの気になった箇所を読み進める	90分
第10回	保育者の専門性 （５） 子どもの主体性を尊重する保育	
	【予習】テキストの第 7 章を読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる テキストの気になった箇所を読み進める	90分
第11回	保育者の専門性 （６）計画に基づく保育の実践と省察・評価	
	【予習】テキストの第 4 章を読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる テキストの気になった箇所を読み進める	90分
第12回	保育者の連携・協働 （１）職員間	
	【予習】テキストの第 9 章を読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる テキストの気になった箇所を読み進める	90分
第13回	保育者の連携・協働 （２）専門職員及び専門機関、地域における自治体や関係機関等	
	【予習】テキストの第 1 1 章を読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる テキスト第 5 章～第 9 章を中心に読み直す	90分
第14回	保育者の資質向上とキャリア形成	
	【予習】テキスト第 5 章～第 9 章を中心に読み直す	90分
	【復習】テキスト第 5 章～第 9 章を中心に読み直す	90分
第15回	保育者の魅力	
	【予習】第 14 回までの授業を振り返っておく テキスト第 5 章～第 9 章を中心に読み直す	90分
	【復習】テキスト全体に目を通す	180分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	課題レポート（70％程度）、授業内コメントシート（30％程度）とし、総合的に評価します。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。人間性：30％ 社会性：25％ 専門性：45％		
使用資料 <テキスト>	渡邊英則・大豆生田啓友/編 『新しい保育講座 保育内容総論』（ミネ	使用資料 <参考図書>	汐見稔幸・大豆生田啓友/編著 『新しい保育講座 保育者論』（ミネルヴ
授業外学修等	レポートの課題の範囲は、テキスト全部です。レポート作成までに2～3回は目を通せるように計画して読み進めておいてください。 さまざまな文献や情報媒体を通して、普段から保育に関心をもって生活してください。		
授業外質問方法	授業の前後、オフィスアワーを中心に随時受け付けます。 オフィスアワーに授業が重なっている場合は、別の時間を予約してください。		
オフィス・アワー	水曜日2限（E-402 本江研究室）		

授業科目名	教育社会学			科目コード	K1103L15
英文名	Educational Sociology				
科目区分	子ども育成の理論				
職名	非常勤講師	担当教員名	濱 貴子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	3限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	本授業では、これまで家庭や学校、習い事、塾などの場で当たり前のこととして経験してきた教育を、社会学のメガネをかけて（社会学的視点から）見直してみる。そうすることで、教育という営みは社会現象としてどのような特徴をもつのか、他の社会現象とどのような関係にあるのかということについて理解を深めていく。 受講生のみなさんには、少し距離をとって「教育」についていろいろな角度からながめたうえで、「教育」とかかわっていく態度を養っていただきたい。				
キーワード	教育	家族	学校	社会	教育問題
到達目標	教育と社会の関係に対する理解を深めることができる。				
	教育現象を社会学的視点から複眼的・批判的に考察できるようになる。				
	教育とかかわっていく態度を養うことができる。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）			4.社会人としての能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上			専門分野に共通する基礎知識の向上	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
				○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	イントロダクション 教育社会学とはどのような学問かということとを近接他領域との問いの立て方の違いから整理するとともに、教育は現代の日本社会と切っても切れない関係にあるということ、教育社会学を学ぶことの意義を解説する。	
	【予習】教育社会学という学問分野について調べておく。	
	【復習】教育社会学と近接他領域の問いの立て方の違いをまとめる。	
第2回	社会化とアイデンティティ 人間は社会のなかで形成されていくという「社会化」の考え方を紹介し、社会化に対する二つの考え方を整理する。そのうえで、社会化を支える基盤が弱まりつつある現代社会における個人としてのアイデンティティ形成の重要度の高まりとその背景について解説する。	
	【予習】事前に配布する「社会化とアイデンティティ」のプリントを精読しておく。	
	【復習】社会化とアイデンティティについて今日的な重要性をまとめる。	
第3回	家族と教育 —「大人」と「子ども」の関係の歴史と現在— 「子ども」は「大人」との関係でどのような存在としてとらえられてきたのかということに関する歴史を振り返るとともに、現代社会において変容しつつある「大人」と「子ども」の関係について考える。	
	【予習】事前に配布する「家族と教育 —「大人」と「子ども」の関係の歴史と現在—」のプリントを精読しておく。	
	【復習】「子ども」と「大人」の関係の変化についてまとめる。	
第4回	家族と教育 —「教育する家族」の誕生と変容— 子どもを特別な配慮の下で育てようとする「教育する家族」の誕生と変容をたどり、現代の家庭と教育をめぐる諸問題について、育児不安、ペアレントクラシー、父親の育児参加という点を中心に考える。	
	【予習】事前に配布する「家族と教育 —「教育する家族」の誕生と変容—」のプリントを精読しておく。	
	【復習】現代の家庭と教育をめぐる諸問題についてまとめる。	
第5回	学校・教室という空間 —文化装置としての学校— 見慣れた学校という空間がどのように構成され機能してきたのかということとを振り返ることによって文化装置としての学校の性質について考える。	
	【予習】事前に配布する「学校・教室という空間 —文化装置としての学校—」のプリントを精読しておく。	
	【復習】文化装置としての学校の性質についてまとめる。	
第6回	学校・教室という空間 —感情共同体としての学校— 学校への愛着や帰属意識といった感情共同体としての学校という側面について考える。	
	【予習】事前に配布する「学校・教室という空間 —感情共同体としての学校—」のプリントを精読しておく。	
	【復習】感情共同体としての学校についてまとめる。	
第7回	学校・教室という空間 —学校における安全・安心— 近年顕在化してきた学校空間において児童・生徒の安全・安心を脅かす「教育」について考える。	
	【予習】事前に配布する「学校・教室という空間 —学校における安全・安心—」のプリントを精読しておく。	
	【復習】児童・生徒の安全・安心を脅かす「教育」についてまとめる。	
第8回	「教育困難」と教師の実践—連携と働き方の模索— 学校空間の変容によって現代の学校においては「教育困難」の感覚が広がっている。そのなかで求められている教師役割について再考するとともに、近年進行している働き方改革のなかでの教師の実践について主に「チーム学校」としての連携や地域との連携を中心に概観する。	
	【予習】事前に配布する「「教育困難」と教師の実践—連携と働き方の模索—」のプリントを精読しておく。	
	【復習】学校における働き方改革についてまとめる。	

第9回	ジェンダーと教育 学校において「男らしさ」「女らしさ」が制度的・文化的にどのように形成されていったのかということをたどるとともに現代においても持続している教育における男女差について、学力、進路等に関する統計データを見ることによって考える。	
	【予習】事前に配布する「ジェンダーと教育」のプリントを精読しておく。	
	【復習】現代社会の教育における男女差についてまとめる。	
第10回	教育問題「不登校・いじめ」 不登校・いじめについてそれらの構造を整理するとともに語られ方の変化を概観し、近年の状況や対応策について解説する。	
	【予習】事前に配布する「教育問題「不登校・いじめ」」のプリントを精読しておく。	
	【復習】不登校・いじめ問題の近年の状況や対応策についてまとめる。	
第11回	教育問題「逸脱・少年非行」 逸脱・少年非行についてそれらの問題のとらえ方の特徴や変化を概観するとともに、近年の状況や対応策について解説する。	
	【予習】事前に配布する「教育問題「逸脱・少年非行」」のプリントを精読しておく。	
	【復習】逸脱・少年非行問題の近年の状況や対応策についてまとめる。	
第12回	社会階層と教育—学歴社会の実態と費用負担— 学校卒業後の職業や所得のばらつき（社会階層の差異）はなぜ生じるのかということをおもに学歴社会という側面から考えるとともに、現代日本における学歴社会の実態を各種統計データから把握する。また、教育費の負担主体の国際比較から日本における教育による階層格差は正の状況についても考える。	
	【予習】事前に配布する「社会階層と教育—学歴社会の実態と費用負担—」のプリントを精読しておく。	
	【復習】近年の日本における教育による階層格差は正の状況についてまとめる。	
第13回	変貌する高等教育 日本における高等教育の歴史をたどるとともに、高等教育機会の大衆化によって変貌している高等教育機関の現在について考える。	
	【予習】事前に配布する「変貌する高等教育」のプリントを精読しておく。	
	【復習】日本の高等教育機関の現在についてまとめる。	
第14回	大学と学生文化 大学の大衆化が進むなかで学生文化はどのように変容してきたのかということをおもに読書と教養主義を中心に振り返り、現代日本の大学と学生文化について考える。	
	【予習】事前に配布する「大学と学生文化」のプリントを精読しておく。	
	【復習】現代日本の学生文化についてまとめる。	
第15回	学校から職業へ—就職— 学校と職業をつなぐ「就職」という現象について、日本の就職システムの特徴と変容・ゆらぎを概観し、これからの就職について考える。	
	【予習】事前に配布する「学校から職業へ—就職—」のプリントを精読しておく。	
	【復習】日本の就職システムの変容についてまとめる。	
第16回	期末筆記テスト	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	毎回提出するミニレポート（40％）、期末筆記テスト（60％）。		
使用資料 ＜テキスト＞	テキストは指定しない。授業時に必要な資料を配付する。	使用資料 ＜参考図書＞	稲垣恭子、2017、『教育文化の社会学』放送大学教育振興会。
授業外学修等	必要に応じて事後学習を指示する。そこで指定された文献・資料を熟読すること。		
授業外質問方法	hama@pu-toyama.ac.jpにて受け付ける。		
オフィス・アワー	授業終了後に設定。		

授業科目名	子ども家庭支援論			科目コード	K1103 L 10
英文名	Child and Family Support				
科目区分	子ども育成の理論				
職名	教授	担当教員名	宮田 徹		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	木曜日	時限	2限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解するとともに、保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本、子育て家庭に対する支援の体制、子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解することを目指す。（担当教員：児童福祉分野の実務経験あり）				
キーワード	子ども家庭支援	子ども家庭福祉	子育て支援		
到達目標	子ども家庭支援の意義や実施体制について基本的事項を理解し、多様な支援の展開と現状と課題について説明できる（60％）				
	子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開や課題解決のための方策について考察できる（20％）				
	子どものウェルビーイングや権利保障に高い関心を持ち、自らもその実現に向けて努力しようとする意欲を有する（20％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
			○	○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 ○本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する ○子ども家庭支援の視点について学ぶ	
	【予習】シラバスを読み、本授業の概要を確認する / テキストを読み、子ども家庭支援の視点について確認する	90分
	【復習】授業の全体像について確認する / 子ども家庭支援の視点について、授業内容を確認し、理解を深める	90分
第2回	「子ども家庭支援の意義・役割」	
	【予習】子ども家庭支援の意義・役割について、テキスト・参考資料等で確認する。 「保育所保育指針解説」第4章子育て支援を読んでくこと。授業中に参照するので持参してください。	90分
	【復習】子ども家庭支援の意義・役割について、授業内容を確認し、理解を深める。	90分
第3回	「子ども家庭支援をめぐる歴史的歩み」	
	【予習】子ども家庭支援をめぐる歴史的歩みについて、テキスト・参考資料等で確認する。	90分
	【復習】子ども家庭支援をめぐる歴史的歩みについて、授業内容を確認し、理解を深める。	90分
第4回	「子ども家庭支援に関わる法律・制度」	
	【予習】子ども家庭支援に関わる法律・制度について、テキスト・参考資料等で確認する。	90分
	【復習】子ども家庭支援に関わる法律・制度について、授業内容を確認し、理解を深める。	90分
第5回	「子ども家庭支援におけるソーシャルワーク」	
	【予習】子ども家庭支援におけるソーシャルワークについて、テキスト・参考資料等で確認する。	90分
	【復習】子ども家庭支援におけるソーシャルワークについて、授業内容を確認し、理解を深める。	90分
第6回	「保育者の専門性と基本的態度」	
	【予習】保育者の専門性と基本的態度について、テキスト・参考資料等で確認する。	90分
	【復習】保育者の専門性と基本的態度について、授業内容を確認し、理解を深める。	90分
第7回	「社会資源と地域のネットワーク」	
	【予習】社会資源と地域のネットワークについて、テキスト・参考資料等で確認する。	90分
	【復習】社会資源と地域のネットワークについて、授業内容を確認し、理解を深める。	90分
第8回	「保育者による子ども家庭支援の実際」（１）保育所を利用する子どもの家庭への支援	
	【予習】保育所を利用する子どもの家庭への支援について、テキスト・参考資料等で確認する。	90分
	【復習】保育所を利用する子どもの家庭への支援について、授業内容を確認し、理解を深める。	90分
第9回	「保育者による子ども家庭支援の実際」（２）地域の子育て家庭への支援	
	【予習】地域の子育て家庭への支援について、テキスト・参考資料等で確認する。	90分
	【復習】地域の子育て家庭への支援について、授業内容を確認し、理解を深める。	90分

第10回	「保育者による子ども家庭支援の実際」(3) 障害児のいる家庭への支援	
	【予習】 障害児のいる家庭への支援について、テキスト・参考資料等で確認する。	90分
	【復習】 障害児のいる家庭への支援について、授業内容を確認し、理解を深める。	90分
第11回	「保育者による子ども家庭支援の実際」(4) 子どもの虐待問題を抱えた家庭への支援	
	【予習】 子どもの虐待問題を抱えた家庭への支援について、テキスト・参考資料等で確認する。	90分
	【復習】 子どもの虐待問題を抱えた家庭への支援について、授業内容を確認し、理解を深める。	90分
第12回	「保育者による子ども家庭支援の実際」(5) ひとり親家庭・ステップファミリーへの支援	
	【予習】 ひとり親家庭・ステップファミリーへの支援について、テキスト・参考資料等で確認する。	90分
	【復習】 ひとり親家庭・ステップファミリーへの支援について、授業内容を確認し、理解を深める。	90分
第13回	「保育者による子ども家庭支援の実際」(6) 外国籍の子どものいる家庭への支援	
	【予習】 外国籍の子どものいる家庭への支援について、テキスト・参考資料等で確認する。	90分
	【復習】 外国籍の子どものいる家庭への支援について、授業内容を確認し、理解を深める。	90分
第14回	「保育者による子ども家庭支援の実際」(7) DV被害を受けている母子への支援	
	【予習】 DV被害を受けている母子への支援について、テキスト・参考資料等で確認する。	90分
	【復習】 DV被害を受けている母子への支援について、授業内容を確認し、理解を深める。	90分
第15回	「これからの子ども家庭支援・課題と展望」	
	【予習】 子ども家庭支援の課題と展望について、テキスト・参考資料等で確認する。	90分
	【復習】 子ども家庭支援の課題と展望について、授業内容を確認し、理解を深める。	90分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目1：期末筆記試験における客観式テストで評価する。(60%) 到達目標項目2：期末筆記試験における記述式テストで評価する。(20%) 到達目標項目3：受講態度・出席カードの記述内容等で評価する。(20%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性10% 社会性10% 専門性：80%		
使用資料 <テキスト>	橋本好市・直島正樹編著（2019）『保育実践に求められる子ども家庭支援』ミネルヴ	使用資料 <参考図書>	保育福祉小六法（みらい） 他、参考文献は適宜示します。
授業外学修等	・ 次回の学習範囲について教科書を読んだの予習、受講後のノートや配布資料の整理などの復習をして下さい。 ・ 少子化、子育て支援、児童虐待、こどもの貧困など、日々の新聞・テレビ・ネットニュースなどに注目をしておいて下さい。 ・ 自分の県や市町村のホームページや広報などで、身近な子ども家庭支援事業に注目をしておいて下さい。		
授業外質問方法	・ メール(tmiyata@tuins.ac.jp)で連絡または研究室（E507）を訪問。時間の都合がつく限り、質問や相談に応じます。		
オフィス・アワー	・ 木曜日3限 E507宮田研究室		

授業科目名	障害児保育			科目コード	K1202P19
英文名	Childcare for Children with Special Needs				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	准教授	担当教員名	河崎 美香		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	4限目		
開講時期	3年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	障害のある幼児の保育には、子ども一人一人の発達や障害特性に応じた支援や保育環境整備等を行うことが必要である。本授業では、障害のある子どもについて、障害に関する基礎的な知識を身に付けるとともに、生活の中で子どもが困っていることを理解し、どのようなかわりや支援、環境の整備が必要であるかを考え、保護者や関係機関との連携の在り方等について演習を通して学ぶ。(担当教員：幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、特別支援教育コーディネーターとして幼保小中学校への巡回相談の実務経験あり)				
キーワード	障害	育ち合い	障害受容		
到達目標	障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障害児及びその保育について理解することができる。(15%)				
	様々な障害について理解し、子どもの理解や援助の方法、環境構成等について学ぶことができる。(40%)				
	障害のある子どもの保育の計画を作成し、個別支援及び他の子どもとのかかわりのなかで保育実践について理解を深めることができる。(20%)				
	障害のある子どもの保護者への支援や関係機関との連携について理解することができる。(15%)				
	障害のある子どもの保育にかかわる保健・医療・福祉・教育等の現状と課題について理解することができる。(10%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
	○				
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション・講義の意図と講義計画 「障害」の概念、障害のとらえ方、ICF、障害児保育の歴史の変遷	
	【予習】テキスト第1章 レッスン1 (P2～P10)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、障害の概念と歴史の変遷について整理する	90分
第2回	インクルーシブ保育 インクルーシブ保育という概念、インクルーシブ教育システム構築、合理的配慮等	
	【予習】テキスト第1章 レッスン2 (P11～P21)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、インクルーシブ保育について整理する	90分
第3回	身体面の支援の必要な子どもの理解と援助 身体面の支援が必要な子ども理解、保育場面における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン3 (P24～P30)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、身体面の支援の必要な子どもの援助について整理する	90分
第4回	感覚面の支援の必要な子どもの理解と援助 感覚について、感覚面の支援が必要な子どもの理解、保育現場における援助等 配布資料	
	【予習】テキスト第2章 レッスン4 (P31～P38)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、感覚面の支援の必要な子どもに対する援助について整理する 提出課題 へ格納してください (本日21時締切)	90分
第5回	知的な面の支援の必要な子どもの理解と援助 知的障害のとらえ方、子どもの理解を助ける保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン5 (P40～P47)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、知的な面の支援の必要な子どもの援助について整理する	90分
第6回	愛着・コミュニケーション、情緒面の支援の必要な子どもの理解と援助 愛着やコミュニケーション、情緒面に課題のある子どもの理解と保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン6 (P48～P57)を読む テキスト第2章 レッスン8 (P66～P72)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、愛着形成や言語・コミュニケーションについて整理する 情緒面の支援の必要な子どもの援助について整理する	90分
第7回	視覚面の支援の必要な子どもの理解と援助 視覚面の支援の必要な子どもの理解、保育現場における援助、専門機関との連携	
	【予習】視覚障害について文献等を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、視覚障害について学んだことを整理する	90分

第8回	聴覚面の支援の必要な子どもの理解と援助 聴覚面の支援の必要な子どもの理解、保育現場における援助、専門機関との連携	
	【予習】聴覚障害について文献等を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、聴覚障害について学んだことを整理する	90分
第9回	子どもの発達を促す生活や遊びの環境 子どもが分かりやすく居心地のよい環境設定、保育の場、発達支援の技法等	
	【予習】テキスト第3章 レッスン10（P88～P98）を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、子どもにとって分かりやすく居心地がよい環境について整理する	90分
第10回	行動面・学習面の支援の必要な子どもの理解と援助 ADHD、LDのある子どもの理解、疑似体験、	
	【予習】第2章 レッスン7（P58～P64）を読む ボタンのたくさん付いた洋服を着てくる。手袋（スノー手袋か軍手）持参してください。	90分
	【復習】授業内容を確認し、疑似体験を通して学んだことを整理する	90分
第11回	障害のある子どもの内面の育ち 子どもの行動観察や保護者からの情報等によるアセスメント、目標設定、援助の実際	
	【予習】前時までの授業内容を確認する	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第12回	保育現場における援助等個別の指導計画の作成、保育計画の実践と評価 個別の指導計画とは何か、作成手順、保育計画の実践、評価	
	【予習】テキスト第3章 レッスン9（P76～P87）を読む テキスト第3章 レッスン12（P111～P119）を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、個別の指導計画の作成手順であるPDCAサイクルについて整理する	90分
第13回	保護者や家族に対する理解と支援 障害のある子どもの保護者支援、障害受容、障害のある子どもを取り巻く家族の理解と支援	
	【予習】テキスト第4章 レッスン13（P126～P133）を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、保護者の障害受容に関する文献を読む	90分
第14回	地域の専門機関等との連携と小学校等との連携 地域の関係機関との連携、連携の実際、小学校との連携、引継ぎ書の作成	
	【予習】テキスト第4章 レッスン14（P134～P143）を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、専門機関等や小学校等との連携について整理する	90分

第15回	特別の支援を必要とする子どもをめぐる法整備、わが国のインクルーシブ保育の課題と展望 授業のまとめ	
	【予習】テキスト第4章 レッスン15（P144～P152）を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、インクルーシブ保育の課題と展望について整理する	90分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	1．全15回の取組状況及び授業内ワークシート、コメントシート（60％程度）、期末試験（40％程度）とし、総合的に評価する。 2．到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。 人間性：15％ 社会性：15％ 専門性：70％		
使用資料 <テキスト>	伊丹昌一編著「インクルーシブ保育論」ミネルヴァ書房	使用資料 <参考図書>	適宜資料を配布
授業外学修等	障害のある乳幼児に係る報道や情報には積極的に目を通す。		
授業外質問方法	授業の前後やオフィスパワーを中心に、随時受け付ける。		
オフィス・アワー	水曜13:10～14:40 河崎研究室(E302)		

授業科目名	教育方法論			科目コード	K1203L02
英文名	Teaching Methodologies				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	非常勤講師	担当教員名	水上 義行		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	学習指導要領に基づく、教育方法の基礎的・基本的内容を理解するとともに、教育方法の歴史的変遷、授業、学力、子ども理解など、小学校現場における様々な課題を取り上げ、具体的な実践に即しながら展開する。講義形式をとるものの、情報機器の活用や授業観察、模擬授業、グループ討議などを取り上げていく。実務経験のある教員による授業				
キーワード	教授・学習	授業の構想	学習意欲	情報機器	
到達目標	教育方法の基礎的・基本的内容・方法を理解し、教育のかかえる様々な課題に対応できる理論や実践を通して、教員としての資質の向上や指導技術を高めることができる。				
	教育方法の変遷について、歴史上に登場する人物を取り上げながら説明できる。				
	諸外国等の新たな学力観や新たな学校制度を知り、個々の特性に対応できる方策がとられていることが理解できる。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	3.地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○	○		

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	教育方法の歴史的概観 (1～15回は、実務経験のある教員による授業)		
	【予習】明治以降の我が国の学校教育に影響を与えた人物や業績等について調査する。		20分
	【復習】講義内容や学習成果をまとめる。		20分
第2回	教育方法の歴史的概観		
	【予習】明治以降の我が国の学校教育に影響を与えた人物や業績等について調査する。		20分
	【復習】講義内容や学習成果をまとめる。		20分
第3回	教育方法の基礎理論		
	【予習】テキスト第1章、2章を精読して講義に備える。		20分
	【復習】講義結果をまとめる。		20分
第4回	様々な学力調査と学習指導要領		
	【予習】テキスト第3章を精読し、学力調査の概要と指導要領の変遷を調べておく。		20分
	【復習】講義結果をまとめる。		20分
第5回	授業のデザイン		
	【予習】第4章 授業のデザインを精読し、授業計画の立案を考えておく。」		20分
	【復習】講義結果をまとめる。		20分
第6回	授業のスタイル		
	【予習】テキスト第5章 授業のスタイルを精読し、教師及び学習者の立場を考えておく。		20分
	【復習】講義結果をまとめる。		20分
第7回	授業のタクト		
	【予習】テキスト第6章 授業のタクトを精読し教師の役割を考えておく。		20分
	【復習】講義結果をまとめる。		20分
第8回	学習意欲と授業		
	【予習】テキスト第7章 「学習意欲を創る」を精読し、学習意欲の向上について考えをまとめておく。		20分
	【復習】講義結果をまとめる。		20分
第9回	学習指導案と模擬授業		
	【予習】模擬授業に対しての計画及び実践にむけての対策を考えておく。		20分
	【復習】模擬授業後の学習内容を整理する。		20分

第10回	学習指導案と模擬授業	
	【予習】模擬授業に対しての計画及び実践にむけての対策を考えておく。	20分
	【復習】模擬授業後の学習内容を整理する。	20分
第11回	デジタル社会の情報リテラシーとICTの利活用	
	【予習】テキスト第10章を精読し、これからの社会が要請するICT活用についての考えをもとめておく。	20分
	【復習】講義結果をまとめる。	20分
第12回	学びのピオトープ ―総合的な学習の時間―	
	【予習】テキスト第11章を精読し、総合的な学習の時間についての現状を把握しておく。	20分
	【復習】講義結果をまとめる。	20分
第13回	グローバル社会で求められる能力と教育方法	
	【予習】テキスト第12章を精読し、「生きる力」の概要を調べておく。	20分
	【復習】講義結果をまとめる。	20分
第14回	21世紀の学びのスタイル	
	【予習】テキスト13章を精読し、21世紀に求められる学びの概要をとらえておく。	20分
	【復習】講義結果をまとめる。	20分
第15回	これからの教師に求められるもの	
	【予習】14回の講義を受けて、教師の在り方を具体を通して発言できるようにしておく。	20分
	【復習】講義結果をまとめる。	20分
第16回	全体のまとめと試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 及び では、15 回の取組状況及び小レポート(40%)、学期末に実施するテスト(40%)や歴史上の人物とその業績の整理など(20%)により総合的に評価する。なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	『学びを創る学びを支える』 一藝社	使用資料 <参考図書>	小学校学習指導要領（平成29年告示）
授業外学修等	積極的に公開授業研究会に参加して見聞を広める。		
授業外質問方法	授業の前後		
オフィス・アワー			

授業科目名	保育の計画と評価			科目コード	K1203L03
英文名	Childcare Planning and Assessment				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	講師	担当教員名	竹田 好美		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	4限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	保育の内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について理解するとともに、全体的な計画と指導計画の作成について、その意義と方法を学ぶ。あわせて、子どもの理解に基づく保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）について、その全体構造を捉え、理解することを目指す。子どもたちや保育施設の実態を捉えつつ、計画・評価における歴史的変遷や小学校との連携・接続、家庭や地域との連携についても考えていく。保育所・認定こども園の内容が中心となるが、幼稚園の教育課程に関しても補足的に学んでいく。講義を中心とするが、適宜、小グループに分かれた討論や、実際に指導計画を作成するなどの作業を通して理解を深めていく。 （科目担当教員：幼稚園教諭の実務経験あり）				
キーワード	カリキュラム	全体的な計画	指導計画	保育の記録	保育の評価
到達目標	保育の計画と評価の意義・目的を理解することができる。（20％）				
	子ども理解に基づく保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）の全体的構造を捉え理解することができる。（35％）				
	全体的な計画の編成意義や、保育指導計画作成の具体的方法についての理解を深めることができる。（45％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	保育の基本 及び 保育の計画と評価の基本 第1回資料		
	【予習】今までの保育関係の授業を振り返っておく。		90分
	【復習】第1回の授業の内容をまとめる。		90分
第2回	保育現場の教育課程・全体的な計画の編成と評価		
	【予習】第1章・第2章を読んでおく。		90分
	【復習】第2回の授業の内容をまとめる。		90分
第3回	計画を創る基礎理論 （1）指針・要領の歴史の変遷と教育課程・全体的な計画		
	【予習】第3章・第6章を読んでおく		90分
	【復習】第3回の授業の内容をまとめる。		90分
第4回	計画を創る基礎理論 （2）子どもの遊びと発達理解		
	【予習】第4章・第5章を読んでおく。		90分
	【復習】第4回の授業の内容をまとめる。		90分
第5回	計画を創る方法 （1）計画の種類と書き方 （2）環境設定の方法		
	【予習】第7章・第8章を読んでおく。		90分
	【復習】第5回の授業の内容をまとめる。		90分
第6回	計画を創る方法 （3）様々な保育実践計画		
	【予習】第9章を読んでおく。		90分
	【復習】第6回の授業の内容をまとめる。		90分
第7回	実践力を高める計画の在り方 （1）実践に応じた計画の工夫		
	【予習】第10章を読んでおく。		90分
	【復習】第7回の授業の内容をまとめる。		90分
第8回	実践力を高める計画の在り方 （2）実践の質の向上を図る記録の在り方		
	【予習】第11章を読んでおく。		90分
	【復習】第8回の授業の内容をまとめる。		90分
第9回	教材研究と指導計画 （1）積木で遊び、遊びを記録する		
	【予習】積木にはどんな種類があるか、調べておく。		90分
	【復習】積木遊びに関する記録をまとめておく。		90分

第10回	教材研究と指導計画 （２）積木遊びを計画する （３）全日実習指導案作成の手順	
	【予習】積木を使ってできる遊びや活動を考えてくる。	90分
	【復習】積木遊びの計画案を完成させる。	90分
第11回	教材研究と指導計画 （４）全日実習指導案の作成	
	【予習】全日実習指導案の流れ、遊びや活動などを考え、教材研究を行う。	90分
	【復習】全日実習の指導案をグループで作成する。教材研究を行う。	90分
第12回	教材研究と指導計画 （５）全日実習の指導案の改善	
	【予習】全日実習の指導案をグループで作成する。	90分
	【復習】全日実習の指導案をグループで完成させる。発表の工夫について考える。	90分
第13回	様々な日案 - 全日実習指導案の発表 -	
	【予習】発表の準備をしておく。	90分
	【復習】第１３回の授業の内容をまとめる。	90分
第14回	様々な日案 - 全日実習指導案の発表 と指導案作成の振り返り -	
	【予習】発表をするグループは発表の準備をしておく。発表が終わったグループは、指導案の改善案を考えておく。	90分
	【復習】第１４回の授業の内容をまとめる。	90分
第15回	保育実践力の向上とこれからのカリキュラムの編成と評価	
	【予習】第１２章を読んでおく。	90分
	【復習】第１５回の授業の内容をまとめる。	90分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	平常点（受講態度・提出物等）（50％）、期末試験（50％）で総合的に評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	北野幸子 編著「乳幼児カリキュラム論 - 教育課程・全体的な計画の編成と評価 -	使用資料 <参考図書>	文部科学省『幼稚園教育要領解説』平成30年（フレーベル館）
授業外学修等	上記時間外においても、授業内容等に関して予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワー、メールまたは直接研究室に訪ねて質問してください。 takeda@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	水曜2限（E301 竹田研究室）		

授業科目名	保育内容（造形表現）(A)			科目コード	K1203L10
英文名	Childcare (Arts and Crafts)				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	講師	担当教員名	佐部利 典彦		
学部	子ども育成学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日	時限	2限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	保育内容（造形表現）に関する基礎的な造形能力や指導力の育成を目指す。 内容は主として保育内容（造形表現）の特性を理解するとともに、具体的な実践事例に基づきながら、指導のポイントや保育支援のあり方等を考察する。また、模擬保育を通して楽しい造形表現の保育を作る知識や技能を身につける。				
キーワード	豊かな感性	造形表現の楽しさ	教材研究	模擬保育	
到達目標	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づいて、幼児の造形表現指導の目標と内容を理解することができる。（20％）				
	教材研究を通して、幼児の造形表現の特性をふまえた多様な造形表現をすることができる。（30％）				
	造形表現を観察評価し、指導や支援ができる能力を身につけることができる。（40％）				
	指導案作成の手順を理解して作成することができる。（10％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
				○	

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	幼児の造形活動について領域のねらいと内容を理解する		
	【予習】文献、論文等で幼児の造形活動について調べる。		30分
	【復習】学習内容をまとめる。		30分
第2回	大画面の表現を体験しながら、幼児の造形活動の支援の留意点について考察する		
	【予習】道具、材料の準備		30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。		30分
第3回	カメラを作っておでかけスケッチ 身の回りにある材料を持ち寄ってカメラを制作する。発達段階とその特徴について理解する		
	【予習】道具、材料の準備		30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。		30分
第4回	完成したカメラを持って散策しながら気になったものをスケッチする。幼児の描画について理解する		
	【予習】道具、材料の準備		30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。		30分
第5回	クリスマス等、行事に関わる制作、段ボールや自然素材を用いて		
	【予習】道具、材料の準備		30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。		30分
第6回	各グループで立てた計画をもとにクリスマスをテーマに制作する		
	【予習】道具、材料の準備		30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。		30分
第7回	クレヨンスクラッチ、デカルコマニー、フロタージュを幼児の活動として行う場合の保育構想計画を立てる		
	【予習】道具、材料の準備		30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。		30分
第8回	前回制作した紙を用いて、新しいキャラクターを創る。幼児のあそびと造形について理解する		
	【予習】道具、材料の準備		30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。		30分
第9回	お弁当を作って出かけよう 粘土や身の回りにある材料お弁当を制作する		
	【予習】道具、材料の準備		30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。		30分

第10回	完成したお弁当を持って散策し、お弁当の鑑賞会を行う。作品鑑賞を行いながら、評価についての考え方を理解する。作品や散歩の様子をデジタルカメラで撮影し活動を振り返る等、効果的な、機器の使用について考察する	
	【予習】道具、材料の準備	30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。	30分
第11回	紙版画 紙を主素材としながら、毛糸なども用いて版を制作する。小学校においての教材の発展性について考察する	
	【予習】道具、材料の準備	30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。	30分
第12回	版を刷る 絵の具による多色刷りと版画用インクによる一色刷りを行う。 幼児の活動として行う場合の保育構想、指導案を立てる	
	【予習】道具、材料の準備	30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。	30分
第13回	教材研究 自分がやってみたい活動について調べ、保育構想、指導案を立てる。 美術館教育との連携 美術館見学の仕方	
	【予習】道具、材料、参考文献の準備	30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。	30分
第14回	模擬授業 教材研究をもとに指導案を作り、模擬授業を行う（つくりたいものをつくる活動）小学校教育との連携を理解する。 鑑賞について	
	【予習】道具、材料、参考文献の準備	30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。	30分
第15回	模擬授業 教材研究をもとに指導案を作り、模擬授業を行う（造形あそび的な活動）小学校教育との連携を理解する。 鑑賞について	
	【予習】道具、材料の準備	30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。	30分
第16回	定期試験は行わない。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 ～ について、授業での取り組み・活動の様子（70％）、提出課題（30％）で評価します。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 ＜テキスト＞	特になし	使用資料 ＜参考図書＞	文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」
授業外学修等	・ 空き容器や自然物（落ち葉や木の実）など、自分で事前に準備する物がありますから、常日頃から意識して材料を集めましょう。 ・ 安全や汚れに対する配慮が予想される題材の場合は、服装などに留意してください。		
授業外質問方法	いつでも研究室にお越しください。		
オフィス・アワー	水曜2限（E-306佐部利研究室）		

授業科目名	保育内容（造形表現）(B)			科目コード	K1203L10
英文名	Childcare (Arts and Crafts)				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	講師	担当教員名	佐部利 典彦		
学部	子ども育成学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日	時限	3限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	保育内容（造形表現）に関する基礎的な造形能力や指導力の育成を目指す。 内容は主として保育内容（造形表現）の特性を理解するとともに、具体的な実践事例に基づきながら、指導のポイントや保育支援のあり方等を考察する。また、模擬保育を通して楽しい造形表現の保育を作る知識や技能を身につける。				
キーワード	豊かな感性	造形表現の楽しさ	教材研究	模擬保育	
到達目標	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づいて、幼児の造形表現指導の目標と内容を理解することができる。（20％）				
	教材研究を通して、幼児の造形表現の特性をふまえた多様な造形表現をすることができる。（30％）				
	造形表現を観察評価し、指導や支援ができる能力を身につけることができる。（40％）				
	指導案作成の手順を理解して作成することができる。（10％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	幼児の造形活動について領域のねらいと内容を理解する		
	【予習】文献、論文等で幼児の造形活動について調べる。		30分
	【復習】学習内容をまとめる。		30分
第2回	大画面の表現を体験しながら、幼児の造形活動の支援の留意点について考察する		
	【予習】道具、材料の準備		30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。		30分
第3回	カメラを作っておでかけスケッチ 身の回りにある材料を持ち寄ってカメラを制作する。発達段階とその特徴について理解する		
	【予習】道具、材料の準備		30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。		30分
第4回	完成したカメラを持って散策しながら気になったものをスケッチする。幼児の描画について理解する		
	【予習】道具、材料の準備		30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。		30分
第5回	クリスマス等、行事に関わる制作、段ボールや自然素材を用いて		
	【予習】道具、材料の準備		30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。		30分
第6回	各グループで立てた計画をもとにクリスマスをテーマに制作する		
	【予習】道具、材料の準備		30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。		30分
第7回	クレヨンスクラッチ、デカルコマニー、フロタージュを幼児の活動として行う場合の保育構想計画を立てる		
	【予習】道具、材料の準備		30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。		30分
第8回	前回制作した紙を用いて、新しいキャラクターを創る。幼児のあそびと造形について理解する		
	【予習】道具、材料の準備		30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。		30分
第9回	お弁当を作って出かけよう 粘土や身の回りにある材料お弁当を制作する		
	【予習】道具、材料の準備		30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。		30分

第10回	完成したお弁当を持って散策し、お弁当の鑑賞会を行う。作品鑑賞を行いながら、評価についての考え方を理解する。作品や散歩の様子をデジタルカメラで撮影し活動を振り返る等、効果的な、機器の使用について考察する	
	【予習】道具、材料の準備	30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。	30分
第11回	紙版画 紙を主素材としながら、毛糸なども用いて版を制作する。小学校においての教材の発展性について考察する	
	【予習】道具、材料の準備	30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。	30分
第12回	版を刷る 絵の具による多色刷りと版画用インクによる一色刷りを行う。 幼児の活動として行う場合の保育構想、指導案を立てる	
	【予習】道具、材料の準備	30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。	30分
第13回	教材研究 自分がやってみたい活動について調べ、保育構想、指導案を立てる。 美術館教育との連携 美術館見学の仕方	
	【予習】道具、材料、参考文献の準備	30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。	30分
第14回	模擬授業 教材研究をもとに指導案を作り、模擬授業を行う（つくりたいものをつくる活動）小学校教育との連携を理解する。 鑑賞について	
	【予習】道具、材料、参考文献の準備	30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。	30分
第15回	模擬授業 教材研究をもとに指導案を作り、模擬授業を行う（造形あそび的な活動）小学校教育との連携を理解する。 鑑賞について	
	【予習】道具、材料の準備	30分
	【復習】批判的思考力をもって日常生活を観察し、日常生活の中にアートの視点をもつ。	30分
第16回	定期試験は行わない。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 ～ について、授業での取り組み・活動の様子（70％）、提出課題（30％）で評価します。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 ＜テキスト＞	特になし	使用資料 ＜参考図書＞	文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」
授業外学修等	・ 空き容器や自然物（落ち葉や木の実）など、自分で事前に準備する物がありますから、常日頃から意識して材料を集めましょう。 ・ 安全や汚れに対する配慮が予想される題材の場合は、服装などに留意してください。		
授業外質問方法	いつでも研究室にお越しください。		
オフィス・アワー	水曜2限（E-306佐部利研究室）		

授業科目名	教育課程論			科目コード	K1203P01
英文名	Curriculum Theory				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	教授	担当教員名	松山 友之		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	月曜日	時限	3限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	わが国初の近代学校体制として作られた学制（1872）から現在に至るまでの小学校教育課程について概観し、わが国の小学校教育課程管理等の基本的な理解をする。また、小学校学習指導要領の変遷を、社会の変化と対比して理解する。 小学校学習指導要領（平成29年告示）をもとに、新たな学力観を理解し、教育課程の編成方法についてグループ等で討議する。 また、カリキュラム・マネジメントの手法を学ぶ。				
キーワード	教育課程	学習指導要領	カリキュラムマネジ	隠れたカリキュラム	
到達目標	カリキュラムとカリキュラムマネジメントの基本的事項について理解し、各教科のカリキュラムマネジメントができる。(40%)				
	わが国の小学校教育課程の変遷についてその概略を知り、それがそれぞれの時代の社会情勢と関連があることを説明できる。(30%)				
	2020年から本格的に実施される小学校学習指導要領の「見方・考え方」や「三つの柱」を踏まえて学習指導案を書くことができる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション - 「教育課程」と「カリキュラム」の意味 (1～15回は、実務経験のある教員による授業)		
	【予習】教育課程という用語の意味を調べる。		30分
	【復習】教育課程とカリキュラムの共通点と相違点をまとめる。学生の学びを深めるために資料等を紹介する。		30分
第2回	全国的な標準としての学習指導要領の意義 - なぜ学習指導要領があるのか		
	【予習】小学校学習指導要領（平成29年告示 以下、新学習指導要領という）の総則を読んでおく。		30分
	【復習】学習指導要領の役割についてまとめる。学生の学びを深めるために資料等を紹介する。		30分
第3回	わが国における教育課程行政の仕組み		
	【予習】中央教育審議会の働きについて調べておく。		30分
	【復習】小学校の学習内容がどのような仕組みで決められているのかをまとめる。学生の学びを深めるために資料等を紹介する。		30分
第4回	わが国における教育課程の変遷（１） - 学制・教育令の時代		
	【予習】教科書9ページから29ページまでを読んでおく。		30分
	【復習】儒教思想がわが国の教育課程に及ぼした影響をまとめる。学生の学びを深めるために資料等を紹介する。		30分
第5回	わが国における教育課程の変遷（２） - 小学校令と森有礼の施策について		
	【予習】教科書第三章を精読しておく。		30分
	【復習】森有礼の教育観と施策をまとめる。学生の学びを深めるために資料等を紹介する。		30分
第6回	わが国における教育課程の変遷（３） - 明治３０年代以降の教育課程		
	【予習】教科書第四章を精読しておく。		30分
	【復習】産業の発展と学校教育との関係をまとめる。学生の学びを深めるために資料等を紹介する。		30分
第7回	わが国における教育課程の変遷（４） - 大正新教育運動とその破綻 - 子ども中心主義と河合訓導事件		
	【予習】対象新教育運動について調べておく。		30分
	【復習】木下竹次や及川平治などが考えた教育課程についてまとめる。学生の学びを深めるために資料等を紹介する。		30分
第8回	わが国における教育課程の変遷（５） - 戦後改革期における学習指導要領と経験主義教育		
	【予習】教科書第六章を精読して、墨塗り教科書について考えておく。		30分
	【復習】経験主義教育について、要点をらえまとめる。学生の学びを深めるために資料等を紹介する。		30分
第9回	わが国における教育課程の変遷（６） - 経験主義から系統主義へ（昭和26年から昭和33年の学習指導要領へ）		
	【予習】教科書第七章を精読する。		30分
	【復習】経験主義から系統主義への移行についてまとめる。学生の学びを深めるために資料等を紹介する。		30分

第10回	わが国における教育課程の変遷（ 7 ） - 新学力観の登場と地方分権	
	【予習】教科書第十章を精読しておく。	30分
	【復習】新学力観が主張された背景をまとめる。学生の学びを深めるために資料等を紹介する。	30分
第11回	.「 2 1 世紀型能力」モデルの登場と新学習指導要領 - 現行の学力観について理解する。	
	【予習】21世紀型能力について調べておく。	30分
	【復習】21世紀型能力と新学習指導要領の「三つの柱」の関係をまとめる。学生の学びを深めるために資料等を紹介する。	30分
第12回	生活科と幼保小接続	
	【予習】幼児期の終わりまでに身につけたい10の姿について調べておく。	30分
	【復習】幼保小接続カリキュラムについてまとめる。学生の学びを深めるために資料等を紹介する。	30分
第13回	アクティブラーニングと「主体的・対話的で深い学び」	
	【予習】「主体的・対話的で深い学び」の意味について調べる。	30分
	【復習】「主体的」・「対話的」で「深い学び」の三つの言葉から1つ以上を選び、それを実現する方策をまとめる。学生の学びを深めるために資料等を紹介する。	30分
第14回	学校カリキュラムと単元づくり、授業づくり	
	【予習】学校カリキュラムと、各授業者（教員）が考える単元や授業の構成との関係について調べる。	30分
	【復習】教員が考える単元や授業の構成について、カリキュラムマネジメントの手法をまとめる。学生の学びを深めるために資料等を紹介する。	30分
第15回	教員の指導力とヒドゥン・カリキュラム	
	【予習】ヒドゥン・カリキュラムの意味について調べる。	30分
	【復習】ヒドゥン・カリキュラムがもつ特徴から、意図的でない指導を排除する方策をまとめる。学生の学びを深めるために資料等を紹介する。	30分
第16回	まとめの試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標については、15回の授業への取組状況(40%)、学期末試験(30%)、及びレポート(30%)により総合的に評価する。 なお、評価する基準は「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。試験(40%)		
使用資料 <テキスト>	水原克敏ほか著『学習指導要領は国民形成の設計書 - その能力観と人間像の歴史的変	使用資料 <参考図書>	文部省『学習指導要領一般編(試案)』、1947年。(必要に応じて授業中に配付する。
授業外学修等	公立小学校等で公開される研究授業を参観し、指導案や授業の展開から、単元構成の要点を理解する。		
授業外質問方法	メールによる質問 matsuayma@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	金曜 1 限		

授業科目名	保育内容（音楽表現）(A)				科目コード	K1203P09
英文名	Childcare (Music)					
科目区分	子ども育成の内容・方法					
職名	非常勤講師		担当教員名	大村 禎子		
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科		
曜日	木曜日		時限	1限目		
開講時期	3年前期		授業の方法	講義		
必修・選択	選択		単位数	2単位		
授業の概要	子ども自らが主体的に関わっていくことが出来るよう、保育現場で使われている音楽遊びの体験をとおして、表現の相互関係を理解し、遊びを体得しながら音楽表現活動について学習する。					
キーワード	歌唱	表現				
到達目標	子どもの発達に応じた遊び方を適切で豊富な基礎知識、技能のもと保育現場において活用できるようにする。					
	他者と協同した音楽表現によるコミュニケーションを図ることができるようになること。					
	手遊びや子供の歌等の曲に合う声、動きで表現でき、その表現に適した楽器選びと演奏が出来るようになること。					
卒業要件・資格関連等						
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー	
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）					
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援					
キー・コンピテンシー（重視する能力）						
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力		
○		○	○	○		
教授方法（授業方法）						
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動	

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業方法の説明（子どもの音楽的表現について）	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	保育における感性と表現力を育てる遊び（フレーズ）、評価方法、小学校音楽科との関連	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第3回	模擬保育における手遊びと表現（どうぶつガボット）	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第4回	模擬保育における手遊びと表現、動きのリズム（にんじんのたね）	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第5回	日本の子どもの歌についての歌と身体表現	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第6回	幼児が親しみやすい楽器を加えた活動 楽器の演奏・遊び方、情報機器の活用	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第7回	幼児が親しみやすい楽器を加えた活動 リトミックを取り入れた演奏	
	【予習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
	【復習】	
第8回	幼児が親しみやすい楽器を加えた活動 合奏の楽しみ方、情報機器の活用	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第9回	手作り楽器を作成し、具体的な保育指導法を考える	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	

第10回	幼稚園や保育園で歌われる行事の歌の動きと表現	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第11回	情報機器の活用を含めた子どもオペレッタの構成と作成	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第12回	子どもオペレッタのグループ発表を行い、お互いを評価	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	子どもオペレッタの指導案作成（3才児、4才児、5才児）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	子どもの遊び方の指導案の実践	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	課題発表	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	出席状況及び授業の態度(40%)、実技試験及び提出物(60%)により総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	井口太代表著『新・幼児の音楽教育』(朝日出版社)	使用資料 <参考図書>	参考資料(楽譜等)を適宜配布
授業外学修等	各回で学んだことを復習してください。 筆記用具を持参してください。		
授業外質問方法	毎回の授業終了後		
オフィス・アワー			

授業科目名	保育内容（音楽表現）(B)			科目コード	K1203P09
英文名	Childcare (Music)				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	非常勤講師	担当教員名	大村 禎子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	木曜日	時限	2限目		
開講時期	3年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	子ども自らが主体的に関わっていくことが出来るよう、保育現場で使われている音楽遊びの体験をとおして、表現の相互関係を理解し、遊びを体得しながら音楽表現活動について学習する。				
キーワード	歌唱	表現			
到達目標	子どもの発達に応じた遊び方を適切で豊富な基礎知識、技能のもと保育現場において活用できるようにする。				
	他者と協同した音楽表現によるコミュニケーションを図ることができるようになること。				
	手遊びや子供の歌等の曲に合う声、動きで表現でき、その表現に適した楽器選びと演奏が出来るようになること。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		○	○	○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業方法の説明（子どもの音楽的表現について）	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	保育における感性と表現力を育てる遊び（フレーズ）、評価方法、小学校音楽科との関連	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第3回	模擬保育における手遊びと表現（どうぶつガボット）	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第4回	模擬保育における手遊びと表現、動きのリズム（にんじんのたね）	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第5回	日本の子どもの歌についての歌と身体表現	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第6回	幼児が親しみやすい楽器を加えた活動 楽器の演奏・遊び方、情報機器の活用	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第7回	幼児が親しみやすい楽器を加えた活動 リトミックを取り入れた演奏	
	【予習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
	【復習】	
第8回	幼児が親しみやすい楽器を加えた活動 合奏の楽しみ方、情報機器の活用	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第9回	手作り楽器を作成し、具体的な保育指導法を考える	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	

第10回	幼稚園や保育園で歌われる行事の歌の動きと表現	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第11回	情報機器の活用を含めた子どもオペレッタの構成と作成	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第12回	子どもオペレッタのグループ発表を行い、お互いを評価	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	子どもオペレッタの指導案作成（3才児、4才児、5才児）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	子どもの遊び方の指導案の実践	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	課題発表	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	出席状況及び授業の態度(40%)、実技試験及び提出物(60%)により総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	井口太代表著『新・幼児の音楽教育』(朝日出版社)	使用資料 <参考図書>	参考資料(楽譜等)を適宜配布
授業外学修等	各回で学んだことを復習してください。 筆記用具を持参してください。		
授業外質問方法	毎回の授業終了後		
オフィス・アワー			

授業科目名	国語科教育法			科目コード	K1203P21
英文名	Methods of Teaching Japanese Language Arts				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	講師	担当教員名	岩崎 直哉		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限	3限目		
開講時期	3年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	1 小学校国語科教育の内容や方法が分かるように、国語科の基礎知識を習得し、教科書教材を基にした教材研究や指導計画、指導法の原理等を学ぶ。 2 模擬授業の実践と観察を通して学習指導の具体を理解する。 3 実務経験者による授業である。				
キーワード	小学校学習指導要領	教科書教材の教材研	模擬授業		
到達目標	国語科がどのような教科か、また指導事項は何かなど、基礎・基本となる知識を理解できる。(20%)				
	教科書教材をもとに、教材研究や授業構想についての基本を理解できる。(30%)				
	具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。(30%)				
	国語科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。(20%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践			子どもの発達と相談支援	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
	○	○	○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○	○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、国語科の意義と目的 ・国語科教育法のねらい ・国語科の教科目標 ・国語科授業と学習指導法	
	【予習】○テキストで本時の該当箇所をあらかじめ読んでおく。	30分
	【復習】○本時で新たに知ったことや他との協議で得た情報をまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第2回	学習指導要領改定と国語科の領域 ・学習指導要領の概要	
	【予習】○テキストで本時の該当箇所をあらかじめ読んでおく。	30分
	【復習】○本時で新たに知ったことや他との協議で得た情報をまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第3回	「話すこと・聞くこと」 1. はじめに 2. 学力の三要素としての位置づけ 3. 指導事項 4. 音声言語活動の特性と指導の本質 5. 話すこと・聞くことのジャンル 6. 教科書教材一覧 7. 教材研究のポイント 8. 評価の課題、解決のための課題 9. まとめ	
	【予習】○テキストで本時の該当箇所をあらかじめ読んでおく。	30分
	【復習】○本時で新たに知ったことや他との協議で得た情報をまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第4回	「書くこと」 1. はじめに 2. 「書くこと」の意義と意味 3. 「書くこと」の指導事項 4. 「書くこと」の言語活動事例～学習指導要領から 5. 「書くこと」の指導例（各学年） 6. 4コマ漫画を用いて起承転結の構成を指導する 7. まとめ	
	【予習】○テキストで本時の該当箇所をあらかじめ読んでおく。	30分
	【復習】○本時で新たに知ったことや他との協議で得た情報をまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第5回	「読むこと」 1. はじめに 2. 学力の三要素としての位置づけ 3. 指導事項 4. 文章のジャンル 5. 言語活動例 6. 教科書教材一覧 7. 教材研究のポイント 8. 評価の課題、解決のための課題 9. まとめ	
	【予習】○テキストで本時の該当箇所をあらかじめ読んでおく。	30分
	【復習】○本時で新たに知ったことや他との協議で得た情報をまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第6回	「くちばし」（1年）の授業を構想する ・「読むこと」と「話すこと・聞くこと」「書くこと」の関連 ・説明文「くちばし」を読み、説明の論理を捉える ・「単元」について知る ・学習指導案に必要な「項目」 ・学習課題とまとめ、振り返り	
	【予習】○テキストで本時の該当箇所をあらかじめ読んでおく。	30分
	【復習】○本時で新たに知ったことや他との協議で得た情報をまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第7回	○教材研究の仕方と学習指導案の書き方 「ごんぎつね」（4年）の授業を例に ・「読むこと」と「話すこと・聞くこと」「書くこと」の関連 ・学習指導案に必要な「項目」 ・学習指導案を一部書いてみる	
	【予習】○テキストで本時の該当箇所をあらかじめ読んでおく。	30分
	【復習】○本時で新たに知ったことや他との協議で得た情報をまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第8回	○1時間の構成の仕方 （発問・学習課題・振り返り） 「じどう車くらべ」（1年）の授業構想 ・読み書き関連指導（「じどう車ずかんをつくらう」との関連） ・単元の構想の仕方 ・学習指導案を一部書いてみる	
	【予習】○テキストで本時の該当箇所をあらかじめ読んでおく。	30分
	【復習】○本時で新たに知ったことや他との協議で得た情報をまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分

第9回	◦単元づくりの仕方 「すがたを変える大豆（3年）」の全体計画の構想 ・教材文の価値と教材研究の仕方 ・「学習の手引き」について ・説明文の指導事項（中学年） ・単元の指導構想 ・学年に適した学習活動事例 ・学習指導案を一部書いてみる	
	【予習】○テキストで本時の該当箇所をあらかじめ読んでおく。	30分
	【復習】○本時で新たに知ったことや他との協議で得た情報をまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第10回	教科書に掲載されている詩を教材に1時間の授業細案を立てる 模擬授業（岩崎研による） 演習のためのオリエンテーション（第12回～第15回） ・教材研究 ・学習活動	
	【予習】○テキストで本時の該当箇所をあらかじめ読んでおく。	30分
	【復習】○本時で新たに知ったことや他との協議で得た情報をまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第11回	◦詩の授業を構想しよう	
	【予習】○テキストで本時の該当箇所をあらかじめ読んでおく。	30分
	【復習】○本時で新たに知ったことや他との協議で得た情報をまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第12回	模擬授業の計画と単元導入における教師のはたらき ・模擬授業のための班編成 ・模擬授業のための班会議 ・演習のためのオリエンテーション（第13回～第15回） ・模擬授業の授業観察と評価 ・時間の管理確認	
	【予習】○テキストで本時の該当箇所をあらかじめ読んでおく。	30分
	【復習】○本時で新たに知ったことや他との協議で得た情報をまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第13回	模擬授業の実施と反省会（その1） ・各班の模擬授業 ・授業反省会	
	【予習】○テキストで本時の該当箇所をあらかじめ読んでおく。	30分
	【復習】○本時で新たに知ったことや他との協議で得た情報をまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第14回	模擬授業の実施と反省会（その2） ・各班の模擬授業 ・授業反省会	
	【予習】○テキストで本時の該当箇所をあらかじめ読んでおく。	30分
	【復習】○本時で新たに知ったことや他との協議で得た情報をまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第15回	模擬授業の実施と反省会（その3） ・各班の模擬授業 ・授業反省会	
	【予習】○テキストで本時の該当箇所をあらかじめ読んでおく。	30分
	【復習】○本時で新たに知ったことや他との協議で得た情報をまとめておく。	60分
第16回	最終レポート 「国語科授業で実践したいこと」（800字） 8月10日（火）まで 課題1に提出	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	平常点（受講態度、模擬授業への参加等50％）、試験(50％) 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	小学校国語科授業研究 田近洵一・大熊徹 著	使用資料 <参考図書>	必要に応じて紹介する。
授業外学修等	特になし		
授業外質問方法	オフィス・アワーを利用する。または、メールで質問する（iwasaki@tuins.ac.jp）。		
オフィス・アワー	木曜4限		

授業科目名	社会科教育法			科目コード	K1203P22
英文名	Methods of Teaching Social Studies				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	教授 非常勤講師	担当教員名	大藪 敏宏 水上 義行		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	5限目		
開講時期	3年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	小学校における社会科教育の理念と目標・内容、及び社会科教育と総合的な学習の関連などを具体的な事例を通して学ぶとともに、社会科授業の参観、社会科学習の指導案の作成、授業分析など社会科指導の基礎的・基本的内容を学ぶ。社会科教育の現場の経験者が指導します。				
キーワード	学習指導要領	生活科	総合的学習	社会科	地歴公民科
到達目標	学習指導要領の小学校社会科の意義と目的・内容を理解し、具体的な授業構想を作成することができる。(40%)				
	小学校中学年の社会科では、地域素材を教材とするため、児童が住む市町村から適切な社会的事象を選び、教材をつくることできる。(30%)				
	地図やグラフ、年表などから、社会的事象や歴史的事象を読み取ることができる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）			地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○			○	○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○			○	

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	(大藪敏宏担当) 履修上の注意点 講義概要 (社会科教育の実務経験のある教員が担当します)	
	【予習】小学校学習指導要領総則について調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領総則と授業で学んだことについて、ノートにまとめる。	30分
第2回	(大藪敏宏担当) 「社会科」とはどのような教科か、教育の目的と社会科教育	
	【予習】小学校学習指導要領社会について調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領社会と授業で学んだことについて、ノートにまとめる。	30分
第3回	(大藪敏宏担当) 公教育の目的ならびに歴史と社会科教育	
	【予習】小学校学習指導要領社会第3学年の目標について調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領社会第3学年の目標と授業で学んだことについて、ノートにまとめる。	30分
第4回	(大藪敏宏担当) 教育基本法ならびにその歴史と社会科教育	
	【予習】小学校学習指導要領社会第4学年の目標について調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領社会第4学年の目標について学んだことについて、ノートにまとめる。	30分
第5回	(大藪敏宏担当) 各教科の目標と社会科教育	
	【予習】小学校学習指導要領社会第5学年の目標について調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領社会第5学年の目標についてまとめる。	30分
第6回	(大藪敏宏担当) 社会科教育の目標・目的と特徴 社会科教育の意義と役割	
	【予習】小学校学習指導要領社会第6学年の目標について調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領社会第6学年の目標と授業で学んだことについて、ノートにまとめる。	30分
第7回	(大藪敏宏担当) 社会科各学年の目標 第3学年1(3)2019 年 1月 29 日 火曜日9:40 第4学年1(1)(3)DVD	
	【予習】社会科各学年の目標と内容について調べる。 第5学年1(3)理想郷 上 中 下	30分
	【復習】社会科各学年の目標と内容や授業で学んだことについて、ノートにまとめる。	30分
第8回	(水上義行担当) 社会科学習と教材の開発 (8～15回は、実務経験のある教員が担当します)	
	【予習】戦後の小学校社会科について、経験主義と系統学習について調べる。	30分
	【復習】経験主義と系統主義について授業で学んだことについて、ノートにまとめる。	30分
第9回	(水上義行担当) 授業における子どもへの発問、板書、指名や話し合いの仕方 - 若い教師の授業記録を教材に -	
	【予習】若い教員による社会科授業記録を印刷し配付する。それを読み、授業の進め方などについて考えをまとめておく。	30分
	【復習】話し合いの仕方と授業で学んだことについて、ノートにまとめる。	30分

第10回	(水上義行担当) 「生きる力」を育む社会科授業の改善	
	【予習】生きる力について調べる。	30分
	【復習】生きる力と授業で学んだことについて、ノートにまとめる。	30分
第11回	(瀬戸健担当) 教科書教材を基にした指導法の検討と指導案の作成	
	【予習】同一の単元の指導案について調べる。	30分
	【復習】指導案と授業で学んだことについて、ノートにまとめる。	30分
第12回	(水上義行担当) 指導資料の作成と模擬授業(3・4学年)	
	【予習】中学年の指導資料について調べる。	30分
	【復習】中学年の指導資料と授業で学んだことについて、ノートにまとめる。	30分
第13回	(水上義行担当) 指導資料の作成と模擬授業(5・6学年)	
	【予習】高学年の指導資料について調べる。	30分
	【復習】高学年の指導資料と授業で学んだことについて、ノートにまとめる。	30分
第14回	水上義行担当) 社会科と生活科	
	【予習】学習指導要領の生活科と社会科との接続について調べる。	30分
	【復習】学習指導要領の生活科と授業で学んだことについて、ノートにまとめる。	30分
第15回	(水上義行担当) 社会科と総合的な学習の時間について、学習の問題について検討する。	
	【予習】学習指導要領の総合的な学習の時間における問題解決過程について調べる。	30分
	【復習】学習指導要領の総合的な学習の時間と授業で学んだことについて、ノートにまとめる。	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標については、１５回ある授業への取組状況(40%)、課題等の取組状況(20%)、レポートや指導案・模擬授業など(40%)で総合的に評価する。 人間性：40%、社会性：30%、専門性：30% なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会科編(文部科学省)	使用資料 <参考図書>	必要に応じて印刷物を配付する。
授業外学修等	テキストの予習・復習をしておくこと。		
授業外質問方法	授業が終わった直後、またはオフィスアワーの時間などに前もって予約を取り、各教員のところに質問に行くようにする。		
オフィス・アワー	オフィスアワーを中心に、随時。 曜 限(大藪 研究室)		

授業科目名	算数科教育法			科目コード	K1203P23
英文名	Methods of Teaching Arithmetic				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	教授	担当教員名	辻井 満雄		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	月曜日	時限	1限目		
開講時期	3年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	1 算数科教育の目標・内容・方法を理解し、小学校算数科の授業を計画し実施できるための素養を身に付ける。 2 算数的活動を通して、教材開発、学習指導、評価方法、授業研究に関する知識と技術を各位得する。				
キーワード	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
到達目標	数学的活動を通して、算数のよさを知り、算数科の学習指導を行う上での基礎的な素養を身に付けることができる。（25％）				
	数と計算、図形、測定、変化と関係、データの活用で取り上げる内容の系統を理解することができる。（25％）				
	算数科教育の目標・内容・方法を理解し、単元の指導計画の作成や学習指導案の作成することができる。（25％）				
	数学的活動の意義を理解し、学習指導で適切に組織することができる。（25％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○		○	○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○	○		

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション、算数科学習の意義と目的 算数・数学の意識調査と問題を解く。つまずきを生かす方法について、グループで討議する。 (1 ～ 1 5 回は、実務経験のある教員による授業)		
	【予習】小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 算数編 p.1～20 を読む。		30分
	【復習】計算テストの復習、チャレンジ問題をする。		90分
第2回	算数科の歴史		
	【予習】旧小学校学習指導要領（平成20年度8月）解説 算数編 を読む。		30分
	【復習】算数の意義についてまとめる。		90分
第3回	学習指導要領の改訂と指導目標・内容 数学的活動や学びにむかううちからについて、ペアで考える。		
	【予習】小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 算数編 p.21～75 を読む。数学的活動についてまとめる。		30分
	【復習】小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 算数編 p.21～75のまとめをする。		60分
第4回	各学年の目標及び内容（1・2年） 教科書のページをみて、グループ内で発問を考える。資料 出席票及び課題 集積表及び課題は、第4回の「課題1」へ提出せよ。5/11までとする。		
	【予習】小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 算数編 p.76～133 を読む。		30分
	【復習】授業内容をまとめ、再度、小学校学習指導要領解説 算数編の1・2年の目標及び内容を読む。		60分
第5回	各学年の目標及び内容（3・4年） 課題について、グループで討議し、発表する。体験的な活動をペアで行う。第5回資料 遠隔授業の場合の出席票・課題 遠隔授業の場合は、ワードの「出席票・課題」を課題1へ提出せよ。		
	【予習】小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 算数編 p.134～231 を読む。		30分
	【復習】授業内容をまとめ、再度、小学校学習指導要領解説 算数編の3・4年の目標及び内容を読む。○は何個あるか工夫して考え、レポートを提出する。		60分
第6回	各学年の目標及び内容（5・6年） 2.8はどのような数が、グループで討議する。○は何個あるかの考えの一覧を見て、ペアでどれを取り上げるか話し合う。		
	【予習】小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 算数編 p.232～322 を読む。		30分
	【復習】授業内容をまとめ、再度、小学校学習指導要領解説 算数編の5・6年の目標及び内容を読む。○は何個あるかの考えの一覧から、どれを取り上げるかレポートにまとめる。		60分
第7回	多角形の内角の和と指導案作成		
	【予習】小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 算数編 p.50～56，p.248～254 を読む。		30分
	【復習】多角形の内角の和の指導案を再検討をする。		90分
第8回	領域「A数と計算」の内容と指導 つまずきの発見と指導の仕方について、ペアで考える。		
	【予習】小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 算数編 領域「A数と計算」 p.42～49，p.78～88、p.104～118、p.136～158、p.181～201、p.234～248、p.286～291 を読む。		30分
	【復習】授業内容をまとめ、再度、小学校学習指導要領解説 算数編の領域「A数と計算」を読む。 数直線を使った問題を調べ、その解答とともにレポートにまとめる。		60分

第9回	本日は、全員がzoom授業です。領域「B図形」の内容と指導 「円周率は3」と「教師の役割」について、グループで協議する。正方形の紙1枚とはさみを用意する。	
	【予習】小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 算数編 領域「B図形」 p.50～56，p.88～90、p.118～121、p.158～162、p.201～213、p.248～261、p.291～300 を読む。	30分
	【復習】授業内容をまとめ、再度、小学校学習指導要領解説 算数編の領域C「図形」を読む。学習指導案づくり。	60分
第10回	領域「C測定」（下学年）、「C変化と関係」（上学年）の内容と指導 指導案の書き方について、ペアで話し合う。	
	【予習】小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 算数編 領域「C測定」（下学年）及び「C変化と関係」（上学年） p.56～66，p.90～94、p.122～125、p.163～167、p.214～220、p.261～270、p.300～306 を読む。	30分
	【復習】授業内容をまとめ、再度、小学校学習指導要領解説 算数編の領域「C測定」（下学年）及び「C変化と関係」（上学年）を読む。学習指導案づくり。グループ内の役割分担を決める。	60分
第11回	領域「D データの活用」の内容と指導	
	【予習】小学校学習指導要領解説 算数編の領域「D データの活用」 p.67～74、p.94～101、p.125～133、p.168～178、p.220～231、p.271～283、p.306～321 を読む。	30分
	【復習】授業内容をまとめ、再度、小学校学習指導要領解説 算数編の領域「D データの活用」を読む。	60分
第12回	模擬授業と学習指導案の検討	
	【予習】指導案の書き方を調べる。	30分
	【復習】模擬授業の反省と学習指導案の改善の方法を確認し、レポートにまとめる。	60分
第13回	学習指導案の作成と模擬授業（1・2・3年）	
	【予習】学習指導案づくり。	30分
	【復習】模擬授業の反省と学習指導案の改善の方法を確認し、レポートにまとめる。	60分
第14回	学習指導案の作成と模擬授業（4・5・6年）	
	【予習】学習指導案づくり。	30分
	【復習】模擬授業の反省と学習指導案の改善の方法を確認し、レポートにまとめる。	60分
第15回	学習指導案の作成と模擬授業	
	【予習】小学校学習指導要領解説 算数編の領域「Dデータの活用」 p.67～74、p.94～101、p.125～133、p.168～178、p.220～231、p.271～283、p.306～321 を読む。	30分
	【復習】授業内容をまとめ、再度、小学校学習指導要領解説 算数編の領域D「数量関係」を読む。	60分
第16回	期末考查	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 及び では、15回の取組状況及び小レポート（30％）、課題等の内容（30％）で評価する。 及び では、期末考査及びレポート、模擬授業等（40％）により総合的に評価する。なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 算数編	使用資料 <参考図書>	『平成31年度幼・小・中学校教育指導の重点 一人一人を見つめ、育てる』（富山県教
授業外学修等	予習復習の徹底		
授業外質問方法	ゼミ室へ来訪するか、メール(tsuji@tuins.ac.jp)をする。		
オフィス・アワー	月曜4限（14：50～16：20）		

授業科目名	理科教育法			科目コード	K1203P24
英文名	Methods of Teaching Science				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	教授	担当教員名	松山 友之		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	月曜日	時限	2限目		
開講時期	3年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	明治から現在までの日本における理科教育の変遷を概観し、続いて現行の学習指導要領のA・B各区分の実際の指導例、観察・実験の進め方、観察・実験における事故防止、理科におけるもの作り、指導案の作成、授業設計と評価、情報機器（ICT）の活用について扱い、模擬授業を行う。 実務経験のある教員による授業。				
キーワード	問題解決	観察・実験の重視	教材研究	情報機器の活用	
到達目標	小学校理科の授業や観察・実験の基本的な進め方や扱う各学年の内容のつながりを理解し、模擬授業を通して、授業場面を想定した授業設計と実践力を身に付けることができる。(100%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	○	○	○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○	○	○	○	

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション（小学校理科の意味と授業の実際、理科教育法の学びの全体像） 模擬授業体験（模擬授業グループの編制、課題選択、シナリオ作り）		
	【予習】課題　ふりこの1往復する時間　花のつくり　物が燃えつづけるには		60分
	【復習】・小学校における理科の授業について思ったことや感じたこと、各自の問題意識を振り返りカードにまとめる。提出された課題について、コメントを加えて返信する。 4 に提出 理科教育法振り返りカード		60分
第2回	模擬授業（模擬授業グループに分かれ、導入5分）、振り返り 栽培の準備（ホウセンカ）、課題レポート について 模擬授業 について		
	【予習】・模擬授業体験の準備、シナリオ作り		60分
	【復習】・模擬授業体験から学んだことを整理し、振り返りカードにまとめる。提出された課題について、コメントを加えて返信する。 2021 振り返りカード 左をクリックするとフォルダーが開きます。自分のものをクリックして開き、編集、上書きしてください。常に最新になります。心配な人は編集後ダウンロードして保管してください。編集後アップロードすることもできます。 他の人のものに触れないでください。無くなると困ります。記録が残っていますので、開いた人は特定されます。		30分
第3回	模擬授業体験の振り返り 理科教育の目標とその変遷（明治～昭和20年～現在）、問題解決の能力、問題解決の過程、構成主義と素朴概念 小学校学習指導要領（理科）の概要、教科書、観察・実験の基本的な進め方 座席表4/26		
	【予習】・小学校学習指導要領解説理科編の目標等を一読する。		30分
	【復習】・理科教育の目標とその変遷などに関する小テスト の準備をする。学生の学びが深まるような資料等を紹介する。		30分
第4回	小テスト B 生命の観察・実験 教材研究と教材化の視点、指導上の留意点 面白クイズ 戦後の理科教育の変遷 あいずち		
	【予習】・理科教育の目標とその変遷などに関する小テストの準備をする。 ・小学校学習指導要領解説理科編の指定の学年の内容を一読する。		30分
	【復習】・B 生命の観察・実験について学びを小レポート にまとめる。提出された課題について、コメントを加えて返信する。		60分
第5回	B 地球の観察・実験 教材研究と教材化の視点、指導上の留意点 座席表5/17 理科教育法（第5回）資料		
	【予習】・小学校学習指導要領解説理科編の指定の学年の内容を一読する。		30分
	【復習】・B地球の観察・実験について学びを小レポート にまとめる。提出された課題について、コメントを加えて返信する。		60分

第6回	野外観察、飼育・栽培、天体観測、授業における情報機器の効果的な活用 座席表5/24 教科書 教科書	
	【予習】・小学校学習指導要領解説理科編の指定の内容を一読する。	30分
	【復習】・野外観察、飼育・栽培、天体観測、情報機器の活用について学びを小レポート にまとめる。提出された課題について、コメントを加えて返信する。	60分
第7回	A物質の観察・実験 教材研究と教材化の視点、指導上の留意点 座席表	
	【予習】・小学校学習指導要領解説理科編の指定の学年の内容を一読する。	
	【復習】・A物質の観察・実験について学びを小レポート にまとめる。提出された課題について、コメントを加えて返信する。	90分
第8回	Aエネルギーの観察・実験 教材研究と教材化の視点、指導上の留意点	
	【予習】・小学校学習指導要領解説理科編の指定の学年の内容を一読する。	30分
	【復習】・Aエネルギーの観察・実験について学びを小レポート にまとめる。提出された課題について、コメントを加えて返信する。	60分
第9回	理科の観察・実験における事故防止、観察・実験の準備、理科室管理 教材・教具の研究と理科のもの作り 3年デジタル教科書（教師用） 4年デジタル教科書（教師用） 5年デジタル教科書（教師用） 6年デジタル教科書（教師用） 小学校理科 観察実験の手引き 座席表 6/14 今日の課題 この1時間の板書を考えよう！ 小レポート 理科の板書とは？ 自由に編集してまとめてください。提出期限は18日（金）17:00です。 次のフォルダに提出してください。 小レポート提出フォルダ	
	【予習】・小学校学習指導要領解説理科編の指定の学年の内容を一読する。	30分
	【復習】・事故防止と理科におけるものづくりについて学びを小レポート にまとめる。学生の学びが深まるような資料等を紹介する。	60分
第10回	小テスト 模擬授業に向けて 単元構想と全体計画の作成、授業実践とその評価（計画と方法） （授業構想グループ編制、課題設定と授業計画）、課題レポート について 座席表0621 指導案書式	
	【予習】・理科の観察・実験における事故防止、観察・実験の準備、理科室管理について小テスト の準備をする。	30分
	【復習】・課題レポート 「ホウセンカの栽培を振り返って」 ・模擬授業の準備 学生の学びが深まるような資料等を紹介する。	60分

第11回	模擬授業に向けて 授業計画と学習指導案作り（授業構想グループ） 座席表6/28	
	【予習】・模擬授業の準備	30分
	【復習】・模擬授業の準備 学生の学びが深まるような資料等を紹介する。	60分
第12回	模擬授業に向けて 学習指導案の作成と教材研究、授業準備（授業構想グループ） 座席表7/5 模擬授業場所割と準備	
	【予習】・模擬授業の準備	30分
	【復習】・模擬授業の準備 学生の学びが深まるような資料等を紹介する。	60分
第13回	模擬授業演習 模擬授業演習（3・4学年）の振り返り 模擬授業レポート 書式 ダウンロードして使ってください。3回とも書式は同じです。	
	【予習】・模擬授業の準備	30分
	【復習】・模擬授業の準備、課題レポート レポートの提出先フォルダ 第13回7月12日 指導案の提出先フォルダ 指導案7月12日 ファイル名 2019K000〇〇〇〇 理科指導案 レポート・指導案の提出期限 7月24日（連絡が遅くなりましたすみません。）	60分
第14回	模擬授業演習 模擬授業演習（5学年）の振り返り	
	【予習】・模擬授業の準備、課題レポート	30分
	【復習】・模擬授業の準備、課題レポート 提出された課題について、コメントを加えて返信する。 レポートの提出先フォルダ 第14回7月19日 指導案の提出先フォルダ 指導案7月26日 ファイル名 2019K000〇〇〇〇 理科指導案 レポート・指導案の提出期限 7月26日	60分
第15回	模擬授業演習 模擬授業演習（6学年）の振り返り、今後の小学校理科、ICTの活用 理科教育のこれから（小学校理科の授業のこれからについて）	
	【予習】・模擬授業の準備、課題レポート	30分
	【復習】課題レポート 「模擬授業を振り返って」提出された課題について、コメントを加えて返信する。 レポートの提出先フォルダ 第15回7月26日 指導案の提出先フォルダ 指導案7月26日 ファイル名 2019K000〇〇〇〇 理科指導案 レポート・レポートの提出期限 8月2日	60分

第16回	福田先生の附属小学校の理科の授業です。 大変すばらしい授業です。ぜひ見てください。 感想を振り返りカードの最後のページに書いてください。（途中の予定でしたが、最後にページを追加してください。） 植物の養分と水の通り道 植物の養分と水の通り道 植物の養分と水の通り道 植物の養分と水の通り道 植物の養分と水の通り道 植物の養分と水の通り道	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	模擬授業と課題レポート（30％）、15回の取組の状況及び小テストと小レポート等(70％）により評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	『小学校学習指導要領解説 理科編』（平成29年6月 文部科学省）、毎	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、授業中に紹介する。
授業外学修等	毎回の授業内容や小レポート、課題レポートに関連する学習内容を関連書籍や資料を通して調べる。		
授業外質問方法	オフィス・アワーを利用する。または、メールで質問する（matsuyama@tuins.ac.jp）。		
オフィス・アワー	金曜 1 限		

授業科目名	生活科教育法			科目コード	K1203P25
英文名	Methods of Teaching Life Environment Studies				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	非常勤講師		担当教員名	水上 義行	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	金曜日		時限	4限目	
開講時期	3年前期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	2単位	
授業の概要	低学年児童の特性を生かした実際の生活科授業を、教材づくり、体験活動などを通して理解し、学習指導案の作成・模擬授業の実施など実践的な指導能力を高める。				
キーワード	活動や体験	遊び	自然・社会	評価	気付き
到達目標	生活科新設の背景や、学習内容である9項目について、目標・内容を具体的な子どもの学びの姿で理解できる。(30%)				
	指導計画や指導案の作成、模擬授業などを行い、生活科の意義や低学年教育に果たす役割を説明できる。(40%)				
	幼保小の接続や、小学校低学年から中学年への接続に果たす生活科の役割を理解して接続カリキュラムを考えることができる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
○					
ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践			富山の子ども育成	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
				○	

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	生活科授業の特性 (1～15回は、小学校教員などの実務経験のある教員が授業を行う)		
	【予習】平成29年版学習指導要領を参考に、生活科の概要を把握しておく。		20分
	【復習】講義内容をまとめる。		20分
第2回	低学年教育への問題提起		
	【予習】生活科は、低学年教育にどのような問題提起をしたのか予測しておく。		20分
	【復習】講義内容のまとめ		20分
第3回	生活科の目標		
	【予習】学習指導要領に示された生活科の目標を調べておく。		20分
	【復習】講義内容のまとめ		20分
第4回	生活科の内容		
	【予習】学習指導要領に示された生活科の内容を調べておく。		20分
	【復習】講義内容のまとめ		20分
第5回	指導計画の作成と内容の取扱い		
	【予習】生活科の年間計画や学習展開の在り方について調べておく。		20分
	【復習】講義内容のまとめ		20分
第6回	指導計画の作成と学習指導		
	【予習】生活科学習指導案の作成を試みる。		20分
	【復習】講義内容のまとめ		20分
第7回	生活科授業の参観		
	【予習】富山県小学校教育研究会の研究作成試案を精読しておく。		20分
	【復習】授業参観後に学習したことをレポートにまとめる。		20分
第8回	生活科指導と教師の役割		
	【予習】具体的な活動や体験を重視する指導について、具体例を調査しておく。		20分
	【復習】講義内容のまとめ		20分
第9回	生活科教材の収集		
	【予習】身の回りの生活科教材を収集しておく。		20分
	【復習】講義内容のまとめ		20分

第10回	生活科の学習指導案	
	【予習】第6回から続けてきた生活科学習指導案を提案できるようにしておく。	20分
	【復習】講義内容のまとめ	20分
第11回	生活科授業の展開 - 優れた実践事例から授業構想を学ぶ -	
	【予習】生活科模擬授業の対策を立てておく。	20分
	【復習】生活科模擬授業の指導案を見直し、修正する。	20分
第12回	生活科授業の展開 - 授業の導入を中心に模擬授業を実施する -	
	【予習】生活科模擬授業の対策を立てておく。	20分
	【復習】生活科模擬授業の結果を分析してまとめておく。	20分
第13回	生活科授業の展開 - 活動中を中心に模擬授業を実施する -	
	【予習】生活科模擬授業の対策を立てておく。	20分
	【復習】生活科模擬授業の結果を分析してまとめておく。	20分
第14回	幼児教育から小学校への移行と接続について - スタートカリキュラムと生活科の役割について -	
	【予習】幼保接続に関する問題点について、調べておく。	20分
	【復習】講義内容のまとめ	20分
第15回	低学年から中学年への円滑な移行 - 低学年から中学年への移行 -	
	【予習】生活科から総合的な学習の時間への移行や低学年から中学年以上の児童の発達段階を調べておく。	20分
	【復習】講義内容のまとめ	20分
第16回	全体のまとめとレポート作成	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 及び では、15回の取組状況及び学習環境に関するレポート(30%)、作成された指導案や模擬授業等(40%)、児童の動きに対する教員としての対応等(30%)により評価する。なお、評価する基準は、「 富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説生活科編』文部科学省	使用資料 <参考図書>	必要に応じて資料を印刷し、配布する。
授業外学修等	県内小学校授業参観・学外教材探索など		
授業外質問方法	授業の前後		
オフィス・アワー			

授業科目名	家庭科教育法			科目コード	K1203P28
英文名	Methods of Teaching Home Economics				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	非常勤講師	担当教員名	磯崎 尚子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	木曜日	時限	4限目		
開講時期	3年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	小学校家庭科の特徴、教育的意義、教育内容、教育内容の学問的背景や社会的状況、教材研究、指導法、カリキュラムや授業の構想等について、アクティブ・ラーニングを取り入れながら理論と授業実践の両面から検討する。内容論では、主として食生活、衣生活、住生活について講義する。課題等により予習・復習を促す。				
キーワード	家庭科教育	カリキュラム	教育評価	教材	学習指導要領
到達目標	小学校の家庭科の授業を担当するために、必要な知識、技能、態度を獲得し育成することを目的とする。この講義では、小学校の家庭科の授業実践を想定し、そのために必要とされる家庭科教育の基礎的な教育原理、教育方法などについて理解し、知識や技能を習得する。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	○	○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○			○		○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、家庭科のカリキュラム、授業の構想の視点 授業についてのガイダンス。家庭科とは何かについて考える。	
	【予習】テキストである、新しい家庭科を読む。	120分
	【復習】学生の興味・関心、理解度を考慮しながら、授業中に説明する。	120分
第2回	家庭科の歴史的変遷、諸外国の家庭科	
	【予習】学生の理解度を考慮しながら、第1回の授業で説明する。	120分
	【復習】学生の興味・関心、理解度を考慮しながら、授業中に説明する。	120分
第3回	家庭科の特性と目標、学習指導要領の分析	
	【予習】学生の理解度を考慮しながら、第2回の授業で説明する。	120分
	【復習】学生の興味・関心、理解度を考慮しながら、授業中に説明する。	120分
第4回	現代の家族・家庭生活の課題と家族の学習、教材開発と学習指導要領の分析、情報機器及び教材の活用法	
	【予習】学生の理解度を考慮しながら、第3回の授業で説明する。	120分
	【復習】学生の興味・関心、理解度を考慮しながら、授業中に説明する。	120分
第5回	食生活の課題と学習（１）、教材開発と学習指導要領の分析、実習・実験・ものづくりの教育的意義、情報機器及び教材の活用法	
	【予習】学生の理解度を考慮しながら、第4回の授業で説明する。	120分
	【復習】学生の興味・関心、理解度を考慮しながら、授業中に説明する。	120分
第6回	食生活の課題と学習（２）、教材開発と学習指導要領の分析、実習・実験・ものづくりの教育的意義、情報機器及び教材の活用法	
	【予習】学生の理解度を考慮しながら、第5回の授業で説明する。	120分
	【復習】学生の興味・関心、理解度を考慮しながら、授業中に説明する。	120分
第7回	衣生活の課題と学習、教材開発と学習指導要領の分析、実習・実験・ものづくりの教育的意義、情報機器及び教材の活用法	
	【予習】学生の理解度を考慮しながら、第6回の授業で説明する。	120分
	【復習】学生の興味・関心、理解度を考慮しながら、授業中に説明する。	120分
第8回	住生活の課題と学習、学習指導要領の分析、実習・実験・ものづくりの教育的意義、情報機器及び教材の活用法	
	【予習】学生の理解度を考慮しながら、第7回の授業で説明する。	120分
	【復習】学生の興味・関心、理解度を考慮しながら、授業中に説明する。	120分
第9回	消費生活・環境の課題と学習、学習指導要領の分析、実習・実験・ものづくりの教育的意義、情報機器及び教材の活用法	
	【予習】学生の理解度を考慮しながら、第8回の授業で説明する。	120分
	【復習】学生の興味・関心、理解度を考慮しながら、授業中に説明する。	120分

第10回	問題解決型学習、思考を育む学習	
	【予習】学生の理解度を考慮しながら、第9回の授業で説明する。	120分
	【復習】学生の興味・関心、理解度を考慮しながら、授業中に説明する。	120分
第11回	教材構成論、情報機器及び教材の活用法、年間指導計画、学習指導案、評価	
	【予習】学生の理解度を考慮しながら、第10回の授業で説明する。	120分
	【復習】学生の興味・関心、理解度を考慮しながら、授業中に説明する。	120分
第12回	模擬授業の実施と批評 食生活、情報機器及び教材の活用法	
	【予習】学生の理解度を考慮しながら、第11回の授業で説明する。	120分
	【復習】学生の興味・関心、理解度を考慮しながら、授業中に説明する。	120分
第13回	模擬授業の実施と批評 衣生活、情報機器及び教材の活用法	
	【予習】学生の理解度を考慮しながら、第12回の授業で説明する。	120分
	【復習】学生の興味・関心、理解度を考慮しながら、授業中に説明する。	120分
第14回	模擬授業の実施と批評 住生活、消費生活と環境、情報機器及び教材の活用法	
	【予習】学生の理解度を考慮しながら、第13回の授業で説明する。	120分
	【復習】学生の興味・関心、理解度を考慮しながら、授業中に説明する。	120分
第15回	模擬授業の実施と批評 家族・家庭生活、情報機器及び教材の活用法	
	【予習】学生の理解度を考慮しながら、第14回の授業で説明する。	120分
	【復習】学生の興味・関心、理解度を考慮しながら、授業中に説明する。	120分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	期末試験50%、課題(1)30%、課題(2)10%、授業への取り組み・態度10%を総合的に評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	・文部科学省 小学校学習指導要領解説 家庭編	使用資料 <参考図書>	必要に応じて紹介する。
授業外学修等	下記の資料を読み、課題を解決する。 ・文部科学省 小学校学習指導要領解説 家庭編 ・小学校家庭科教科書 新しい家庭5、6年 東京書籍 ・荒井紀子編著、新版 生活主体を育む 探求する力をつける家庭科、ドメス出版		
授業外質問方法	国際大学の事務の方を通して、連絡ください。		
オフィス・アワー			

授業科目名	体育科教育法			科目コード	K1203P29
英文名	Methods of Physical Education				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	講師	担当教員名	金子 泰子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	月曜日	時限	3限目		
開講時期	3年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	・ 小学校体育の目標および学習内容、および小学校体育における各種教材の指導法を理解する。 ・ 体育的活動の計画、指導実践を通して、教材準備、技術指導、評価方法に関する知識と技術を身に付ける。 実務経験のある教員による授業				
キーワード	小学校体育	指導法	発達発育	運動指導	子どもの体力
到達目標	学習指導要領に示された小学校体育の目標と内容を理解する。小学校体育の授業研究のための教材研究の仕方を理解することができる。				
	教科目標の趣旨に従って、各単元の指導計画、学習指導案を作成することができる。				
	模擬授業の実践を通して、体育的活動の意義、指導上の留意点を理解することができる。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○	○	○		

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション 小学校体育に求められるもの、小学校体育の目標（小学校学習指導要領） 小学校学習指導要領の変遷、考え方、目標の移り変わり、指導法		
	【予習】		
	【復習】小学校体育科の目標の内容を理解し、重要語句にマークを付ける。 小学校するために、小テストを実施する。		30分
第2回	子どもの体力・運動能力の現状と小学校体育の役割について 小学校体育科の6領域、保健の学習内容について		
	【予習】		
	【復習】現代の子どもを取り巻く現状を踏まえて、小学校体育でできることは何かについて小レポートを作成する。 レポートの内容や質問事項について回答を作成し、次回の授業内容に反映する。		30分
第3回	小学校学習指導要領体育科の目標及び内容1 体づくり運動：体づくりの運動遊び、体づくり運動		
	【予習】		
	【復習】体ほぐしの運動遊び、体ほぐしの運動の活動アイデアについて小レポートを作成する。 レポートの内容や質問事項について回答を作成し、次回の授業内容に反映する。		30分
第4回	小学校学習指導要領体育科の目標及び内容2 器械運動：器械・器具を使つての運動遊び、器械運動		
	【予習】		
	【復習】器械運動で扱う技の指導方法やコツについて小レポートを作成する。 レポートの内容や質問事項について回答を作成し、次回の授業内容に反映する。		
第5回	小学校学習指導要領体育科の目標及び内容3 水泳運動：水遊び、水泳運動		
	【予習】		
	【復習】水遊びの心得、水泳運動の心得を踏まえて、水泳運動の授業で配慮しなければいけない安全指導の在り方について小レポートを作成する。 レポートの内容や質問事項について回答を作成し、次回の授業内容に反映する。		30分
第6回	小学校学習指導要領体育科の目標及び内容4 陸上運動：走・跳の運動あそび、走・跳の運動、陸上運動 投運動の指導について		
	【予習】		
	【復習】陸上運動の各種目における指導アイデアについて小レポートを作成する。 レポートの内容や質問事項について回答を作成し、次回の授業内容に反映する。		30分
第7回	小学校学習指導要領体育科の目標及び内容5 ボール運動：ゲーム、ボール運動		
	【予習】		
	【復習】ボール運動のボール操作・ボールを持たない時の技能の指導方法について小レポートを作成する。 レポートの内容や質問事項について回答を作成し、次回の授業内容に反映する。		30分

第8回	小学校学習指導要領体育科の目標及び内容6 表現運動：表現リズム遊び、表現運動	
	【予習】	
	【復習】表現運動における「心身の解放」「イメージへの没入」「仲間と協力する」の3つの要点を授業に反映する指導アイデアについて小レポートを作成する。レポートの内容や質問事項について回答を作成し、次の授業内容に反映する。	30分
第9回	指導計画の作成 指導計画の考え方、単元計画の形式、作成の方法 小学校体育科の目標についての小テスト	
	【予習】小学校体育科の目標について理解し、小テストに備えて学習する。	60分
	【復習】自分が担当することになった領域・単元についての資料を集め、教材の作成・準備をする。学習指導案を回収し、修正・助言をして計画している授業内容が深まるように支援する。	120分
第10回	模擬授業その1 「体つくりの運動遊び、体つくり運動」 模擬授業の意義・進め方、観察と評価	
	【予習】模擬授業の準備、指導計画立案、使用器具の準備 学習指導案を回収し、修正・助言をして計画している授業内容が深まるように支援する。	60分
	【復習】	
第11回	模擬授業その2 「器械・器具を使つての運動遊び、器械運動」 模擬授業の意義・進め方、観察と評価	
	【予習】模擬授業の準備、指導計画立案、使用器具の準備 学習指導案を回収し、修正・助言をして計画している授業内容が深まるように支援する。	60分
	【復習】	
第12回	模擬授業その3 「走・跳の運動遊び、走・跳の運動、陸上運動」 模擬授業の意義・進め方、観察と評価	
	【予習】模擬授業の準備、指導計画立案、使用器具の準備 学習指導案を回収し、修正・助言をして計画している授業内容が深まるように支援する。	60分
	【復習】	
第13回	模擬授業その4 「ゲーム、ボール運動（ゴール型、ベースボール型）」 模擬授業の意義・進め方、観察と評価	
	【予習】模擬授業の準備、指導計画立案、使用器具の準備 学習指導案を回収し、修正・助言をして計画している授業内容が深まるように支援する。	60分
	【復習】	
第14回	模擬授業その5 「ゲーム、ボール運動（ネット型）」 模擬授業の意義・進め方、観察と評価	
	【予習】模擬授業の準備、指導計画立案、使用器具の準備 学習指導案を回収し、修正・助言をして計画している授業内容が深まるように支援する。	60分
	【復習】	

第15回	模擬授業その6 「表現リズム遊び、表現運動」 模擬授業の意義・進め方、観察と評価	
	【予習】模擬授業の準備、指導計画立案、使用器具の準備 学習指導案を回収し、修正・助言をして計画している授業内容が深まるように支援する。	60分
	【復習】自分の取り組んだ授業の振り返り、他班から学んだことをまとめたレポートを作成する。 レポートを評価し、助言を加筆して返却し、学びが深まるように支援する。	120分
第16回	介護等体験代替措置：独立行政法人国立特別支援教育総合研究所学修資料「障害児の教育課程とその指導（全15回）」 右のフォルダをクリックして学修資料ファイルをダウンロードしてください。「介護等体験 代替措置学修資料」	
	【予習】 視覚・聴覚障害児教育・学修経過記録表Wordデータをクリックしてダウンロードしてください。 作成したデータは、右の4にアップロードしてください。	1350分
	【復習】 視覚・聴覚障害児の教育課程及び指導法に関する学修報告書Wordデータをダウンロードしてください。 作成したデータは、右の4にアップロードしてください。	80分

評価方法	毎回の授業時の提出レポート（50％）、模擬授業での授業展開力・教材開発力（20％）、学習指導案（10％）小テスト結果（10％）を総合的に判断して評価する。 到達目標 20％、40％、40％		
使用資料 <テキスト>	文部科学省著『小学校学習指導要領解説 体育編』（東洋館出版社）	使用資料 <参考図書>	『学校体育実技指導資料』 第7集「体つくり運動」、
授業外学修等	小学校体育科で実施する種目の運動内容、効果的な指導方法について文献や映像資料等を通して自主的に調べ、知識を深めておくこと。		
授業外質問方法	メールにて受け付ける。 kaneko@tuins.ac.jp オフィス・アワーにて対応する。		
オフィス・アワー	水曜日2限（10:50～12:20）E313号室		

授業科目名	外国語科教育法			科目コード	K1203P30
英文名	Methods of Foreign Language Teaching				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	教授	担当教員名	福島 美枝子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	2限目		
開講時期	3年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	学習指導要領、教科書、チームティーチング等、日本における教育実践の特質を踏まえ、外国語活動（中学年）と教科としての外国語（高学年）の学習、指導、評価に関する知識と指導技術を学ぶ。各種指導法とその背景にある言語習得観について学ぶとともに、児童生徒と英語でやりとりをする技能を導入し、最後に模擬授業を考案・発表して授業実践へのレディネスを高める。				
キーワード	外国語活動	英語教育	小学生の学び方	指導案作成	指導法・教授法
到達目標	歴史、現行の学習指導要領（目標と内容）、外国語教育プログラムの種類の観点から日本の小学校英語の特徴を理解する。				
	小学生のための多様な活動案や指導法や教授法を体験と理解の両面で学び、教え方のレパートリーと発想の幅を広げる。				
	ミニ指導案作成とそれによる模擬授業を通して、授業の組み立て方と実施方法を体験する。				
	小学生の英語の学び方に着目し、授業でそれに配慮する姿勢を身につける。				
	この科目で使用する教科書やプリント教材に出てくる英語表現を自分が使えるものとして取り込む。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
○			○		
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
	○	○	○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
○		○		/	

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	(1) 小学校英語の歴史 (2) 学習指導要領に見る「外国語活動」(英語活動)及び「外国語」(英語)の目標と内容	
	【予習】	
	【復習】4月14日のパワーポイント	40分
第2回	(1) 日本の小学校外国語教育プログラム～プログラム形態、指導形態、担任の役割 (2) 「英語教育改革実施計画」～国の施策としての英語教育	
	【予習】	
	【復習】学習内容の復習	40分
第3回	前回のグループワークのまとめ (1) グループディスカッション1の振り返り～あなたはと思う、小学校の英語 (2) グループワーク2～国の施策 (3) 教科書の分析(趣旨、構成、特徴)	
	【予習】国の施策についてグループの担当ページについて理解を深める	30分
	【復習】学習内容の復習	30分
第4回	教科書分析結果 教科書分析の結果から授業を考える	
	【予習】教科書の分析方法(視点)について考えてみよう	30分
	【復習】教科書の構成についても考えよう (1) 全体の構成(巻頭部、各課、巻末)(2)各課の構成	30分
第5回	児童生徒に英語で語りかける技能習得法 ～ 対話、指示用フレーズ、自発的スモールトーク、ストーリーの暗唱	
	【予習】英語の時間に児童生徒に話しかける言葉やその種類について考えてみよう	30分
	【復習】今日の授業で扱われた様々な表現を復習しよう(使う時のために準備)	30分
第6回	ビデオ視聴によって指導法を考える (1) ゲームの実践 (2) 数の教え方 (3) 歌の教え方	
	【予習】小学校で習った歌、ゲーム、会話文を思い出してみよう(説明できるように書いてくる)	30分
	【復習】学習内容の復習(自分自身の実践の観点から考える)	30分
第7回	ビデオ視聴によって指導法を考える	
	【予習】資料(プリント教材)の読解と要点整理	30分
	【復習】学習内容の復習	30分
第8回	小学生のコミュニケーションを促す指導法と言語習得論 (4) TPR (5) the Natural Approach (6) Communicative Language Teaching (7) Task-Based Language Teaching (8) other methodologies	
	【予習】資料(プリント教材)の読解と要点整理	30分
	【復習】学習内容の復習	30分
第9回	1) 小学生への英語教授法に関する小テスト 2) 指導案の作り方	
	【予習】資料(プリント教材)の読解と要点整理	30分
	【復習】学習内容の復習	30分

第10回	(1) 文字言語の導入方法 (2) コミュニケーション重視の読み書き活動 (3) 4技能の統合	
	【予習】資料（プリント教材）の読解と要点整理	30分
	【復習】学習内容の復習	30分
第11回	(1) 発達段階を踏まえた指導法 (2) 言語習得に関する仮説	
	【予習】発達段階と言語習得に関するこれまでの個人的考えの活性化	30分
	【復習】学習内容の復習	30分
第12回	(1) 教材・教具 (2) ICTの活用 (3) 評価方法 (4) 児童や学校の多様性への対応	
	【予習】資料（プリント教材）の読解と要点整理	30分
	【復習】学習内容の復習	30分
第13回	(1) 指導案の作り方と書き方 (2) 模擬授業の準備	
	【予習】英語の指導事例の読解	30分
	【復習】模擬授業案完成	30分
第14回	模擬授業準備 & リハーサル	
	【予習】模擬授業準備	30分
	【復習】模擬授業リハーサル	30分
第15回	模擬授業 と 指導案の検討 （A～Eグループ）	
	【予習】模擬授業担当グループ リハーサル	30分
	【復習】発表グループはフィードバックによる課題提出	60分
第16回	模擬授業 と 指導案の検討 （F～Jグループ）	
	【予習】模擬授業担当グループリハーサル	
	【復習】発表グループはフィードバックによる課題提出	

評価方法	(1) 平常点（50％）～授業への積極的参加、予習、指導案作成 & 模擬授業 等 （2）期末試験（50％）		
使用資料 <テキスト>	テキスト： 文部科学省『小学校学習指導要領（平成2	使用資料 <参考図書>	岡秀夫・金森強（2012）『小学校外国語活動の進め方～「こどばの教育」として』
授業外学修等	毎週、復習と予習を欠かさず、教室での教育実践者の立場で必要な知識や技能の習得に努めてください。		
授業外質問方法	研究室（E館 311）訪問またはメールで連絡してください。mifuku@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	火曜日 2限		

授業科目名	道徳教育指導論			科目コード	K1203P31
英文名	Theory of Moral Education				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	非常勤講師	担当教員名	水上 義行		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	3年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	「道徳」に関して受講者自身が深く考え、学校における道徳教育を行ううえで必要とされる基礎知識、道徳教育における教師の役割を概説するとともに、学校の教育活動全体を通じて行う日々の道徳教育の要となる、特別の教科道徳の学習指導案の作成、模擬授業の実施を行う。				
キーワード	道徳教育	道徳科	「考え、議論する道		
到達目標	「道徳」に関して受講者自身が深く考え、道徳とは何かを説明できるようになる。また、学校における道徳教育を行ううえで必要とされる基礎知識を理解できる。（50％）				
	学校の教育活動全体を通じて行う日々の道徳教育の要となる特別の教科道徳の指導案を作成し、授業を行うことができる。（50％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
			○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション ―道德教育の基本的な性格―	
	【予習】道德教育とは何か調べる。	60分
	【復習】道德教育の基本的な性格について、講義の内容を復習する。	60分
第2回	学校教育における道德教育 ―現行の学校教育制度における道德教育のあり方―	
	【予習】現行の学校教育制度における道德教育のあり方について調べる。	60分
	【復習】現行の学校教育制度における道德教育のあり方について講義の内容を復習する。	60分
第3回	道德とは何か	
	【予習】道德とは何なのか考える。	60分
	【復習】道德について講義の内容を復習する。	60分
第4回	なぜ道德が必要なのか ―道德および道德教育の必要性―	
	【予習】道德および道德教育の必要性について考える。	60分
	【復習】道德および道德教育の必要性について講義の内容を復習する。	60分
第5回	道德は教えられるのか ―道德はどのようにして教えられるのか―	
	【予習】道德はどのようにして教えられるのかについて考える。	60分
	【復習】道德はどのようにして教えられるのかについて、講義の内容を復習する。	60分
第6回	学校における道德教育の歴史（１） ―戦前、戦後の道德教育のあり方―	
	【予習】戦前、戦後の道德教育のあり方について調べる。	60分
	【復習】戦前、戦後の道德教育のあり方について講義の内容を復習する。	60分
第7回	学校における道德教育の歴史（２） ―道德教育をめぐる現代の問題―	
	【予習】道德教育をめぐる現代の問題について調べる。	60分
	【復習】道德教育をめぐる現代の問題について講義の内容を復習する。	60分
第8回	道德性の発達 ―子どもの道德性の発達を理解する―	
	【予習】子どもの道德性の発達について調べる。	60分
	【復習】子どもの道德性の発達について講義の内容を復習する。	60分
第9回	よく生きるとはどのようなことか ―道德教育および道德科の目標・内容―	
	【予習】道德教育および道德科の目標・内容について調べる。	60分
	【復習】道德教育および道德科の目標・内容について講義の内容を復習する。	60分

第10回	道徳教育と学校 ―道徳教育が全学的な協力関係を必要とすることを理解する―	
	【予習】道徳教育が全学的な協力関係を必要とすることについて調べる。	60分
	【復習】道徳教育が全学的な協力関係を必要とすることについて講義の内容を復習する。	60分
第11回	道徳授業方法論（１） ―学習指導要領を踏まえた授業の方法とその特徴―	
	【予習】小学校学習指導要領を調べる。	60分
	【復習】学習指導要領を踏まえた道徳科の授業について講義の内容を復習する。	60分
第12回	道徳授業方法論（２） ―道徳科において用いられる資料の特徴―	
	【予習】道徳科において用いられる資料について調べる。	60分
	【復習】道徳科において用いられる資料について講義の内容を復習する。	60分
第13回	道徳授業方法論（３） ―学習指導案の作成と模擬授業（小学校低・中学年）を実施し、実践を通して授業内容を改善する視点を身につける―	
	【予習】学習指導案の作成について調べる。	60分
	【復習】学習指導案の作成について、講義の内容を復習する。	60分
第14回	道徳授業方法論（４） ―学習指導案の作成と模擬授業（小学校高学年）を実施し、実践を通して授業内容を改善する視点を身につける―	
	【予習】よりよい道徳科の授業を行うために何に注意すべきか考える。	60分
	【復習】よりよい道徳科の授業を行うために何に注意すべきかについて、講義の内容を復習する。	60分
第15回	道徳授業方法論（５） ―道徳科における評価のあり方を理解する―	
	【予習】道徳科における評価のあり方について考える。	60分
	【復習】道徳科における評価のあり方について講義の内容を復習する。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標　、　については、授業中に提出する提出物（指導案を含む）および模擬授業の内容（30％）、最終レポート（70％）によって評価する。なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 <テキスト>	文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別の教科	使用資料 <参考図書>	文部科学省『小学校学習指導要領』（プリントにより補足する）
授業外学修等	授業で配布されたプリントなどを用いて復習を行い、次回の授業に備えること。授業時間外で指導案作成等の作業を行ってもらうことがある。		
授業外質問方法	授業の前後		
オフィス・アワー			

授業科目名	総合的な学習の時間の指導法			科目コード	K1203P32
英文名					

科目区分	子ども育成の内容・方法				
------	-------------	--	--	--	--

職名	教授	担当教員名	大藪 敏宏		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	3年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		

授業の概要	教育への高い専門性とそれを支える幅の広い教養や知識を基盤にした、学習教材の創意工夫・開発、学習指導案、模擬授業等の体験と対話的な話し合いの訓練・体験的な学習活動の実践を核にして展開する。				
キーワード	総合的学習	教材収集	N I E		
到達目標	総合的な学習の時間の意義や目的を理解し、追究・探究活動に対して、主体的、積極的、創造的に係る能力や、基本的な知識理解・認識等、知的側面にかかわる能力を身に付けながら、発表や模擬授業ができる。				

卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー
○					

ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
○	○			

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○			○	

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	総合的な学習の時間の意義	
	【予習】小学校学習指導要領を調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領や授業に出てきた用語等を、辞事典等で調べて復習する。	30分
第2回	テーマの選択・環境・人権・福祉・国際理解・伝統文化・いのち等	
	【予習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間を調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間や授業に出てきた用語等を、辞事典等で調べて復習する。	30分
第3回	小学校学習指導要領総合的な学習の時間ならびにその第1目標	
	【予習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第1目標を調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間や授業に出てきた用語等を、辞事典等で調べて復習する。	30分
第4回	資料の収集・発表準備	
	【予習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第1目標（1）を調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第1目標（1）と授業で学んだことをノートにまとめる。	30分
第5回	プレゼンテーション実践1（発表と発表内容）(参加型実践型学修)	
	【予習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第1目標（2）を調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第1目標（2）と授業で学んだことをノートにまとめる。	30分
第6回	プレゼンテーション実践2（発表と発表方法）(参加型実践型学修)	
	【予習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第1目標（3）を調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第1目標（3）と授業で学んだことをノートにまとめる。	30分
第7回	プレゼンテーション実践3（発表と総括討議）(参加型実践型学修)	
	【予習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第1目標（3）を調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第1目標（3）と授業で学んだことをノートにまとめる。	30分
第8回	シラバス、履修上の注意点、情報リテラシー、NIE 新聞の読み方（複数紙の読み比べ）(NIEの意義と方法)	
	【予習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第2各学校において定める目標及び内容を調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第2各学校において定める目標及び内容と授業で学んだことをノートにまとめる。	30分
第9回	NIEの実践例1 新聞の楽しさの体験 指導案 資料 シート	
	【予習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第2各学校において定める目標及び内容 1目標を調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第2各学校において定める目標及び内容 1目標と授業で学んだことをノートにまとめる。	30分

第10回	N I E の実践例2 新聞で学ぶ現代史 指導案 資料	
	【予習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第2各学校において定める目標及び内容 2 内容を調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第2各学校において定める目標及び内容 2 内容と授業で学んだことをノートにまとめる。	30分
第11回	N I E の実践例3 新聞から考える郷土の理解	
	【予習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第2各学校において定める目標及び内容 3 各学校において定める目標及び内容を調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第2各学校において定める目標及び内容 3 各学校において定める目標及び内容と授業で学んだことをノートにまとめる。	30分
第12回	総合学習の授業計画(参加型実践型学修)	
	【予習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第3指導計画の内容の取扱い1(1)～(3)を調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第3指導計画の内容の取扱い1(1)～(3)と授業で学んだことをノートにまとめる。	30分
第13回	模擬授業・発表と議論 地域の自然と地理(参加型実践型学修)	
	【予習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第3指導計画の内容の取扱い1(4)～(7)を調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第3指導計画の内容の取扱い1(4)～(7)と授業で学んだことをノートにまとめる。	30分
第14回	模擬授業・発表と議論 地域の歴史と文化(参加型実践型学修)	
	【予習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第3指導計画の内容の取扱い2(1)～(4)を調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第3指導計画の内容の取扱い2(1)～(4)と授業で学んだことをノートにまとめる。	30分
第15回	模擬授業・発表と議論 災害と安全(参加型実践型学修)	
	【予習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第3指導計画の内容の取扱い2(5)～(9)を調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領総合的な学習の時間の第3指導計画の内容の取扱い2(5)～(9)と授業で学んだことをノートにまとめる。	30分
第16回	全体のまとめ(レポート)	
	【予習】	30分
	【復習】	30分

評価方法	レポート（70％）模擬授業・授業計画づくり等の平常点（30％）で総合的に判断 人間性：40％、 社会性：30％、 専門性：30％ 富山国際大学成績評価規準に従った観点から評価する。		
使用資料 <テキスト>	文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説	使用資料 <参考図書>	富山県小学校教育研究会等における実践事例
授業外学修等	発表や模擬授業等に備えて、予習や資料収集・教材収集をして準備をすること。		
授業外質問方法	オフィスアワーを中心に、随時。		
オフィス・アワー	曜 限(大藪)		

授業科目名	特別活動論			科目コード	K1203P33
英文名	Theory of Special Activities				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	講師	担当教員名	岩崎 直哉		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	木曜日	時限	3限目		
開講時期	3年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	1単位		
授業の概要	1．小学校学習指導要領特別活動編をもとに、特別活動の各領域の目標と内容を知る。また、様々な実践事例に触れ、その意義と指導の在り方を深めていく。 2．8回全てが実務経験者による授業である。				
キーワード	小学校学習指導要領	各領域に目標と内容	実践事例		
到達目標	1．特別活動の理論と実践の基礎・基本を理解できる。(50%)				
	2．特別活動を指導する教師の働き理解し、実践的力量を身に付けることができる。(50%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践			子どもの発達と相談支援	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		○	○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	特別活動の教育課程における位置及び歴史的変遷 1．特別活動の教育課程における位置 2．特別活動の歴史的変遷	
	【予習】○テキストにおける本時の該当箇所を予め読んでおく。	30分
	【復習】○本時の学修で新たに知ったことや自分と違う他の考えについて自分の思いとしてまとめておく。まとめについてコメントを付けて返す。	30分
第2回	特別活動の意義 1．特別活動の人間形成 2．特別活動の教育活動全体における意義	
	【予習】○テキストにおける本時の該当箇所を予め読んでおく。	30分
	【復習】○本時の学修で新たに知ったことや自分と違う他の考えについて自分の思いとしてまとめておく。まとめについてコメントを付けて返す。	30分
第3回	特別活動の基本的事項 1．はじめに 2．特別活動の各活動 3．特別活動の学校行事 4．学級経営の基盤となるもの、大切な視点 5．学級目標について考える 6．学級目標の類型 7．学級目標のつくり方の手順 8．学級目標の具現化のためのポイント 9．すべてが学級目標に向かう 10．保護者との連携 11．本時のまとめ	
	【予習】○テキストにおける本時の該当箇所を予め読んでおく。	30分
	【復習】○本時の学修で新たに知ったことや自分と違う他の考えについて自分の思いとしてまとめておく。まとめについてコメントを付けて返す。	30分
第4回	学級活動の目標・内容・指導 1．はじめに 2．学級活動は、学級経営の充実を図る 3．学級活動の目標 4．学級活動の主な内容 5．学級活動の形態・内容・指導のポイント等 6．学級活動の時数 7．学級活動の内容(1)(2)(3)の年間割り当て時数 8．係活動指導を阻害する要因 9．係活動指導のポイント 10．まとめ	
	【予習】○テキストにおける本時の該当箇所を予め読んでおく。	30分
	【復習】○本時の学修で新たに知ったことや自分と違う他の考えについて自分の思いとしてまとめておく。まとめについてコメントを付けて返す。	30分
第5回	"小学校の特別活動その1 学級会を指導する 1．はじめに 2．望ましい学級会のイメージ 3．45分間の学級会のイメージ 4．計画委員会と教師の働き 5．意見をまとめる方法 6．指導者の助言 7．まとめ	
	【予習】○テキストにおける本時の該当箇所を予め読んでおく。	30分
	【復習】○本時の学修で新たに知ったことや自分と違う他の考えについて自分の思いとしてまとめておく。まとめについてコメントを付けて返す。	30分
第6回	小学校の特別活動その2 児童会・クラブ活動・学校行事 1．児童会活動の目標・内容・指導 2．クラブ活動の目標・内容・指導 3．学校行事の目標・内容・指導	
	【予習】○テキストにおける本時の該当箇所を予め読んでおく。	30分
	【復習】○本時の学修で新たに知ったことや自分と違う他の考えについて自分の思いとしてまとめておく。まとめについてコメントを付けて返す。	30分
第7回	特別活動への期待 1．日本の教育の特色である特別活動 2．現代っ子に必要な集団活動・体験的な活動 3．特別活動で取り扱う様々な教育課題 4．特別活動といじめのない学校づくり 5．特別活動における言語活動の推進の仕方	
	【予習】○テキストにおける本時の該当箇所を予め読んでおく。	30分
	【復習】○本時の学修で新たに知ったことや自分と違う他の考えについて自分の思いとしてまとめておく。まとめについてコメントを付けて返す。	30分
第8回	まとめ・期末試験 21世紀型社会に必要な「生き抜く力」の育成と特別活動	
	【予習】○テキストにおける本時の該当箇所を予め読んでおく。	30分
	【復習】○本時の学修で新たに知ったことや自分と違う他の考えについて自分の思いとしてまとめておく。まとめについてコメントを付けて返す。	30分

第9回		
	【予習】	
	【復習】	
第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	平常点（40%）、学習指導案（30%）、試験(30%)で総合判断する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	『21世紀社会に必要な「生き抜く力」を育む	使用資料 <参考図書>	必要に応じて紹介する。
授業外学修等	特になし		
授業外質問方法	オフィス・アワーを利用する。または、メールで質問する（iwasaki@tuins.ac.jp）。		
オフィス・アワー	木曜4限		

授業科目名	幼稚園教育実習指導			科目コード	K1303P10
英文名	Guidance on Kindergarten Practice Teaching II				
科目区分	子ども育成の実習				
職名	准教授 准教授		担当教員名	石倉 卓子 河崎 美香	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	火曜日		時限	4限目	
開講時期	3年前期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	1単位	
授業の概要	学外での幼稚園教育実習において、これまでの経験の蓄積を活かして取り組めるような指導を行う。学びの確認をしながら実習に即した体験的な授業を中心に進め、テキストで補足することで、保育者を目指す者としての資質・能力、専門性を養う。				
キーワード	幼稚園教育	幼稚園教諭	実習指導		
到達目標	幼稚園教育の目的を理解し、幼児期の発達に応じた環境と援助について体験的に理解することができる。(30%)				
	これまでの実習日誌や指導案の記入の仕方を振り返り、各項目の意味を再度理解し、適切に表記することができる。(30%)				
	実習時期に関連する保育教材研究や指導案作成を行い、模擬保育により計画力・実践力・積極性を示すことができる。(40%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
	○				
ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		○	○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○			○	○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Syllabusの説明を聞いて授業の流れを理解する（授業資料を全員で綴る予定です）。 2年次の実習の振り返りを行い、本実習への見通しをもち、挑戦目標を明確にする。 令和2年度に履修した先輩に実習ファイルをお借りする予定です。 （石倉：幼稚園教諭・特別支援学校教諭の実務経験あり、河崎：・幼稚園教諭・小学校教諭・特別支援学校教諭の実務経験あり）	
	【予習】2年次の実習ファイルを見返し、第1回目の授業に持参する。	90分
	【復習】授業内容をまとめ、自己の課題を明らかにする。	90分
第2回	実習日誌の書き方の復習 幼稚園教育実習の全体像をつかむために、DVD「続・保育者を目指すあなたへ（4歳児）」視聴を通して書く練習をする。 実習日誌枠・コメント付き実習日誌の書き方参照 模擬保育を共に行うメンバーのグルーピングを行う（全3班：3,4,5歳児向け）。	
	【予習】テキスト『実習日誌の書き方』p.10-13、p.20-25を読み、付箋をし、第2回授業に持参する。	90分
	【復習】授業内容をまとめる。 班のメンバーと連絡が取れるようにしておく。	90分
第3回	幼稚園教育及び幼保連携型認定こども園教育・保育の基本と幼児理解について （幼児教育施設・幼児の発達段階・インクルーシブ保育等の理解）	
	【予習】幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説の序章・総則に目を通しておく。 保育所保育指針等、発達段階が記載してあるテキストp.2-9、p.13-49に目を通し、付箋をし、第3回授業に持参する。	90分
	【復習】保育の基本、幼児の発達段階について整理しておく。	90分
第4回	部分指導案の書き方の理解 ～DVD 続・保育者を目指すあなたへ（5歳児責任実習の実際） を視聴して～ 『保育指導案！大百科事典』持参 指導案枠・指導案記入用の留意点 ・指導案記入用の留意点 参照 本時に入力した指導案は、この欄の に提出する→	
	【予習】2年次に指導案を書いた学生は、目を通しておき、自己課題を確認する。 テキスト『保育指導案！大百科事典』p.20-28（第2章 指導案の意味）を読み、付箋をし、第4回授業に持参する。	90分
	【復習】授業内容をまとめ、自己の課題を明らかにする。 次回の自己紹介に向けて、「自己紹介シート」及び教材を作成し、第5回授業に持参する。	90分
第5回	幼児向けの自己紹介（一人約3分程度）	
	【予習】幼児の発達段階、人数、空間、実習時の幼児の生活等を考えた上で、どのような自己紹介がよいのかを考え、教材を使った発表ができるよう準備しておく。 授業後に自己評価を記入し「自己紹介シート」をこの欄の3番へ提出→	90分
	【復習】履修者からの学びや教員の助言をもとに、よりよい自己紹介ができるよう、再度練習する。	90分
第6回	模擬保育の手順や方法を理解する。（第11回～13回発表：1グループ20分程度、3・4・5歳児の遊びを考える）	
	【予習】保育現場のHP等で得た学び（幼児の発達段階、興味・関心、遊びの様子、環境など）を参考に考え、模擬保育に必要な教材の準備をする。 遊びの内容を学ぶために、書籍や雑誌などを持ち寄って話し合えるようにしておく。	90分
	【復習】模擬保育で行う遊びと準備物、役割分担を行い、次回の話し合いに必要な物を用意しておく。	90分
第7回	模擬保育の準備 模擬保育の流れ・観察の視点確認 実習までの流れ確認	
	【予習】一人一人の役割分担を明確にして、必要な書籍や材料等の準備等しておく。 指導案のねらい、内容を決めてから、教材製作や、シナリオ作りに取り組む。	90分
	【復習】本日の課題や役割分担を明確にし、時間外を利用して、実際に作った教材を使用して練習しながら指導案を考える。	90分

第8回	模擬保育の準備 6月下旬～7月上旬に正式依頼状を送送するため、気を引き締めること。 6月15日（火）までに、細菌検査やその他の書類の必要の有無をお電話にて確認し、授業で報告すること。	
	【予習】一人一人の役割に応じて、必要物の準備、指導案作成、教材製作、シナリオ作りに取り組む。 環境の構成、幼児の活動内容は、実際に練習しながら決めていく。	90分
	【復習】授業中の課題を振り返り、修正点や準備物等の確認をし、本番に備えてグループで練習しておく。	90分
第9回	実習オリエンテーション： 細菌検査の有無・その他の必要書類について報告 本学の「新型コロナウイルス対策にかかる実習に関する対応指針」改訂版（2021.5. Ver.2）」の内容確認 出勤元の確認、実習生プロフィール・事前報告書・個人情報保護の誓約書の説明、個人健康カード・個人健康記録表・抗体価検査の確認 7/6（火）に細菌検査容器配布。（提出：7/12 or 7/13）	
	【予習】2年次の実習の手引きの中に記載してある、実習の心得を読んでくる。	90分
	【復習】「実習生プロフィール」は、下書き用紙に記入し、6/22(火)の授業でチェックを受け、清書用の用紙に下書きし、写真と共に担当者にチェックを受ける。OKが出たら黒ペンで清書し、写真を貼ってコピーし、科目担当者1名と訪問指導教員に提出する。	90分
第10回	先週氏名等記入した、実習評価票を提出する。 実習生プロフィールのチェックを受け、黒ペンで清書し、写真を貼り付ける。 幼児の「生活」に関する援助とその討論（指導案参照）～教員が提案する「生活」の場面について考える～	
	【予習】幼稚園や認定こども園での幼児の生活面について、3歳未満児実習の実習日誌を見返し、場面を想定してくる。	90分
	【復習】幼児の「生活」についての場面における援助の仕方についてノートにまとめる。	90分
第11回	3歳児向けの「遊び」に関する模擬保育及び討論＜1班8名＞ 3日前に指導案を担当者に送信→OKがでたら人数分印刷→当日配布・説明 本日の感想Forms	
	【予習】1班は模擬保育の指導案を3日前までにメールで石倉・河崎宛に送ること。 1班は教員分を含め、人数分の指導案を印刷をしておくこと。	90分
	【復習】模擬保育を行った班全員は修正して考察を記入した指導案を金曜日までに、観察者は実習日誌を、翌日の9:00までに、この欄の「課題提出フォルダ」に提出するー 実習日誌は、全体を見て注意点を授業内でフィードバックする。	90分
第12回	4歳児向けの「遊び」に関する模擬保育及び討論＜2班9名＞ 3日前に指導案を担当者に送信→OKがでたら人数分印刷→当日配布・説明 細菌検査容器の受け取り 7/5（月）-7/13（火）までに事前訪問日を決めるためのお電話をし、7/13（火）までに、Formsに入力すること。 最終、7/13（火）の授業で報告すること。 事前訪問期間は7月下旬～8/10（火）を予定（担当年齢が早く決まることを願っての日程）	
	【予習】2班は模擬保育の指導案を3日前までに石倉・河崎宛にメールで送信すること。 2班は教員分を含め、人数分の指導案を印刷をしておくこと。	90分
	【復習】模擬保育を行った班全員は修正して考察を記入した指導案を金曜日までに、観察者は実習日誌を、翌日の9:00までに、この欄の「課題提出フォルダ」に提出するー 実習日誌は、全体を見て注意点を授業内でフィードバックする。	90分
第13回	5歳児向けの遊びに関する模擬保育及び討論＜3班9名＞ 3日前に指導案を担当者に送信→OKがでたら人数分印刷→当日配布・説明 7/12,7/13朝、細菌検査提出。抗体価検査のコピーも用意しておくこと。	
	【予習】3班は模擬保育の指導案を3日前までに石倉・河崎宛にメールで送信すること。 3班は教員分を含め、人数分の指導案を印刷をしておくこと。	90分
	【復習】模擬保育を行った班全員は修正して考察を記入した指導案を金曜日までに、観察者は実習日誌を、翌日の8:30までに、この欄の「課題提出フォルダ」に提出するー 実習日誌は、全体を見て注意点を授業内でフィードバックする。	90分

第14回	模擬保育のまとめ 手引き・記録用紙・ファイル等の配布 全日実習の指導案の書き方とその実際：全日実習指導案を仕上げ、7月27日までにこの欄の「課題提出」フォルダに提出すること→	
	【予習】授業中に書いた部分指導案や関連科目で配布された指導案の資料など、参考になるものも持参し、幼児の一日の流れを考え、全日実習の指導案を大まかに作成できるようにしておく。	90分
	【復習】全日実習指導案を完成させ、次回にプリントアウトして持参する。 事前打ち合わせが終わった学生から報告書に記入し、訪問指導教員にお見せし、この欄の「課題提出」フォルダに提出すること→	90分
第15回	8月24日（火）2限 【E-401】実習直前オリエンテーション 指導案・保育教材作成したものを持参し、準備物等の最終確認を行う 提出した全日指導案への教員コメント、実習中の指導案や教材の確認、手引きの内容確認（実習の心得・個人情報保護の再説明）、実習報告書・実習レポートの説明、大学所有の紙芝居貸出等の相談	
	【予習】実習で行いたい保育の指導案、使用する教材を作成して持参できるようにしておく。1,2年次の実習ファイルを読み返しておく。	90分
	【復習】授業を振り返り、実習準備に不足している点を補っておく。 実習が終わった学生は、実習の自己評価表・実習レポートの記入、実習ファイルの整理を行うこと。 また、訪問指導教員に自己評価表をお見せする日を決めておくこと（9月中）。	90分
第16回	4限 【E-401】実習事後指導 実習での学び共有（2分間スピーチ）、実習報告書記入・実習レポート修正、実習ファイル整理、科目独自アンケートの記入、評価伝達日等定期試験は行わない。	
	【予習】実習レポートを記入し、（ / ）までにWord文書でこの欄の「課題提出」フォルダに提出すること。 後日、教員より修正依頼があった人は、修正してプリントアウトし、評価伝達の折に提出すること（そのまま印刷製本し、実習報告会で2,3年生に配布します）。	
	【復習】実習や本日の授業内容を振り返り、4年次の実習に向けての課題を明確にして行動にうつせるよう実習報告書の自己評価欄に記入する。 実習報告書は、訪問指導教員にお見せした後、サインをいただき、（ / ）までに教員へ提出する。	

評価方法	到達目標 ～ について、受講態度（報告連絡相談の態度・実習日誌の提出状況等）30%、指導案40%、実習レポート20%、実習ファイル10%で評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。DP（人間性：20%、社会性：20%、専門性60%）		
使用資料 ＜テキスト＞	手作り副読本	使用資料 ＜参考図書＞	平成29年告示『小学校学習指導要領』
授業外学修等	・実習園のHP等を検索し、8月、9月の幼児の生活を発達段階ごとにしっかりとらえておくこと。 ・状況が許せば、保育現場の観察を行い、幼児の発達段階・興味関心、保育者の援助について概観をつかむこと。 ・模擬保育に作成する指導案や教材は、実習にも使用できるよう熟慮し丁寧に作成すること。 ・模擬保育の発表のための準備は授業時間外を有効に活用し、計画的に行うこと。		
授業外質問方法	オフィスアワー時の来室・Zoom（要予約）、または、メールを利用してください。		
オフィス・アワー	石倉：水曜日5限（E-403石倉研究室）、河崎：水曜日3限（E-302河崎研究室）		

授業科目名	幼稚園教育実習			科目コード	K1303P12
英文名	Kindergarten Practice Teaching II				
科目区分	子ども育成の実習				
職名	准教授 准教授		担当教員名	石倉 卓子 河崎 美香	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	集中講義		時限	集中講義	
開講時期	3年前期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	4単位	
授業の概要	実際の幼稚園において、大学で学んだ理論や知識を生かしながら、実習園の教育目標や教育方針について理解し、幼児理解を深め、幼稚園教諭としての資質や技能を習得する。また、教職員や家庭、地域との連携の在り方を理解し、教育の実践的な知識、技能等の基礎を修得する。 （河崎：特別支援学校教諭、幼稚園教諭、小学校教諭の経験有）（石倉：幼稚園教諭、特別支援学校教諭の経験有）				
キーワード	幼稚園教育	幼稚園教諭	実習指導		
到達目標	幼児の内面や発達を理解しながら関わることができる。（20％）				
	個や集団に応じた保育の方法と技術を習得し、ねらいに応じた環境の構成や援助をすることができる。（30％）				
	実習日誌による保育・教育の記録と考察、指導計画の立案と考察ができる。（20％）				
	時間や規則を守る態度、指導や助言を求める態度、礼儀や言葉遣い、教職員や保護者への適切な態度をとることができる。（30％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
	○				
ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力		人間理解力	教育支援力
○		○		○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○			○	○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	(授業計画は15日間となっており、それぞれの内容は実習圏により適宜決められる) 学外実習 (観察実習、参加実習、部分実習、半日実習、全日実習のいずれか)	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	学外実習 (観察実習、参加実習、部分実習、半日実習、全日実習のいずれか)	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	学外実習 (観察実習、参加実習、部分実習、半日実習、全日実習のいずれか)	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	学外実習 (観察実習、参加実習、部分実習、半日実習、全日実習のいずれか)	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	学外実習 (観察実習、参加実習、部分実習、半日実習、全日実習のいずれか)	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	学外実習 (観察実習、参加実習、部分実習、半日実習、全日実習のいずれか)	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	学外実習 (観察実習、参加実習、部分実習、半日実習、全日実習のいずれか)	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	学外実習 (観察実習、参加実習、部分実習、半日実習、全日実習のいずれか)	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	学外実習 (観察実習、参加実習、部分実習、半日実習、全日実習のいずれか)	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	学外実習（観察実習、参加実習、部分実習、半日実習、全日実習のいずれか）	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	学外実習（観察実習、参加実習、部分実習、半日実習、全日実習のいずれか）	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	学外実習（観察実習、参加実習、部分実習、半日実習、全日実習のいずれか）	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	学外実習（観察実習、参加実習、部分実習、半日実習、全日実習のいずれか）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	学外実習（観察実習、参加実習、部分実習、半日実習、全日実習のいずれか）	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	学外実習（観察実習、参加実習、部分実習、半日実習、全日実習のいずれか） 反省会	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 は実習評価票（100％）に基づき総合的に評価する。 なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性30％ 社会性30％ 専門性：40％		
使用資料 ＜テキスト＞	特になし	使用資料 ＜参考図書＞	実習の手引き等
授業外学修等	実習科目のため非該当		
授業外質問方法	実習中、必要に応じて、科目担当教員または訪問指導担当教員に連絡すること。		
オフィス・アワー	実習科目のため非該当		

授業科目名	教育実習指導			科目コード	K1303P13
英文名	Guidance on Elementary School Practice Teaching				
科目区分	子ども育成の実習				
職名	講師 教授	担当教員名	岩崎 直哉 辻井 満雄		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限	4限目		
開講時期	3年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	1単位		
授業の概要	1．小学校教育実習の事前・事後指導として行う。事前指導においては、教育実習の意義や目標、実習生の心得や服務、実習方法などについて学習する。事後指導においては、実習報告会を行い、今後の学習に役立てる。 2．全てが実務経験者による授業である。				
キーワード	小学校教育実習事前	教育実習の意義	実習生の心得		
到達目標	1．小学校教育実習の意義や目標について理解できる。(20%)				
	2．小学校教員としての勤務や基本的な指導技術、子どもや先輩教員とのかかわり方等を理解することができる。(50%)				
	3．指導に生かせるように学習指導案・学級経営案について理解することができる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
	○				
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○		○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○		○		○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	小学校教育実習の概要 ・教育実習の意義 ・教育実習に臨む心構え ・年間計画の概要	
	【予習】○テキストの関係箇所を目を通す。	30分
	【復習】○テキスト、ワークシートを読み、コメントを付けて返す。	60分
第2回	実習校での事前オリエンテーション ・依頼の仕方 ・服装、持ち物リスト ・当日について ・郵送書類の作成	
	【予習】○テキストの関係箇所を目を通す。	30分
	【復習】○テキスト、ワークシートを読み、コメントを付けて返す。 ・郵送書類を完成させて提出する。	60分
第3回	子どもたちの発達の変 1．はじめに 2．低・中・高学年の一般的な傾向 3．各学年段階を捉える視点 4．身体的・心理的な発達の理解と対応 5．抽象的、論理的な思考への理解と対応 6．本時のまとめ	
	【予習】○テキストの関係箇所を目を通す。	30分
	【復習】○テキスト、ワークシートを読み、コメントを付けて返す。 ・子どもたちの成長と特徴について理解を深める。	60分
第4回	学校現場とそれぞれの職務内容 1．はじめに 2．教育現場の教職員 3．学校内で確認しておく場所 4．校内電話がかかってきたら 5．子供がけがをしたら 6．まとめ	
	【予習】○テキストの関係箇所を目を通す。	30分
	【復習】○テキスト、ワークシートを読み、コメントを付けて返す。	60分
第5回	一日の流れ ～ある小学校の一日、実習の際の留意点～ ・法律上の「労働」 ・学校の一日の流れ ・児童と関わる時間 ・担任のいろいろな仕事 ・教育実習生の日と心得	
	【予習】○テキストの関係箇所を目を通す。	30分
	【復習】○テキスト、ワークシートを読み、コメントを付けて返す。	60分
第6回	特別支援教育について ～心配りを要する子どもへの対応～ ・主な発達障害の特徴 ・発達障害のある子どもたちの居場所 ・学校としての把握と対応	
	【予習】○テキストの関係箇所を目を通す。	30分
	【復習】○テキスト、ワークシートを読み、コメントを付けて返す。 ・発達障害の特徴と対応の仕方を理解する。	60分
第7回	子どもと先生方への関わり ・あいさつ ・先生方や職員とのコミュニケーション ・職員室での配慮事項 ・保護者への関わり方 ・学級への関わり ・担任から学ぶこと ・その他の事項	
	【予習】○テキストの関係箇所を目を通す。	30分
	【復習】○テキスト、ワークシートを読み、コメントを付けて返す。	60分
第8回	授業観察から授業公開へ ・実習の流れ ・授業観察の方法とポイント ・教師の言葉・振る舞い ・子供との距離感 ・授業計画と意志決定	
	【予習】○テキストの関係箇所を目を通す。	30分
	【復習】○テキスト、ワークシートを読み、コメントを付けて返す。	60分

第9回	配慮しておきたい様々な事項 ・小1プロブレム ・不登校 ・虐待などの問題を抱える子どもたち ・安全への配慮 ・守秘義務	
	【予習】○テキストの関係箇所を目を通す。	30分
	【復習】○テキスト、ワークシートを読み、コメントを付けて返す。	60分
第10回	研究授業の準備と反省 ・ 研究授業の意義 ・ 実習生が行う研究授業の特徴 ・ 研究授業の概要 ・ 研究授業の準備 ・ 研究授業当日 ・ 基本的な留意点 ・ 研究授業の反省会	
	【予習】○テキストの関係箇所を目を通す。	30分
	【復習】○テキスト、ワークシートを読み、コメントを付けて返す。	60分
第11回	実習日誌（実習記録簿）の書き方 ・ 実習日誌作成の基本 ・ 書き方のポイント ・ 富山国際大学の実習日誌の様式と留意点	
	【予習】○テキストの関係箇所を目を通す。	30分
	【復習】○テキスト、ワークシートを読み、コメントを付けて返す。	60分
第12回	実習関係書類の配付とオリエンテーション ・ 実習校名簿とアポイント用資料 ・ 実習校に持参する書類 ・ 書類を届ける ・ 訪問日時の決定 ・ 当日の持ち物 ・ 事前打ち合わせ ・ 実習記録簿 ・ 報告会日時と資料提出	
	【予習】○テキストの関係箇所を目を通す。	30分
	【復習】○テキスト、ワークシートを読み、コメントを付けて返す。	60分
第13回	コロナ感染に備える中での教育実習 ・ 小学校の現状 ・ 実習 前の心得 ・ 実習期間中の心得 ・ 実習期間中の主な内容	
	【予習】○テキストの関係箇所を目を通す。	30分
	【復習】○テキスト、ワークシートを読み、コメントを付けて返す。 ・ 配布物を整理しておく。 ・ 実習校のホームページをみておく。	60分
第14回	教育実習終了 ・ 教育実習最終日にすべきこと ・ 教育実習を終えて書く礼状 ・ 大学への提出物 教育実習の評価	
	【予習】○テキストの関係箇所を目を通す。	30分
	【復習】○テキスト、ワークシートを読み、コメントを付けて返す。	60分
第15回	介護等体験の説明会	
	【予習】○テキストの関係箇所を目を通す。	30分
	【復習】○テキスト、ワークシートを読み、コメントを付けて返す。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	受講の取組状況（50％）、関係書類の作成、準備、報告等(50%)で総合的に評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	『教育実習の手引き』平成31年度版（富山国際大学子ども育成学部編）、『小学校教	使用資料 <参考図書>	必要に応じて紹介する。
授業外学修等	「小学校教育実習報告会」：事前に小学校教育実習について報告書（様式あり）を提出。当日は、グループ毎に報告・質疑を行う。		
授業外質問方法	オフィス・アワーを利用する。または、メールで質問する（iwasaki@tuins.ac.jp）。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教育実習			科目コード	K1303P14
英文名	Elementary School Practice Teaching				
科目区分	子ども育成の実習				
職名	講師 教授	担当教員名	岩崎 直哉 辻井 満雄		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	集中講義	時限	集中講義		
開講時期	3年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	4単位		
授業の概要	実際の教育現場において、大学で学んだ理論や知識を生かすとともに、教育の現場に触れながら教育の実践的な知識、技能等の基礎を修得する。				
キーワード	小学校教育実習事前	教育実習の意義	実習生の心得		
到達目標	小学校教育の目的及び機能、また職員の協働性等について、実地の体験を通して理解する（30％）				
	担当する学級・学年の教育活動での観察及び実践を通して、子どもの発達や生徒指導の在り方について考察する（35％）				
	担当する学級・学年の教育活動での観察及び実践を通して、教材の特徴や学習指導の在り方について考察する（35％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
	○				
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○		○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○		○		○

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	学外		
	【予習】		
	【復習】		
第2回	学外		
	【予習】		
	【復習】		
第3回	学外		
	【予習】		
	【復習】		
第4回	学外		
	【予習】		
	【復習】		
第5回	学外		
	【予習】		
	【復習】		
第6回	学外		
	【予習】		
	【復習】		
第7回	学外		
	【予習】		
	【復習】		
第8回	学外		
	【予習】		
	【復習】		
第9回	学外		
	【予習】		
	【復習】		

第10回	学外	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	学外	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	学外	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	学外	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	学外	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	学外	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法			
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法			
オフィス・アワー			

授業科目名	精神保健			科目コード	K1403P10
英文名	Mental Health				
科目区分	子どもの発達と環境				
職名	教授 非常勤講師	担当教員名	村上 満 松居 紀久子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	3限目		
開講時期	3年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	精神保健の基本知識をはじめ、ライフサイクルにおける精神保健、個別課題への取り組みと実際、地域精神保健と地域保健、諸外国における精神保健の概要、関連法規等について講義し、スクールソーシャルワーカーに必要な精神保健の知識と理解を深める。				
キーワード	WHO健康定義	メンタルヘルス	発達障害	精神疾患	自殺
到達目標	スクールソーシャルワーカーに求められる精神保健に関する知識を説明できる。（50％）				
	スクールソーシャルワーカーとして取り組むべき、児童生徒等の精神保健の課題について、系統立てて説明することができる。（50％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	精神保健についての基本知識（精神保健の概要、精神保健の意義と課題）		
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく		60分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第2回	ライフサイクルにおける精神保健（胎児期および乳幼児期、学童期）		
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく		60分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第3回	ライフサイクルにおける精神保健（思春期および青年期、成人期）		
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく		60分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第4回	ライフサイクルにおける精神保健（老年期）		
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく		60分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第5回	精神保健における個別課題への取り組み（精神障害者対策、アルコール）		
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく		60分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第6回	精神保健における個別課題への取り組み（老人性認知症疾患対策）		
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく		60分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第7回	精神保健における個別課題への取り組み（薬物乱用防止対策）		
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく		60分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第8回	精神保健における個別課題への取り組み（薬物乱用防止対策）		
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく		60分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第9回	精神保健における個別課題への取り組み（思春期精神保健と地域・司法精神保健対策）		
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく		60分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分

第10回	精神保健における個別課題への取り組み（ターミナルケアと精神保健）	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく	60分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	精神保健活動の実際（家庭および学校における精神保健）	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく	60分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	精神保健活動の実際（職場、地域における精神保健）	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく	60分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第13回	地域精神保健と地域保健（地域精神保健施策の概要と関連法規・関連施策）	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく	60分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第14回	地域精神保健と地域保健（地域保健施策の概要と関連法規・関連施策）	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく	60分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第15回	諸外国における精神保健	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく 次週のテストに備えて、これまでのまとめをしておく	180分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

評価方法	到達目標項目 1 ～ 2 は、小プリントと期末試験(80%)で評価する。 受講態度・ 出席カードの記述内容等で評価する。(20%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：20% 社会性：30% 専門性：50%		
使用資料 <テキスト>	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編 「改訂第3版 精神保健学」(へるす出版)	使用資料 <参考図書>	毎回の授業で、関係資料を配布する。
授業外学修等	上記時間外においても、予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておくこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メール(murakami@tuins.ac.jp)で質問してください。松居先生への質問もつながります。		
オフィス・アワー	木曜・3限 E709村上研究室		

授業科目名	相談援助の理論と方法			科目コード	K1503F05
英文名	Theory & Methods of Social Work II				
科目区分	子ども育成の相談・援助				
職名	教授	担当教員名	村上 満		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	木曜日 火曜日	時限	2限目 4限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	4単位		
授業の概要	・人権の尊重、権利擁護、自立支援等の観点を踏まえながら、相談援助（ソーシャルワーク）活動をしていく上での様々な実践モデルとアプローチ等といった問題解決を図るための基盤となる理論を通して、相談援助活動の実際について理解する。				
キーワード	社会福祉士	相談援助	ソーシャルワーク	各種アプローチ	
到達目標	相談援助（ソーシャルワーク）活動の概念と定義について説明することができる。（20％）				
	相談援助における社会資源の活用・調整(コーディネーション)・開発（ソーシャルアクション）およびネットワーキングの意義について説明することができる。（20％）				
	相談援助におけるさまざまな実践モデルとアプローチについて説明することができる。（20％）				
	ソーシャルワークの中核技術であるケアマネジメントについて説明できる。（20％）				
	相談援助実習の中で展開されるスーパービジョンおよびコンサルテーションについて説明できる。（20％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
					○
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション・相談援助における対象の理解 社会福祉援助活動の概念と定義	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第2回	相談援助における対象の理解 相談援助の対象理解	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第3回	ケースマネジメント ケースマネジメントの基本、過程	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第4回	ケースマネジメント ケースマネジメントの特徴、ケアプラン	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第5回	グループを活用した相談援助 グループワークの意義	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第6回	グループを活用した相談援助 自助グループの意義	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第7回	コーディネーション コーディネーションの目的・意義	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第8回	コーディネーション コーディネーションの方法・技術	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第9回	ネットワーキング ネットワーキングの方法	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第10回	相談援助における社会資源の活用・調整・開発 相談援助における社会資源の活用・調整・開発の意義・目的・方法	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	相談援助における社会資源の活用・調整・開発 ソーシャルアクション	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	相談援助における実践モデル 治療モデル、生活モデル、ストレングスモデル	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第13回	相談援助におけるアプローチ 心理社会的アプローチ、機能的アプローチ	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第14回	相談援助におけるアプローチ 問題解決アプローチ	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第15回	相談援助におけるアプローチ 課題中心アプローチと前期の振り返り、まとめ	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第16回	相談援助におけるアプローチ 危機介入アプローチ	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	相談援助におけるアプローチ 行動変容アプローチ	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	相談援助におけるアプローチ エンパワメントアプローチ	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第19回	相談援助におけるアプローチ ナラティブアプローチ	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第20回	相談援助におけるアプローチ その他の実践アプローチ	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第21回	スーパービジョン スーパービジョンの意義・目的	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第22回	スーパービジョン スーパービジョンの方法と留意点	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第23回	コンサルテーション コンサルテーション	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第24回	ケースカンファレンスの技術 ケースカンファレンスの意義・目的	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第25回	ケースカンファレンスの技術 ケースカンファレンスの展開過程	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第26回	相談援助における個人情報の保護 相談援助における個人情報の保護(個人情報保護法、厚生労働省ガイドライン)	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第27回	相談援助における情報通信技術の活用	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第28回	事例研究 事例研究の目的・意義	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第29回	事例研究 事例研究の方法と留意点	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第30回	事例分析 目的と意義、方法と留意点	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第31回	期末試験	
	【予習】	180分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	

第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 1 ～ 4 は、毎回の小プリントと期末試験(80%)で評価する。 態度・出席カードの記述内容等で評価する。(20%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：20% 社会性：30% 専門性：50%			受講
使用資料 <テキスト>	『相談援助の理論と方法 』社会福祉士養成講座編集委員会（中央法規）	使用資料 <参考図書>	ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法』ミネルヴァ書房	
授業外学修等	上記時間外においても、予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 毎回講義の開始時に、振り返りのための復習課題を課す。 児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておくこと。			
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メール(murakami@tuins.ac.jp)で質問してください。			
オフィス・アワー	木曜・3限 E709村上研究室			

授業科目名	相談援助演習（A）			科目コード	K1503F07
英文名	Seminar in Social Work II				
科目区分	子ども育成の相談・援助				
職名	教授	担当教員名	相山 馨		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	月曜日 月曜日 金曜日	時限	4限目 5限目 2限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	選択	単位数	3単位		
授業の概要	相談援助演習 の学習成果をふまえ、具体的な課題に対応した様々な相談援助事例の実践的演習や具体的な援助過程の局面を想定した演習(ロールプレイやグループディスカッション)をとおして、総合的かつ包括的な相談援助の技術について学ぶ。(担当教員:ソーシャルワーク実践の実務経験あり)				
キーワード	面接技法	アセスメント	プランニング		
到達目標	課題別の相談援助事例によって、総合的かつ包括的な援助について実践的に理解することができる。(50%)				
	事例分析をとおして専門的・体系的知識、技術を身につけることができる。(25%)				
	具体的な援助過程を理解し、実践的知識を身につけることができる。(25%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践			子どもの発達と相談支援	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション		
	【予習】相談援助演習 で獲得したことをまとめる		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第2回	自己覚知		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第3回	生活問題の理解(生活構造)		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第4回	生活問題の理解(生活過程)		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第5回	面接の目的		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第6回	面接の特性		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第7回	面接技法		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第8回	面接技術		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第9回	インテーク面接		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分

第10回	インテーク面接の展開	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第11回	ストレングスモデルに関する相談援助演習(アセスメント)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第12回	ストレングスモデルに関する相談援助演習(プランニング)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第13回	家族システム論に関する相談援助演習(アセスメント)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第14回	家族システム論に関する相談援助演習(プランニング)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第15回	社会資源の活用、調整、開発に関する相談援助演習(アセスメント) 父と息子の歩む道	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第16回	社会資源の活用、調整、開発に関する相談援助演習(プランニング) 父と息子の歩む道	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第17回	セルフネグレクトへの相談援助演習（アセスメント）夢の庭の末路	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第18回	セルフネグレクトへの相談援助演習（プランニング）届けたのは「希望」	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分

第19回	難病患者への相談援助演習（アセスメント）	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分
第20回	難病患者への相談援助演習（プランニング）	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分
第21回	がん患者への相談援助演習(アセスメント)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分
第22回	がん患者への相談援助演習(プランニング)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分
第23回	虐待事例への相談援助演習(アセスメント)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分
第24回	虐待事例への相談援助演習(プランニング)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	30分
第25回	アルコール依存者への相談援助演習(アセスメント)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分
第26回	アルコール依存者への相談援助演習(プランニング)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分
第27回	障害者への相談援助演習(アセスメント)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分

第28回	障害者への相談援助演習(プランニング)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第29回	認知症高齢者とその家族への相談援助演習(アセスメント)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第30回	認知症高齢者とその家族への相談援助演習(プランニング)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第31回	課題の整理	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第32回	課題の整理	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分

評価方法	レポート・試験(70%)、援助技術点(30%) 全出席を原則とする。		
使用資料 <テキスト>	相談援助演習第2版 中央法規	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	上記時間外においても、実習内容等に関して予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	メール(aiyama@tuins.ac.jp)または面接対応		
オフィス・アワー	月曜1限 相山研究室		

授業科目名	相談援助演習（B）			科目コード	K1503F07
英文名	Seminar in Social Work II				
科目区分	子ども育成の相談・援助				
職名	教授	担当教員名	相山 馨		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日 金曜日	時限	1限目 2限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	選択	単位数	3単位		
授業の概要	相談援助演習 の学習成果をふまえ、具体的な課題に対応した様々な相談援助事例の実践的演習や具体的な援助過程の局面を想定した演習(ロールプレイやグループディスカッション)をとおして、総合的かつ包括的な相談援助の技術について学ぶ。(担当教員:ソーシャルワーク実践の実務経験あり)				
キーワード	面接技法	アセスメント	プランニング		
到達目標	課題別の相談援助事例によって、総合的かつ包括的な援助について実践的に理解することができる。(50%)				
	事例分析をとおして専門的・体系的知識、技術を身につけることができる。(25%)				
	具体的な援助過程を理解し、実践的知識を身につけることができる。(25%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践			子どもの発達と相談支援	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション		
	【予習】相談援助演習 で獲得したことをまとめる		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第2回	自己覚知		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第3回	生活問題の理解(生活構造)		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第4回	生活問題の理解(生活過程)		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第5回	面接の目的		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第6回	面接の特性		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第7回	面接技法		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第8回	面接技術		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第9回	インテーク面接		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分

第10回	インテーク面接の展開	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第11回	ストレングスモデルに関する相談援助演習(アセスメント)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第12回	ストレングスモデルに関する相談援助演習(プランニング)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第13回	家族システム論に関する相談援助演習(アセスメント)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第14回	家族システム論に関する相談援助演習(プランニング)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第15回	社会資源の活用、調整、開発に関する相談援助演習(アセスメント) 父と息子の歩む道	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第16回	社会資源の活用、調整、開発に関する相談援助演習(プランニング) 父と息子の歩む道	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第17回	セルフネグレクトへの相談援助演習（アセスメント）夢の庭の末路	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第18回	セルフネグレクトへの相談援助演習（プランニング）届けたのは「希望」	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分

第19回	難病患者への相談援助演習（アセスメント）	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分
第20回	難病患者への相談援助演習（プランニング）	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分
第21回	がん患者への相談援助演習(アセスメント)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分
第22回	がん患者への相談援助演習(プランニング)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分
第23回	虐待事例への相談援助演習(アセスメント)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分
第24回	虐待事例への相談援助演習(プランニング)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	30分
第25回	アルコール依存者への相談援助演習(アセスメント)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分
第26回	アルコール依存者への相談援助演習(プランニング)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分
第27回	障害者への相談援助演習(アセスメント)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分

第28回	障害者への相談援助演習(プランニング)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第29回	認知症高齢者とその家族への相談援助演習(アセスメント)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第30回	認知症高齢者とその家族への相談援助演習(プランニング)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第31回	課題の整理	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第32回	課題の整理	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分

評価方法	レポート・試験(70%)、援助技術点(30%) 全出席を原則とする。		
使用資料 <テキスト>	相談援助演習第2版 中央法規	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	上記時間外においても、実習内容等に関して予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	メール(aiyama@tuins.ac.jp)または面接対応		
オフィス・アワー	月曜1限 相山研究室		

授業科目名	相談援助演習（C）			科目コード	K1503F07
英文名	Seminar in Social Work II				
科目区分	子ども育成の相談・援助				
職名	教授	担当教員名	相山 馨		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日 水曜日	時限	3限目 2限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	選択	単位数	3単位		
授業の概要	相談援助演習 の学習成果をふまえ、具体的な課題に対応した様々な相談援助事例の実践的演習や具体的な援助過程の局面を想定した演習(ロールプレイやグループディスカッション)をとおして、総合的かつ包括的な相談援助の技術について学ぶ。(担当教員:ソーシャルワーク実践の実務経験あり)				
キーワード	面接技法	アセスメント	プランニング		
到達目標	課題別の相談援助事例によって、総合的かつ包括的な援助について実践的に理解することができる。(50%)				
	事例分析をとおして専門的・体系的知識、技術を身につけることができる。(25%)				
	具体的な援助過程を理解し、実践的知識を身につけることができる。(25%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践			子どもの発達と相談支援	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション		
	【予習】相談援助演習 で獲得したことをまとめる		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第2回	自己覚知		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第3回	生活問題の理解(生活構造)		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第4回	生活問題の理解(生活過程)		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第5回	面接の目的		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第6回	面接の特性		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第7回	面接技法		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第8回	面接技術		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分
第9回	インテーク面接		
	【予習】テキストの該当部分を読む		30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する		60分

第10回	インテーク面接の展開	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第11回	ストレングスモデルに関する相談援助演習(アセスメント)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第12回	ストレングスモデルに関する相談援助演習(プランニング)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第13回	家族システム論に関する相談援助演習(アセスメント)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第14回	家族システム論に関する相談援助演習(プランニング)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第15回	社会資源の活用、調整、開発に関する相談援助演習(アセスメント) 父と息子の歩む道	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第16回	社会資源の活用、調整、開発に関する相談援助演習(プランニング) 父と息子の歩む道	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第17回	セルフネグレクトへの相談援助演習（アセスメント）夢の庭の末路	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第18回	セルフネグレクトへの相談援助演習（プランニング）届けたのは「希望」	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分

第19回	難病患者への相談援助演習（アセスメント）	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分
第20回	難病患者への相談援助演習（プランニング）	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分
第21回	がん患者への相談援助演習(アセスメント)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分
第22回	がん患者への相談援助演習(プランニング)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分
第23回	虐待事例への相談援助演習(アセスメント)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分
第24回	虐待事例への相談援助演習(プランニング)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	30分
第25回	アルコール依存者への相談援助演習(アセスメント)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分
第26回	アルコール依存者への相談援助演習(プランニング)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分
第27回	障害者への相談援助演習(アセスメント)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする　・捉えた内容を整理する	60分

第28回	障害者への相談援助演習(プランニング)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第29回	認知症高齢者とその家族への相談援助演習(アセスメント)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第30回	認知症高齢者とその家族への相談援助演習(プランニング)	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第31回	課題の整理	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分
第32回	課題の整理	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】・演習を振り返り、自身の援助技術の課題を明確にする ・捉えた内容を整理する	60分

評価方法	レポート・試験(70%)、援助技術点(30%) 全出席を原則とする。		
使用資料 <テキスト>	相談援助演習第2版 中央法規	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	上記時間外においても、実習内容等に関して予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	メール(aiyama@tuins.ac.jp)または面接対応		
オフィス・アワー	月曜1限 相山研究室		

授業科目名	相談援助実習指導（3年）			科目コード	K1503F08
英文名	Guidance on Practical Training in Social Work				
科目区分	子ども育成の相談・援助				
職名	教授 教授 教授		担当教員名	村上 満 室林 孝嗣 相山 馨	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	金曜日 火曜日		時限	5限目 3限目	
開講時期	3年通年		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	4単位	
授業の概要	相談援助実習 ・ の事前指導として行う。事前指導においては、相談援助実習の意義について理解し、相談援助実習に係る個別指導並びに集団指導を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術等を習得する。				
キーワード	職場実習	職種実習	ソーシャルワーク実		
到達目標	相談援助実習と相談援助実習指導における個別指導及び集団指導の意義を理解する。（20％）				
	相談援助実習に必要な倫理や態度、相談援助に関する知識と技術を理解する。（40％）				
	実習先（児童・障害者・高齢者・地域の4領域にわたる各施設・事業所等）に関する基本的な理解を進め実習先で行われる相談援助業務や関連業務を理解する。（40％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
					○
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
	○	○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
			○		

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション・相談援助実習の位置づけと相談援助実習の仕組み		
	【予習】自分の住所地からどの分野でどの施設・事業所での実習を希望するのかを考える		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第2回	相談援助実習の特徴　：専門職としての位置づけと相談援助実習の意義		
	【予習】自分の住所地からどの分野でどの施設・事業所での実習を希望するのかを考える		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第3回	相談援助実習の特徴　：現場体験学習および見学実習の意義		
	【予習】自分の住所地からどの分野でどの施設・事業所での実習を希望するのかを考える		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第4回	相談援助実習事前指導：実習の具体的な内容とガイドライン		
	【予習】自分の住所地からどの分野でどの施設・事業所での実習を希望するのかを考える		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第5回	ソーシャルワーカーとしての社会福祉士：社会福祉士に求められる役割と義務		
	【予習】自分の住所地からどの分野でどの施設・事業所での実習を希望するのかを考える		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第6回	契約関係の中にある実習　：実習契約関係の理解		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第7回	契約関係の中にある実習　：実習機関・施設におけるリスクマネジメント		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第8回	相談援助実習の場と形態　：相談援助実習機関・施設と実習の内容		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第9回	相談援助実習の場と形態　：さまざまな実習の種類、実習形態の長所・短所		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分

第10回	相談援助実習スーパービジョンの理解：相談援助実習スーパービジョンの意味と機能	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	相談援助実習評価の理解：相談援助実習の評価について	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	相談援助実習評価の理解：相談援助実習過程における評価の内容	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第13回	実習先決定後の事前学習：実習先機関・施設、地域の理解	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第14回	実習先決定後の事前学習：実習先機関・施設、地域の理解	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第15回	実習先への事前訪問：実習先への事前訪問の意義、現場体験学習および見学実習	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第16回	後期オリエンテーション：実習先への事前訪問（現場体験学習および見学実習）の理解とまとめ	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	実習で何をどこまで経験するのか（方法論）：相談援助実習に求められる知識と技術	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	基本的なコミュニケーション、円滑な人間関係形成：相談援助実習に求められる知識と技術	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第19回	実習先の理解　：児童福祉分野における実習	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第20回	実習先の理解　：障がい者福祉分野における実習	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第21回	実習先の理解　：高齢者福祉分野（特に地域包括支援センター）における実習	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第22回	実習先の理解　：地域福祉（特に社会福祉協議会）分野における実習	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第23回	実習計画書　：実習計画書の意義	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第24回	実習計画書　：実習計画書の作成	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第25回	実習計画書　：実習計画書の作成	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第26回	相談援助実習の仕組み：実習先の概要作成	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第27回	相談援助実習の仕組み：実習先の概要作成	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第28回	相談援助実習先の概要説明（富山県東部地域、富山市、富山県西部地域に分かれて発表）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第29回	実習準備：相談援助実習における記録の仕方と意義	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第30回	実習準備：実習に向けた最終確認	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 1 ～ 3 は、レポートで評価する。（80％）		
	受講態度・出席カードの 記述内容等で評価する。（20％） なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：20％ 社会性：30％ 専門性：50％		
使用資料 <テキスト>	白澤政和・米本秀仁編 『社会福祉士相談援助実習』中央法規	使用資料 <参考図書>	ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法』ミネルヴァ書房
授業外学修等	上記時間外においても、予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 毎回講義の開始時に、振り返りのための復習課題を課す。 児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておくこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メール(murakami@tuins.ac.jp)で質問してください。		
オフィス・アワー	木曜・3限 E709村上研究室		

授業科目名	生徒指導・進路指導論			科目コード	K1503L02
英文名	Theory of Guidance for School Children				
科目区分	子ども育成の相談・援助				
職名	教授	担当教員名	松山 友之		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	2限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	児童生徒の健全な成長を支える生徒指導・進路指導の働きを理解するために、教育現場で問題になっている具体的な実践事例に基づいて授業を構成する。また、教科・道徳・特別活動などとの関連を図り、グループワークやカウンセリングの技法を取り入れながら総合的に問題解決を図っていく。 実務経験のある教員による授業。				
キーワード	基本的な生活習慣	カウンセリング	進路指導	問題行動	
到達目標	教育現場で発生する様々な問題への的確な対応を図るとともに、生徒指導を取り入れた全教科、全領域の学習指導及び学級経営等を効果的に進めていくための資質や能力を高めることができる。(100%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
				○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
		○	○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 生徒指導・進路指導の理論と歴史、その意義と法令 出席確認	
	【予習】テキストの該当する内容を読み、要点や疑問点をまとめる。	60分
	【復習】小レポートに、教師として現場で生徒指導を行うにはどうすればよいかという視点で学びをまとめる。提出された課題にコメントを加えて返信する。	60分
第2回	生徒指導・進路指導の原理と機能 教育課程とカリキュラムマネジメント	
	【予習】テキストの該当する内容を読み、要点や疑問点をまとめる。	60分
	【復習】小レポートに、教師として現場で生徒指導を行うにはどうすればよいかという視点で学びをまとめる。提出された課題にコメントを加えて返信する。	60分
第3回	生徒指導の今日的意義と課題 暴力行為、いじめ、不登校、インターネット、性非行、虐待	
	【予習】テキストの該当する内容を読み、要点や疑問点をまとめる。	60分
	【復習】小レポートに、教師として現場で生徒指導を行うにはどうすればよいかという視点で学びをまとめる。提出された課題にコメントを加えて返信する。	60分
第4回	生徒指導の組織 学校の組織的な対応、生徒指導体制と教育相談体制、校内・外部との連携	
	【予習】テキストの該当する内容を読み、要点や疑問点をまとめる。	60分
	【復習】小レポートに、教師として現場で生徒指導を行うにはどうすればよいかという視点で学びをまとめる。提出された課題にコメントを加えて返信する。	60分
第5回	生徒指導の方法論 役割分担、年間指導計画、組織的な対応、集団指導と個別指導	
	【予習】テキストの該当する内容を読み、要点や疑問点をまとめる。	60分
	【復習】小レポートに、教師として現場で生徒指導を行うにはどうすればよいかという視点で学びをまとめる。提出された課題にコメントを加えて返信する。	60分
第6回	生徒指導の方法論 基礎的な生活習慣、規範意識、自己存在感	
	【予習】テキストの該当する内容を読み、要点や疑問点をまとめる。	60分
	【復習】小レポートに、教師として現場で生徒指導を行うにはどうすればよいかという視点で学びをまとめる。提出された課題にコメントを加えて返信する。	60分
第7回	生徒指導とカウンセリング 学級における人間関係作り	
	【予習】テキストの該当する内容を読み、要点や疑問点をまとめる。	60分
	【復習】カウンセリングに関する課題をまとめ提出する。提出された課題にコメントを加えて返信する。	120分
第8回	生徒指導とカウンセリング 児童理解と生徒指導	
	【予習】テキストの該当する内容を読み、要点や疑問点をまとめる。	60分
	【復習】カウンセリングに関する課題をまとめ提出する。提出された課題にコメントを加えて返信する。	120分
第9回	進路指導の方法論 進路指導・キャリア教育の意義と理論、ガイダンス機能	
	【予習】テキストの該当する内容を読み、要点や疑問点をまとめる。	60分
	【復習】小レポートに、教師として現場で生徒指導を行うにはどうすればよいかという視点で学びをまとめる。提出された課題にコメントを加えて返信する。	60分

第10回	進路指導の方法論 職業に関する体験活動、キャリアカウンセリング、ポートフォリオの活用	
	【予習】テキストの該当する内容を読み、要点や疑問点をまとめる。	60分
	【復習】小レポートに、教師として現場で生徒指導を行うにはどうすればよいかという視点で学びをまとめる。提出された課題にコメントを加えて返信する。	60分
第11回	小学校における生徒指導・進路指導上の問題 キャリア発達と効果的な指導	
	【予習】テキストの該当する内容を読み、要点や疑問点をまとめる。	60分
	【復習】小レポートに、教師として現場で生徒指導を行うにはどうすればよいかという視点で学びをまとめる。提出された課題にコメントを加えて返信する。	60分
第12回	中学校、高等学校における生徒指導・進路指導上の問題 自殺、性非行、キャリア支援	
	【予習】テキストの該当する内容を読み、要点や疑問点をまとめる。	60分
	【復習】小レポートに、教師として現場で生徒指導を行うにはどうすればよいかという視点で学びをまとめる。提出された課題にコメントを加えて返信する。	60分
第13回	問題行動と生徒指導 暴力、いじめ、不登校	
	【予習】テキストの該当する内容を読み、要点や疑問点をまとめる。	60分
	【復習】小レポートに、教師として現場で生徒指導を行うにはどうすればよいかという視点で学びをまとめる。提出された課題にコメントを加えて返信する。	60分
第14回	問題行動と生徒指導 インターネット、SNS、児童虐待、発達障害	
	【予習】テキストの該当する内容を読み、要点や疑問点をまとめる。	60分
	【復習】小レポートに、教師として現場で生徒指導を行うにはどうすればよいかという視点で学びをまとめる。提出された課題にコメントを加えて返信する。	60分
第15回	生徒指導・進路指導の評価とこれから 家庭や関係機関との連携	
	【予習】テキストの該当する内容を読み、要点や疑問点をまとめる。	60分
	【復習】小レポートに、教師として現場で生徒指導を行うにはどうすればよいかという視点で学びをまとめる。提出された課題にコメントを加えて返信する。	60分
第16回	まとめの試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	期末試験（30％）、15回の取組の状況及びワークシート・レポート（70％）により評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	『生徒指導・進路指導の理論と実践』（図書文化）	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、授業中に紹介する。
授業外学修等	新聞報道などを活用して、生徒指導上の課題を収集しておく。		
授業外質問方法	オフィス・アワーを利用する。または、メールで質問する（matsuyama@tuins.ac.jp）。		
オフィス・アワー	金曜 1 限		

授業科目名	相談援助実習			科目コード	K1503L09
英文名	Practical Training in Social Work I				
科目区分	子ども育成の相談・援助				
職名	教授 教授 教授		担当教員名	村上 満 室林 孝嗣 相山 馨	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	集中講義		時限	集中講義	
開講時期	3年後期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	4単位	
授業の概要	ソーシャルワーク実習（異なる実習先かつ2箇所目：職場・職種・ソーシャルワーク実習：180時間）として、ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得する。実習を振り返り、実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる総合的な能力を涵養する。				
キーワード	職場実習	職種実習	ソーシャルワーク		
到達目標	実習の各段階（職種・ソーシャルワーク実習）において、社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任を理解できる。（20％）				
	実習先（児童・障害者・高齢者・地域4領域にわたる各施設・事業所等）での多職種連携及びチームアプローチの実践的理解ができる。（20％）				
	実習先が地域社会の中で果たす役割の理解及び具体的な地域社会への働きかけについて理解できる。（20％）				
	地域における分野横断的・業種横断的な関係形成と社会資源の活用・調整・開発に関する理解ができる。（20％）				
	ソーシャルワーク実践に求められる技術の実践的理解（アウトリーチ・ネットワーキング・コーディネーション・ネゴシエーション・ファシリテーション・プレゼンテーション・ソーシャルアクション）ができる。（20％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
					○
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
				○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○		○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第1週目（1日目～7日目） 職場実習 実習先の基本的理解 （地域における施設・事業者・機関・団体の役割と機能） *当該実習先が地域社会の中で果たす役割の理解及び具体的な地域社会への働きかけ	
	【予習】実習内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
	【復習】本日の実習内容について再確認する	60分
第2回	第1週目（1日目～7日目） 職場実習 実習先の基本的理解 （施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際）	
	【予習】実習内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
	【復習】本日の実習内容について再確認する	60分
第3回	第2週目（8日目～14日目） 職種実習 社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任の理解	
	【予習】実習内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
	【復習】本日の実習内容について再確認する	60分
第4回	第2週目（8日目～14日目） 職種実習 多職種連携及びチームアプローチの実践的理解 職場における分野横断的・業種横断的な関係形成と社会資源の活用・調整・開発に関する理解	
	【予習】実習内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
	【復習】本日の実習内容について再確認する	60分
第5回	第3週目（15日目～25日目） ソーシャルワーク実習 利用者やその関係者（家族・親族、友人等）、施設・事業者・機関・団体、住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成	
	【予習】実習内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
	【復習】本日の実習内容について再確認する	60分
第6回	第3週目（15日目～25日目） ソーシャルワーク実習 利用者やその関係者（家族・親族、友人等）との援助関係の形成	
	【予習】実習内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
	【復習】本日の実習内容について再確認する	60分
第7回	第3週目（15日目～25日目） ソーシャルワーク実習 利用者や地域の状況を理解し、その生活上の課題（ニーズ）の把握、支援計画の作成と実施及び評価	
	【予習】実習内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
	【復習】本日の実習内容について再確認する	60分
第8回	第3週目（15日目～25日目） ソーシャルワーク実習 利用者やその関係者（家族・親族、友人等）への権利擁護活動とその評価	
	【予習】実習内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
	【復習】本日の実習内容について再確認する	60分
第9回	第3週目（15日目～25日目） ソーシャルワーク実習 実習先が地域社会の中で果たす役割の理解及び具体的な地域社会への働きかけ	
	【予習】実習内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
	【復習】本日の実習内容について再確認する	60分

第10回	第3週目（15日目～25日目） ソーシャルワーク実習 地域における分野横断的・業種横断的な関係形成と社会資源の活用・調整・開発に関する理解	
	【予習】実習内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
	【復習】本日の実習内容について再確認する	60分
第11回	第3週目（15日目～25日目） ソーシャルワーク実習 ソーシャルワーク実践に求められる援助技術の実践的理解 （アウトリーチ・ネットワーキング・コーディネーション・ネゴシエーション・ファシリテーション・ソーシャルアクション）	
	【予習】実習内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
	【復習】本日の実習内容について再確認する	60分
第12回	第3週目（15日目～25日目） ソーシャルワーク実習 ソーシャルワーク実践に求められる援助技術の実践的理解 （実習先でのプレゼンテーション）	
	【予習】実習内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
	【復習】本日の実習内容について再確認する	60分
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 1 ～ 3 は、本学の実習評価票（16項目）にもとづいて、実習指導者が評価する。（100％） 評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：20％　社会性：30％　専門性：50％		
使用資料 <テキスト>	白澤政和・米本秀仁編 『社会福祉士相談援助実習』中央法規	使用資料 <参考図書>	ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法』ミネルヴァ書房
授業外学修等	上記時間外においても、予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておくこと。 *原則として、3月の第1土曜日を帰校日とする。		
授業外質問方法	メール(murakami@tuins.ac.jp)で質問してください。常に、報告、連絡、相談に心掛けること。		
オフィス・アワー	木曜・3限　E709村上研究室		

授業科目名	スクールソーシャルワーク論			科目コード	K1503L11
英文名	Theory of School Social Work				
科目区分	子ども育成の相談・援助				
職名	教授	担当教員名	村上 満		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	木曜日	時限	4限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	自由	単位数	2単位		
授業の概要	我が国の学校教育現場にスクールソーシャルワーカーを導入する意義とその必要性について学ぶとともに、スクールソーシャルワーカーの価値と倫理、業務と果たす役割、スクールソーシャルワークの支援の基盤となる理論と実際について、ミクロレベルからメゾ、マクロレベルにわたって理解する。 ・実務経験のある教員による授業				
キーワード	SSW	不登校	いじめ	発達障害	貧困
到達目標	今日の学校教育現場が抱える課題とその実態について理解できる。(50%)				
	これまでのスクールソーシャルワークの発展過程と実践モデルについて理解できる。(25%)				
	スクールソーシャルワークの支援方法について理解できる。(25%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
					○
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践			子どもの発達と相談支援	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション：学校教育現場が抱える課題とその実態 児童生徒を取り巻く学校の問題	
	【予習】＊SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分
第2回	学校教育現場が抱える課題とその実態 児童生徒を取り巻く家庭・地域の問題 ＊SSW検定の実施	
	【予習】＊SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分
第3回	学校教育現場が抱える課題とその実態 スクールソーシャルワークの導入意義 ＊SSW検定の実施	
	【予習】＊SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分
第4回	スクールソーシャルワークの価値・倫理 ソーシャルワークの視点と定義 ＊SSW検定の実施	
	【予習】＊SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分
第5回	スクールソーシャルワークの価値・倫理 人権と社会正義 / 児童の権利条約 ＊SSW検定の実施	
	【予習】＊SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分
第6回	スクールソーシャルワークの発展過程 アメリカのSSW発展史 ＊SSW検定の実施	
	【予習】＊SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分
第7回	海外のスクールソーシャルワーカー 海外のスクールソーシャルワーカーの活動概要と役割 ＊SSW検定の実施	
	【予習】＊SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分
第8回	スクールソーシャルワークの発展過程 日本のSSW発展史 ＊SSW検定の実施	
	【予習】＊SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分

第9回	スクールソーシャルワークの実践モデル エコロジカルアプローチ * SSW検定の実施	
	【予習】* SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分
第10回	スクールソーシャルワークの実践モデル エンパワメント・ストレングスアプローチ * SSW検定の実施	
	【予習】* SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分
第11回	スクールソーシャルワークの実践事例 ミクロレベル：個別・集団支援 * SSW検定の実施	
	【予習】* SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分
第12回	スクールソーシャルワークの実践事例 メゾレベル：学校・家庭・地域支援 * SSW検定の実施	
	【予習】* SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分
第13回	スクールソーシャルワークの実践事例 マクロレベル：教育行政支援 * SSW検定の実施	
	【予習】* SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分
第14回	スクールソーシャルワーカーへのスーパービジョン スーパービジョンの方法について * SSW検定の実施	
	【予習】* SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分
第15回	スクールソーシャルワーカーへのスーパービジョン スーパービジョンの体制について * SSW検定の実施	
	【予習】	
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分
第16回	これまでの振り返りとまとめ 期末試験	
	【予習】期末試験に向けての内容理解	180分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	60分

評価方法	到達目標項目 1 ～ 3 は、毎回のSSW検定と期末試験(80%)で評価する。 度・出席カードの記述内容等で評価する。(20%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：20% 社会性：30% 専門性：50%			受講態
使用資料 ＜テキスト＞	『スクールソーシャルワーカー養成テキスト』	使用資料 ＜参考図書＞	毎回の授業で、関係資料を配布する。 スクールソーシャルワーカーのしごと（中	
授業外学修等	上記時間外においても、予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 毎回講義の開始時に、振り返りのためのSSW検定を課す。 児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておくこと。			
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メール(murakami@tuins.ac.jp)で質問してください。			
オフィス・アワー	木曜・3限 E709村上研究室			

授業科目名	社会福祉概論			科目コード	K1603F02
英文名	Introduction to Social Welfare				
科目区分	子どもと家庭・地域の自立支援				
職名	教授	担当教員名	宮田 徹		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日 金曜日	時限	2限目 5限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	福祉の思想と理論、歴史、生活課題、専門職と実践、機関・施設・事業と運営管理、制度・政策と計画、公民の協働・ネットワークなど社会福祉の全体について概観するとともに、今日的な課題や動向とも関連付けながら学習し、少子高齢社会における子ども育成の担い手としての視野を広げ、保育や福祉の専門職に向かう志（こころざし）を再確認していく。（担当教員：児童福祉分野における実務経験あり）				
キーワード	社会福祉	社会保障	福祉政策		
到達目標	社会福祉の理論や思想をふまえ、現代社会における福祉制度の意義・理念、福祉政策との関連や福祉政策におけるニーズと資源，方法等について基本的事項を理解し、少子高齢社会の福祉政策の現状と課題を説明できる。（50%）				
	人々のウェルビーイングや権利保障に高い関心をもち、自らもその実現に向けて努力しようとする意欲をもつ。（50%）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
					○
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
			○	○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 社会福祉における視点と枠組み 社会福祉の新たな展開（新社会福祉士養成教育課程の特徴・用語の整理ほか） 【資料】スライド / 印刷用	
	【予習】授業計画等を確認しておくこと 【配布用シラバス】前期 後期	90分
	【復習】社会福祉における視点と枠組みについて、テキストの該当部分及び授業内容を振り返ること	90分
第2回	社会福祉における視点と枠組み 社会福祉政策理解の枠組み（社会福祉のL字型構造・福祉政策のブロックリー型構造ほか） 【資料】スライド / 印刷用	
	【予習】社会福祉政策理解の枠組（特に「社会福祉のL字型構造・福祉政策のブロックリー型構造」）について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】社会福祉政策理解の枠組（特に「社会福祉のL字型構造・福祉政策のブロックリー型構造」）について、授業内容を確認し、理解を深める	90分
第3回	社会の変化と福祉 伝統社会から近代社会へ・市民権の確立と福祉国家の成立 【資料】スライド / 印刷用 （参考）イギリスの社会福祉の歴史	
	【予習】伝統社会から近代社会へ・市民権の確立と福祉国家の成立について、テキストの該当部分（11-17）を読んでおくこと	30分
	【復習】伝統社会から近代社会へ・市民権の確立と福祉国家の成立について、授業内容を確認し理解を深める （参考）社会福祉の年表	60分
第4回	社会の変化と福祉 福祉国家の変容・現代社会の変化と福祉・福祉政策の現代的課題 【資料】スライド / 印刷用	
	【予習】福祉国家の変容・現代社会の変化と福祉・福祉政策の現代的課題について、テキストの該当部分（18-30）を読んでおくこと	90分
	【復習】福祉国家の変容・現代社会の変化と福祉・福祉政策の現代的課題について、授業内容を確認し理解を深める （参考）社会保障制度改革国民会議報告書（2013（H25）.8.6）概要 本文 社会保障改革 厚生労働省 Society 5.0 内閣府	90分
第5回	福祉と福祉政策 価値規範としての福祉・社会福祉の拡大と限定 【資料】スライド / 印刷用	
	【予習】価値規範としての福祉・社会福祉の拡大と限定について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】価値規範としての福祉・社会福祉の拡大と限定について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第6回	福祉と福祉政策 施策コラボレーションとしての福祉政策・社会福祉士の役割と機能 【資料】スライド / 印刷用	
	【予習】施策コラボレーションとしての福祉政策・社会福祉士の役割と機能について、テキストの該当部分を読んでおくこと （参考リンク）社会保障教育 厚生労働省ホームページ （参考資料）社会保障を教える際に重点とすべき学習項目の具体的内容	90分
	【復習】施策コラボレーションとしての福祉政策・社会福祉士の役割と機能について、授業内容を確認し理解を深める （参考リンク）生活困窮者自立支援制度 厚生労働省ホームページ （参考資料）新たな生活困窮者支援制度の創設	90分

第7回	福祉の思想と哲学 福祉の思想・市場の論理と倫理 【資料】 スライド / 印刷用	
	【予習】福祉の思想・市場の論理と倫理について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】福祉の思想・市場の論理と倫理について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第8回	福祉の思想と哲学 ロールズとセンに学ぶもの 【資料】 スライド / 印刷用	
	【予習】ロールズとセンについて、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】ロールズとセンについて、授業内容を確認し理解を深める (参考)「幸福の国ブータン：揺れる幸せの定義」(2015/5/24 日本経済新聞)	90分
第9回	社会政策と福祉政策 社会政策のなかの福祉政策 【資料】 スライド / 印刷用	
	【予習】社会政策のなかの福祉政策について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】社会政策のなかの福祉政策について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第10回	社会政策と福祉政策 社会政策の体系と社会福祉政策 / 福祉政策の体系(社会福祉事業と福祉サービスほか) 【資料】 スライド / 印刷用	
	【予習】社会政策の体系と社会福祉、福祉政策の体系(社会福祉事業と福祉サービスなど)について、テキストの該当部分を読んでおくこと (参考)我が国の社会保障制度の概要	90分
	【復習】社会政策の体系と社会福祉、福祉政策の体系(社会福祉事業と福祉サービス等)について、授業内容を確認し理解を深める (参考リンク)社会保障改革 厚生労働省	90分
第11回	福祉政策の発展過程 近代化と福祉政策(近代国家形成以前の救済ほか) 【資料】 スライド / 印刷用	
	【予習】日本の福祉政策の発展過程における「近代化と福祉政策」について、テキストの該当部分を読み、第二次世界大戦以前の救済制度、慈善事業、社会事業等の流れをつかんでおくこと	90分
	【復習】日本の福祉政策の発展過程における「近代化と福祉政策」について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第12回	福祉政策の発展過程 戦後改革と高度経済成長期の福祉政策(戦後からの復興ほか) 【資料】 スライド / 印刷用	
	【予習】日本の福祉政策の発展過程における「戦後改革と高度経済成長期の福祉政策」について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】「戦後改革と高度経済成長期の福祉政策」について、授業内容を確認し理解を深める (参考)H29厚生労働白書第1部「社会保障と経済成長」第1章「我が国経済社会の中での社会保障」	90分
第13回	少子高齢化時代の福祉政策 福祉政策の調整と進展 【資料】 スライド / 印刷用	
	【予習】少子高齢化時代における「福祉政策の調整と進展」について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】少子高齢化時代における「福祉政策の調整と進展」について、授業内容を確認し理解を深める	90分

第14回	少子高齢化時代の福祉政策 1990年代および2000年代以降の福祉政策 【資料】 スライド / 印刷用	
	【予習】1990年代および2000年代以降の福祉政策について、テキストの該当部分を読んでおくこと （参考リンク） 平成29年版厚生労働白書 第1部「社会保障と経済成長」 「21世紀福祉ビジョン」「社会保障制度審議会95年勧告」	90分
	【復習】1990年代および2000年代以降の福祉政策について、授業内容を確認し理解を深める （参考）「（H30）社会保障改革資料」「第4次少子化社会対策大綱（概要）」「生活困窮者自立支援制度関係資料」	90分
第15回	福祉政策における必要と資源 必要とは何か、必要と福祉政策、必要の判定、福祉政策の資源 【資料】 スライド / 印刷用	
	【予習】「福祉政策における必要と資源」について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】「福祉政策における必要と資源」について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第16回	オリエンテーション・福祉政策の理念・主体・手法 福祉政策の理念、福祉政策資源の配分システム、福祉政策の手法と政策決定過程	
	【予習】福祉政策の理念、福祉政策資源の配分システム、福祉政策の手法と政策決定過程について、テキストの該当部分等を読んでおくこと	90分
	【復習】福祉政策の理念、福祉政策資源の配分システム、福祉政策の手法と政策決定過程について、授業内容を確認し、参考文献等を参照し、理解を深める	90分
第17回	福祉政策の関連領域 人権擁護と福祉政策、保健医療と福祉政策	
	【予習】人権擁護と福祉政策、保健医療と福祉政策について、テキストの該当部分等を読んでおくこと	90分
	【復習】人権擁護と福祉政策、保健医療と福祉政策について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第18回	福祉政策の関連領域 所得保障と福祉政策、雇用と福祉政策	
	【予習】所得保障と福祉政策、雇用と福祉政策について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】所得保障と福祉政策、雇用と福祉政策について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第19回	福祉政策の関連領域 教育と福祉政策、住宅と福祉政策	
	【予習】教育と福祉政策、住宅と福祉政策について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】教育と福祉政策、住宅と福祉政策について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第20回	福祉政策の関連領域 震災と福祉政策、その他	
	【予習】震災と福祉政策について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】震災と福祉政策について、授業内容を確認し理解を深める	90分

第21回	社会福祉制度の体系 社会福祉制度の構造	
	【予習】社会福祉制度の構造について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】社会福祉制度の構造について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第22回	社会福祉制度の体系 社会福祉制度と福祉サービス	
	【予習】社会福祉制度と福祉サービスについて、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】社会福祉制度と福祉サービスについて、授業内容を確認し理解を深める	90分
第23回	福祉サービスの提供 福祉サービスの提供 = 利用過程	
	【予習】福祉サービスの提供 = 利用過程について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】福祉サービスの提供 = 利用過程について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第24回	福祉サービスの提供 運営管理部門	
	【予習】福祉サービスにおける運営管理部門について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】福祉サービスにおける運営管理部門について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第25回	福祉サービスと援助活動 相談援助の原則・視点・考え方と方法	
	【予習】相談援助の原則・視点・考え方と方法について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】相談援助の原則・視点・考え方と方法について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第26回	福祉サービスと援助活動 地域福祉への展開 - 社会福祉士が行う地域社会へのはたらきかけ -	
	【予習】地域福祉への展開について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】地域福祉への展開について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第27回	福祉政策の国際比較 欧米の福祉政策	
	【予習】欧米の福祉政策について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】欧米の福祉政策について、授業内容を確認し理解を深める	90分

第28回	福祉政策の国際比較 東アジア諸国の福祉政策	
	【予習】東アジア諸国の福祉政策について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】東アジア諸国の福祉政策について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第29回	福祉政策の課題と展望 社会不安と福祉政策の課題、社会福祉の政策と解決過程	
	【予習】福祉政策の課題について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】福祉政策の課題について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第30回	福祉政策の課題と展望 包摂的福祉政策への展開	
	【予習】包摂的福祉政策への展開について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】包摂的福祉政策への展開について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回	前期末レポート課題 テーマ：「社会政策」「福祉政策」「社会福祉」の関係及び「社会福祉」の固有性について、授業での学びを踏まえて述べなさい。 形式等：A4,1ページ。1200字～1600字（40字40行）。表紙は不要。1行目に学籍番号・氏名を明記。2行目をタイトルとし、3行目から本文をはじめること。 提出場所：Webシラバス第32回【課題1】のリンクからWordファイルで提出すること。ファイル名は「社会福祉概論レポート.docx」とすること。（学籍番号+氏名はWebシラバスの方で自動的に付与されます） 提出期限：2021年8月6日(金)18:00まで フィードバック：課題やレポートについて学生の学びが深まるように適切なデータや資料を紹介する。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目1は期末筆記試験で評価する。(50%) 到達目標項目2はレポート及び受講態度・出席カードの記述内容等で評価する。(50%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：20% 社会性：30% 専門性：50%		
使用資料 <テキスト>	・社会福祉士養成講座編集委員会編(2014))「新・社会福祉士養成講座4『現代社会と	使用資料 <参考図書>	各種『福祉六法』(出版各社)
授業外学修等	・ 次回の学習範囲について教科書を読んだの予習、受講後のノートや配布資料の整理などの復習をして下さい。 ・ 児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておいて下さい。 ・ 自分の県や市町村のホームページや広報などで、身近な社会福祉サービスや地域活動に注目しておいて下さい。		
授業外質問方法	・ 研究室を訪ねて下さい。時間の都合がつく限り、質問や相談に対応します。(オフィスアワーは原則在室。予約不要) ・ 不在の場合は、メール (tmiyata@tuins.ac.jp)で連絡して下さい。		
オフィス・アワー	水曜2限, E507研究室		

授業科目名	社会福祉調査論			科目コード	K1603L08
英文名	Investigation into Social Welfare				
科目区分	子どもと家庭・地域の自立支援				
職名	非常勤講師	担当教員名	志賀 文哉		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	自由	単位数	2単位		
授業の概要	社会福祉援助に必要な調査について、その意義を理解するとともに、方法を学ぶ。				
キーワード	洞察する力	協働する力	応用する力		
到達目標	社会福祉実践に必要な調査等を理解できる（50％）				
	社会福祉実践に必要な調査等を計画できる（50％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○		○		

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	はじめに / 社会調査とは何か（オリエンテーション）		
	【予習】		
	【復習】		
第2回	社会調査と社会福祉士としての実践 社会調査における倫理 質問紙調査のテーマ設定		
	【予習】教科書の該当部分を読む。		20分
	【復習】教科書と資料を読み返す。		20分
第3回	社会福祉と社会調査（１） 社会調査の歴史 / 各種の社会調査手法 質問紙調査の計画		
	【予習】教科書の該当部分を読む。		20分
	【復習】教科書と資料を読み返す。		20分
第4回	社会福祉と社会調査（２） 各種統計 / 統計法 質問紙の実例確認		
	【予習】教科書の該当部分を読む。		20分
	【復習】教科書と資料を読み返す。		20分
第5回	量的調査（１） 調査の実施手順 / 量的調査の種類 / サンプルング 質問紙調査の計画		
	【予習】教科書の該当部分を読む。		20分
	【復習】教科書と資料を読み返す。		20分
第6回	量的調査（２） 調査票の作成 / 基本スキルの習得		
	【予習】教科書の該当部分を読む。		20分
	【復習】教科書と資料を読み返す。		20分
第7回	量的調査（３） 変数 / 回収後の作業		
	【予習】教科書の該当部分を読む。		20分
	【復習】教科書と資料を読み返す。		20分

第8回	量的調査(4) 量的データの活用	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	20分
	【復習】教科書と資料を読み返す。	20分
第9回	統計の基本知識 標準偏差 / 標本分布 / 母集団推計 / 標本誤差	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	20分
	【復習】教科書と資料を読み返す。	20分
第10回	統計分析の基礎 仮説検定 / 因果関係の検討	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	20分
	【復習】教科書と資料を読み返す。	20分
第11回	質的調査(1) 質的調査の種類 (インタビュー調査 / 参与観察 / アクションリサーチなど)	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	20分
	【復習】教科書と資料を読み返す。	20分
第12回	質的調査(2) 質的調査の設計	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	20分
	【復習】教科書と資料を読み返す。	20分
第13回	質的調査(3) データ分析とまとめ	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	20分
	【復習】教科書と資料を読み返す。	20分
第14回	作成した質問紙の共有・検討	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	20分
	【復習】教科書と資料を読み返す。	20分
第15回	まとめと授業内小テスト(またはそれに替わる学習)	
	【予習】	
	【復習】	

第16回	なし（授業に基づくレポート作成にあてる）	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 1：基礎知識小テスト50%(対面によるテスト実施ができずそれに替わる学習とした場合は20%に縮減する) 到達目標 2：質問紙・レポート（授業内課題を含む）作成50%（目標 1 のカッコの場合は80%に増大する）		
使用資料 <テキスト>	社会福祉養成講座編集委員会『社会調査の基礎(第3版)』中央法規	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	授業テキストによる予習、同テキストや講義配布資料の復習のほか、量的調査のデータ入力・集計・分析等の作業、質問紙作成グループ内での調査に関する検討により、社会福祉調査を学修する。		
授業外質問方法	eメール swshiga@ems.u-toyama.ac.jp		
オフィス・アワー			

授業科目名	公的扶助論			科目コード	K1603L09
英文名	Public Assistance				
科目区分	子どもと家庭・地域の自立支援				
職名	非常勤講師	担当教員名	袴谷 敏実		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	5限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	自由	単位数	2単位		
授業の概要	公的扶助の歴史を踏まえ、貧困問題の現状と背景を確認する。また、公的扶助の中心的制度である生活保護法の目的、原理・原則、制度内容等を学ぶとともに、最近の動向を理解し、あるべき自立支援の実際等について考える。基本的には、テキストに沿って授業を進めるが、適宜、具体的事例を交え公的扶助制度についての理解を図る。(担当教員:公的扶助分野でのソーシャルワーク実践の実務経験あり)				
キーワード	公的扶助	生活保護	自立支援		
到達目標	公的扶助の概念と社会的課題を理解する(40%)				
	生活保護制度の仕組みを理解する(30%)				
	貧困・低所得者対策を理解する(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		○	○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○		○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	公的扶助の概念	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】学んだ内容をまとめる	30分
第2回	貧困・低所得者問題と社会的排除	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】学んだ内容をまとめる	30分
第3回	公的扶助制度の歴史	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】学んだ内容をまとめる	30分
第4回	貧困・低所得者対策の近年の動向	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】学んだ内容をまとめる	30分
第5回	生活保護制度の仕組み 生活保護法の目的と原理・原則	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】学んだ内容をまとめる	30分
第6回	生活保護制度の仕組み 保護の種類と内容及び方法	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】学んだ内容をまとめる	30分
第7回	生活保護制度の仕組み 保護施設、被保護者の権利・義務、不服申し立てと訴訟、生活保護財源・予算	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】学んだ内容をまとめる	30分
第8回	最低生活保障水準と生活保護基準 最低生活保障水準と生活保護基準の考え方	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】学んだ内容をまとめる	30分
第9回	最低生活保障水準と生活保護基準 最低生活保障水準の実際	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】学んだ内容をまとめる	30分

第10回	生活保護の動向	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】学んだ内容をまとめる	30分
第11回	低所得者対策の概要 生活困窮者自立支援法、生活福祉資金貸付制度、社会手当制度	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】学んだ内容をまとめる	30分
第12回	低所得者対策の概要 ホームレス対策、その他の低所得者対策	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】学んだ内容をまとめる	30分
第13回	生活保護の運営実施体制と関係機関・団体	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】学んだ内容をまとめる	30分
第14回	貧困・低所得者に対する相談援助活動	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】学んだ内容をまとめる	30分
第15回	生活保護における自立支援	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】学んだ内容をまとめる	30分
第16回	期末テスト	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	小レポートを数回実施（40％程度）、期末にレポート（60％程度）。また、受講状況等を考慮する		
使用資料 <テキスト>	社会福祉士養成講座編集委員会編「低所得者に対する支援と生活保護制度(第5版)」(	使用資料 <参考図書>	「保護のてびき令和2年度版」（第一法規）
授業外学修等	日々、社会や政治の動きに関心を持ち、貧困・格差に関するマスコミ記事等に目を通すこと		
授業外質問方法	初回の授業で案内		
オフィス・アワー			

授業科目名	富山に学ぶインターンシップ				科目コード	K1703F09
英文名	Internship in Toyama					
科目区分	富山の子ども育成					
職名	教授 教授 准教授		担当教員名	室林 孝嗣 辻井 満雄 石倉 卓子		
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日		時限	5限目		
開講時期	3年通年		授業の方法	講義		
必修・選択	選択		単位数	2単位		
授業の概要	1 富山の特色ある教育・保育・福祉の実践現場において、就業体験をするとともに、現場での学びを通して、卒業後の進路選択や専門職としての在り方について考える。 2 事前指導においては、就業体験の意義を理解し、問題意識や目的意識を明確にできるよう個別指導、集団指導を行う。 3 事後指導においては、各自の課題の確認や実習成果のまとめを行い、今後の学習に役立てる。					
キーワード	就業体験	小学校	幼稚園	保育所	福祉施設	
到達目標	富山の特色ある教育・保育・福祉の実践現場において、就業体験をすることの意義を理解する。(10%)					
	就業体験に必要な倫理や態度、各実践現場で求められる知識と技術を理解する。(10%)					
	就業体験先（小学校や幼稚園、保育所、児童福祉施設、障害者・高齢者福祉施設、社会福祉協議会など）に関する基本的な理解を深めるとともに、卒業後の進路に役立てる。(80%)					
卒業要件・資格関連等						
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー	
	○		○			
ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）					
カリキュラムポリシー	富山の子ども育成					
キー・コンピテンシー（重視する能力）						
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力		
○	○	○	○			
教授方法（授業方法）						
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動	
○	○	○	○	○	○	

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション、就業体験の位置付けと仕組み、年間計画 【室林】		
	【予習】就業体験先について情報を調べる。		30分
	【復習】なぜ、就業体験するのかその意義についてまとめる。		60分
第2回	就業体験の意義と各分野ごとの説明 【室林：福祉分野、辻井：教育分野、石倉：幼保分野】		
	【予習】就業体験の計画をたてるための資料をあつめる。		30分
	【復習】就業体験のめあて、計画をまとめる。		60分
第3回	就業体験の意義と各分野ごとの説明 【室林：福祉分野、辻井：教育分野、石倉：幼保分野】		
	【予習】就業体験のめあて、計画をま見直す。		30分
	【復習】就業体験の計画を完成し、就業体験先に連絡を取る。 【室林：福祉分野、辻井：教育分野、石倉：幼保分野】		60分
第4回	第4回～第27回 各自が、学校・幼稚園・保育所・事業所・施設において、就業体験を実施する。 （１）１か所で定期的に実施する場合 例１ 週１回で４時間程度/日 約５月間実施 例２ 隔週１回８時間程度/日 約５月間実施 例３ 週１回で８時間程度/日 約３月間実施 例４ 週２回で４時間程度/日 約３月間実施 例５ 週１回で４時間程度/日、途中から週２回に 約３～５月間実施 （２）１か所で短期間に集中して実施する場合 例１ 大学休業期間中（９月）に８時間程度/日 約１０日間実施 例２ 大学休業期間中（９月）に４時間程度/日 約２０日間実施		
	【予習】就業体験先ですべきことと注意事項を確認する。		30分
	【復習】就業体験先で体験したことをまとめる。		60分
第5回			
	【予習】		
	【復習】		
第6回			
	【予習】		
	【復習】		
第7回			
	【予習】		
	【復習】		
第8回			
	【予習】		
	【復習】		

第9回		
	【予習】	
	【復習】	
第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	
第17回		
	【予習】	
	【復習】	

第18回		
	【予習】	
	【復習】	
第19回		
	【予習】	
	【復習】	
第20回		
	【予習】	
	【復習】	
第21回		
	【予習】	
	【復習】	
第22回		
	【予習】	
	【復習】	
第23回		
	【予習】	
	【復習】	
第24回		
	【予習】	
	【復習】	
第25回		
	【予習】	
	【復習】	
第26回		
	【予習】	
	【復習】	

第27回		
	【予習】	
	【復習】	
第28回	実習報告会のための振り返りとまとめ 【室林：福祉分野、辻井：教育分野、石倉：幼保分野】	
	【予習】就業体験したファイルを整理する。	30分
	【復習】就業体験した内容を確認し、成果を確認する。	60分
第29回	実習報告会のための振り返りとまとめ 【室林：福祉分野、辻井：教育分野、石倉：幼保分野】	
	【予習】実習報告会のを整理する。	30分
	【復習】実習報告会のを準備をする。	60分
第30回	実習報告会 【室林：福祉分野、辻井：教育分野、石倉：幼保分野】	
	【予習】実習報告会のパワーポイントを整理する。	30分
	【復習】就業体験のまとめを書き、提出する。	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	平常点、講義態度、報告会等（２０％）、実習先での評価（８０％）で総合的に評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	随時、授業中に資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	適宜指示
授業外学修等	上記時間外においても、予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 毎回講義の開始時に、自己学習課題を課す。		
授業外質問方法	小学校は辻井ゼミ室へ、幼・保は石倉ゼミ室へ、福祉は室林ゼミ室へ		
オフィス・アワー	辻井：前期 月曜4限、後期 月曜3限 月曜１限、室林研究室 石倉：前期 月曜3限、後期 火曜4限		

授業科目名	富山の保育特別講義			科目コード	K1703L07
英文名	Special Lecture: Childcare in Toyama				
科目区分	富山の子ども育成				
職名	講師 非常勤講師 非常勤講師		担当教員名	竹田 好美 波岡 千穂 風間 宣夫	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	木曜日		時限	5限目	
開講時期	3年後期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	2単位	
授業の概要	富山県の保育・幼児教育の現状と課題について、家庭、地域社会、幼稚園、保育所、認定こども園、幼保と小学校の連携などの視点から学ぶ。また、富山県の幼稚園と保育所、認定こども園の保育・幼児教育について、事例研究や実技などを通して具体的・体験的に学ぶ。 （科目担当教員：竹田は幼稚園教諭の実務経験あり、波岡は幼稚園教諭・認定こども園保育教諭の実務経験があり、現在認定こども園副園長、風間は保育所・認定こども園での実務経験があり現在、社会福祉法人理事長及び認定こども園園長）				
キーワード	富山の保育・幼児教	子ども・子育て支援			
到達目標	富山県における乳幼児を取り巻く現状、及び富山県の保育所・幼稚園・認定こども園における保育・幼児教育の現状を学び、理解することができる。(30%)				
	現場保育者による授業を通して、富山の保育・幼児教育の現状と課題の理解を深めることができる。(30%)				
	保育士・幼稚園教諭・保育教諭としての専門的知識・技術の習得及び「使命感や責任感」「社会性や対人関係能力」等の基本的資質を獲得することができる。(40%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
○	○	○			
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）			地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	富山の子ども育成				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○					

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	波岡千穂（第1回～第5回） 風間宣夫（第6回～第10回） 竹田好美（第11回～第15回）として授業計画が作成されていますが、非常勤講師の先生方のご都合により日程が変更になります。表記されている日付で担当のその日の担当の先生を確認して下さい。 1 - （1）保育の見直しから見えてきたこと ～保育者主導の保育から子ども主体の保育へ～ 【波岡】		
	【予習】今までの実習体験を振り返っておく。		90分
	【復習】第1回の授業の内容についてまとめる。		90分
第2回	1 - （2）幼児教育に求められていること ～脳科学のエビデンスから～ 【波岡】		
	【予習】幼児教育に求められていることは何か、考えておく。		90分
	【復習】第2回の授業の内容についてまとめる。		90分
第3回	1 - （3）遊びは学び 【波岡】		
	【予習】幼児にとって遊びとは何か、考えておく。		90分
	【復習】第3回の授業の内容についてまとめる。		90分
第4回	1 - （4）幼小接続 【波岡】		
	【予習】自分の小学校入学前後のことを振り返っておく。また実習などで幼小接続に関して経験したことをまとめておく。		90分
	【復習】第4回の授業の内容についてまとめる。		90分
第5回	1 - （5）保育者の資質・役割 【波岡】		
	【予習】保育者に求められる資質や役割について考えておく。		90分
	【復習】第5回の授業の内容についてまとめる。		90分
第6回	2 - （1）幼児教育・保育の意義 【風間】		
	【予習】なぜ幼児教育・保育が必要なのか考えておく。		90分
	【復習】第6回の授業の内容についてまとめる。		90分
第7回	2 - （2）子ども・子育て支援新制度の現状と課題 【風間】		
	【予習】子ども・子育て支援新制度について調べておく。		90分
	【復習】第7回の授業の内容についてまとめる。		90分
第8回	2 - （3）富山県内における保育・幼児教育関連施設等の現状と課題 【風間】		
	【予習】富山県内にどんな保育・幼児教育関連施設があるか調べておく。		90分
	【復習】第8回の授業の内容についてまとめる。		90分
第9回	2 - （4）子ども理解 【風間】		
	【予習】なぜ子ども理解が大切なのか、子ども理解に必要なことは何かについて考えておく。		90分
	【復習】第9回の授業の内容についてまとめる。		90分

第10回	2 - (5) 保育者に求められることは何か [風間]	
	【予習】保育者に求められていることを考えておく。	90分
	【復習】第10回の授業の内容についてまとめる。	90分
第11回	3 - (1) 子ども・子育て支援新制度の現状と課題 - 今後の保育を考える - [竹田]	
	【予習】今までの授業で配布した，子ども・子育て支援新制度に関する資料を振り返っておく。	90分
	【復習】第11回の授業の内容についてまとめる。 自分の住んでいる市町村、もしくは、就職を考えている市町村の子ども子育て支援事業計画について調べ、まとめる。	90分
第12回	3 - (2) 富山県内における幼児教育・保育関連施設の現状と課題 [竹田]	
	【予習】富山県内にある幼児教育・保育関連施設や、子どもが活用できる施設について調べておく。	90分
	【復習】第12回の授業の内容についてまとめる。 富山県内にある施設への遠足について考え、子どもたちに提示する遠足の視聴覚教材の材料・道具等について考える。	90分
第13回	3 - (3) 平成29年告示の保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改定・改定のポイント 3 - (4) 保育教材に触れる 遠足実施計画案作成 [竹田]	
	【予習】指針・要領を読んでおく。 富山県内で乳幼児が行くことができる遠足先について考えておく。またその遠足の内容についても考えておく。	90分
	【復習】第13回の授業の内容についてまとめる。 遠足実施計画案を作成する。	90分
第14回	3 - (4) 保育教材に触れる 遠足の視聴覚教材の作成 [竹田]	
	【予習】遠足実施計画案を作成し、遠足の視聴覚教材の作成に必要な材料・道具などを準備しておく。	90分
	【復習】遠足実施計画案と遠足の視聴覚教材を完成させる。	90分
第15回	3 - (5) 富山県のよりよい保育・幼児教育を目指して [竹田]	
	【予習】富山県の保育・幼児教育に関する課題をまとめておく。	90分
	【復習】第15回の授業の内容についてまとめる。	90分
第16回	期末試験は行わない。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	平常点（受講態度）（40％）、レポート（60％）で総合的に評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。（レポートの提出期限・提出先等は各先生に確認を取ること）		
使用資料 ＜テキスト＞	無し	使用資料 ＜参考図書＞	各授業において適宜参考資料を配付する
授業外学修等	上記時間外においても、授業内容等に関して予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	授業時間終了後に質問することができます。 非常勤講師については竹田を通して質問することができます。オフィスアワー、メールまたは直接研究室に訪ねて質問してください。 takeda@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	水曜 2 限 （E301 竹田研究室）		

授業科目名	富山の教育特別講義			科目コード	K1703L08
英文名	Special Lecture: School Education in Toyama				
科目区分	富山の子ども育成				
職名	講師 非常勤講師	担当教員名	岩崎 直哉 水上 義行		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	木曜日	時限	3限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	1．講義・授業観察、実践者との対話、伝統的な実践研究校の事例などを通して、富山県教育の特色を具体的な事例を元に調査研究を行い、レポートにまとめたり、討論をしたりして現状と課題を把握する。 2．実務経験者による授業が１０回、ゲストティーチャーによる授業を３回、公開授業参観２回を予定している。				
キーワード	富山の教育	教育委員会	学力向上		
到達目標	1．教育県と言われる富山県教育の歴史の変遷を概観しながら、特色ある教育実践の現状と課題を理解できる。(50%)				
	2．富山県の自然環境や文化的資源の活用を図った教育活動を実践するための資質や能力を高めることができる。(25%)				
	3．教育研究校の公開授業を参観し、観察能力を高めことができる。(25%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
○		○	○		
ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	富山の子ども育成				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○				○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
○				○	○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、明治期における富山の教育（岩崎・水上） ・実務経験者による授業。	
	【予習】明治期の富山の教育についてネットで調べられる範囲で情報を集める。	30分
	【復習】講義記録のまとめと整理を行う。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	30分
第2回	富山県の教育研究の現状と課題（県内の授業公開のある小学校の研究発表会に一日参加する）（岩崎・水上）	
	【予習】授業公開に参加希望をする小学校について、ホームページなどで調査しておく。	30分
	【復習】講義記録のまとめと整理を行う。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	30分
第3回	富山県の教育研究の現状と課題（県内の授業公開のある小学校の研究発表会に一日参加する）（岩崎・水上）	
	【予習】授業公開に参加希望をする小学校について、ホームページなどで調査しておく。	30分
	【復習】講義記録のまとめと整理を行う。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	30分
第4回	富山県で初めて公立小学校をつくる（岩崎） ・実務経験者による授業。	
	【予習】富山県小学校教育研究会の組織及び研究の概要を調査しておく。	30分
	【復習】講義記録のまとめと整理を行う。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	30分
第5回	大正期における富山の教育（水上） ・実務経験者による授業。	
	【予習】大正期の富山県教育の概要について調査しておく。	30分
	【復習】講義記録のまとめと整理を行う。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	30分
第6回	昭和から現代にいたる富山の教育（水上） ・実務経験者による授業。	
	【予習】戦前・戦後の富山県教育の歴史的な流れを調べておく。	30分
	【復習】講義記録のまとめと整理を行う。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	30分
第7回	地域に大切にされる学校（水上） ・実務経験者による授業。	
	【予習】富山県教育委員会、富山県総合教育センターなど、富山県教育推進にかかわる教育施設等を調べる。	30分
	【復習】講義記録のまとめと整理	30分

第8回	「富山県教育委員会指導の重点」（水上） ・実務経験者による授業	
	【予習】「富山県教育委員会指導の重点」ダイジェスト版を精読しておく。	30分
	【復習】講義記録のまとめと整理を行う。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	30分
第9回	富山県教育委員会「重点施策」（岩崎） ・ゲストティーチャーによる授業	
	【予習】富山県教育委員会「重点施策」を事前配布し、要点を整理しておく。	30分
	【復習】講義記録のまとめと整理を行う。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	30分
第10回	富山県児童の学力と小学校教育研究会（岩崎） ・実務経験者による授業	
	【予習】富山県教育委員会と市町村教育委員会の連携について調べておく。	30分
	【復習】講義記録のまとめと整理を行う。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	30分
第11回	富山県内小中学校における特色ある教育活動（１）（水上） ・ゲストティーチャーによる授業	
	【予習】富山県総合教育センター学力向上班について調べておく。	30分
	【復習】講義記録のまとめと整理を行う。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	30分
第12回	富山県内小中学校における特色ある教育活動（２）（水上） ・実務経験者による授業	
	【予習】富山県教育委員会東部教育事務所の取り組みについて調べておく。	30分
	【復習】講義記録のまとめと整理を行う。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	30分
第13回	富山県内小中学校における特色ある教育活動（３）（岩崎） ・ゲストティーチャーによる授業	
	【予習】富山県における中学校教育の現状について調べておく。	30分
	【復習】講義記録のまとめと整理を行う。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	30分
第14回	富山県内小中学校における特色ある教育活動（４）（水上） ・実務経験者による授業	
	【予習】富山県教育委員会西部教育事務所の取り組みについて調べておく。	30分
	【復習】講義記録のまとめと整理を行う。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	30分
第15回	富山県教育の課題について、グループ討議を行う。（岩崎・水上） ・実務経験者による授業	
	【予習】事前に提示した、富山県教育の課題について調べておく。	30分
	【復習】講義記録のまとめと整理を行う。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	30分

第16回	期末考査	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	出席状況及び授業中の小レポート（３０％）、課題等の提出状況（３０％）、学期末試験及びレポート（４０％）により総合的に評価する。 到達目標については、富山国際大学成績表j評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	テキストは使わず、プリント資料配布	使用資料 <参考図書>	富山県小学校教育研究会史、富山県教育委員会重点施策(2018)、幼・小・中学校教育
授業外学修等	予習復習の徹底		
授業外質問方法	オフィス・アワーを利用する。または、メールで質問する（iwasaki@tuins.ac.jp）。		
オフィス・アワー	木曜4限		

授業科目名	富山の生活特別講義			科目コード	K1708P06
英文名	Special Lecture: Living in Toyama				
科目区分	富山の子ども育成				
職名	准教授 非常勤講師 非常勤講師		担当教員名	相山 馨 深井 康子 長守 信子	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	水曜日		時限	3限目	
開講時期	2年・3年前期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	2単位	
授業の概要	「富山の生活特別講義」として、富山における女性の生活と子育てを巡る歩み、現状と課題について学び、地域に根ざした子どもの育成のあり方について理解を深めるとともに考究する。それぞれのテーマとねらいに基づいてオムニバス方式の授業展開を図る。				
キーワード	女性の生活	子育て			
到達目標	（非常勤講師・深井康子）富山の女性と食生活・食育をめぐる歩み・現状・課題について理解することができる。(25%)				
	（非常勤講師・長守信子）富山の女性の生き方・女性問題の動向について理解することができる。(25%)				
	（准教授・相山馨）富山の女性と地域資源活用をめぐる歩み・現状・課題について理解することができる。(50%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
○					
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）			21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
○					

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション・富山の生活環境 【相山】 富山の生活環境について検討する。	
	【予習】富山の生活環境について調べる	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第2回	地域の特性の理解 【相山】 それぞれの地域（市町村・圏域）の特性について把握し、地域の強みをみつける。	
	【予習】住んでいる市町村の強みについて考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第3回	地域の特性の理解 【相山】 それぞれの地域（市町村・圏域）の特性について把握し、地域ニーズをとらえる。	
	【予習】住んでいる市町村の改善点について考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第4回	子どもをめぐる現状【長守】 現代の子育てをめぐる年代別問題の現状と子どもに与える影響	
	【予習】最近の、子どもをめぐる問題の背景について考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第5回	女性の生き方【長守】 富山県内の年代別にみる女性の生き方と問題対応の特徴について考える。	
	【予習】自分が考える、地域の特性や特徴について考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第6回	連鎖する社会問題【長守】 DV、貧困問題など連鎖が考えられる問題を考察する。	
	【予習】DVについて調べる	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第7回	女性問題の動向【長守】 女性問題の動向と必要と思われる社会資源を探る。	
	【予習】今後、あったらよいと思われる支援制度を考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第8回	子どもの発達連続性 【山浦】 幼稚園・保育園(所)・こども園と小学校の滑らかな接続について考える。	
	【予習】幼保と小のギャップ（生活の違い等）について調べる	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分

第9回	女性の生き方（仕事と子育て）【山浦】 教員として親として、それぞれの立場から仕事と子育てについて考える。	
	【予習】仕事を優先するか、子育てを優先するか、自分の生き方を考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第10回	気になる子どもへの関わり方【山浦】 幼児・児童への特別支援教育について考える。	
	【予習】気になる子どもの具体的な言動について探る	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第11回	現在の食生活の現状と課題 【深井】 食生活の乱れから、子どもの生活習慣病予備軍が増加。県のデータをもとに食生活の改善を検討する。	
	【予習】近年の子どもの食生活について考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第12回	食をとおした保護者への支援 【深井】 家庭の行動変容に繋がる保護者支援に向けて、子どもの健やかなこころと身体を育む食育の重要性に理解を深める。	
	【予習】保護者が抱える食生活の課題について考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第13回	富山の郷土・行事食 【深井】 富山の恵まれた自然環境から育まれた農水産物をかえりみて、和食を基本とした「富山型食生活」の理解を深め、富山の食文化の継承とともに先人の知恵や健康志向について考える。	
	【予習】富山の食文化について考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第14回	富山の冠婚葬祭・風習 【深井】 富山における女性の生活と子育てに地域特有の風習がある。子どもへの健康・幸福を願う親の思いを探る。	
	【予習】富山の風習について考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第15回	住みよい地域づくりと専門職の役割 【相山】 「安心して生活し続けるための地域」とそれを支える専門職の役割について検討する。	
	【予習】「安心して生活し続けるための地域」について考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート(80%)、受講態度(20%)		
使用資料 <テキスト>	必要に応じて講義レジュメを配布する。必要に応じてテキスト等を指定する。	使用資料 <参考図書>	講義の中で紹介する。
授業外学修等	日頃、富山の生活・女性・子育て関連の出来事やニュースなどに注目しておくこと。 授業内容を復習し、再確認しておくこと。		
授業外質問方法	時間外の質問はメールで受け付けます。相山 (aiyama@tuins.ac.jp)		
オフィス・アワー	月曜1限 相山研究室		

授業科目名	とやま地域学			科目コード	K1711P11
英文名	Toyama Regional Studies				
科目区分	富山の子ども育成				
職名	教授	担当教員名	尾畑 納子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	集中講義	時限	集中講義		
開講時期	1年・2年・3年・4年前期集中	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	2016年の新幹線の開業以来、国内外からの観光客をはじめ来県者が多くなっています。一方で、少子高齢化が一段と進み、地方の活力低下が懸念されることから、2018年から富山県の新総合計画がスタートしました。新しい時代に対応した一人ひとりのライフスタイルの確立が求められます。今年度のとやま地域学では、「富山の魅力と宝もの発見」をテーマに、大学生の皆さんに、もっと富山を知り、魅力を発見してもらいたいと考えて企画しました。「富山は日本のスウェーデン」の著書とは別の視点で富山に住む専門家から、データからみる富山、歴史・文化の視点から見る越中・富山、森・里・川・海の自然環境から学び、富山の魅力を発見し、活力ある富山の地域づくりについて各自が考えてみましょう。				
キーワード	富山の歴史と文化	富山の自然	災害	地方の未来創生	世界遺産
到達目標	富山の歴史文化、環境、産業の現状などを学び、特色を理解すること。				
	富山の自然環境、農業、災害について学び、持続可能な安全な地域づくりを考える。				
	政策の専門家の講義、現地研修を通して、富山、北陸地域の活性化について考える。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
				○	

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	9月2日(月) オリエンテーション 富山国際大学現代社会学部教授 尾畑 納子	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	9月2日(月) 富山の政策と未来を語る 富山県知事 石井 隆一 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	9月2日(月) 富山の政策を考える枠組み 講師：富山国際大学 客員教授 浜松 誠二 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	9月2日(月) 今後の富山づくり（意見交換を含む） 講師：富山国際大学 客員教授 浜松 誠二 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	9月3日(火) 越中（富山県）の歴史－大伴家持と富山 講師：前富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	9月3日(火) 越中（富山県）の歴史－中世の社会 講師：前富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	9月3日(火) 越中（富山県）－富山藩の大名たち 講師：前富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏	
	【予習】	
	【復習】	

第8回	9月3日(火) 北前船と富山 講師：富山県総合政策局企画調整室世界遺産担当 松島 吉信 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	9月4日(水) 富山の自然—おいしい水の秘密— 講師：富山国際大学現代社会学部教授 尾畑 納子	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	9月4日(水) 富山の自然 - 河川や富山湾の環境 - 講師：富山県農林水産総合技術センター水産研究所所長 田子 泰彦 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	9月4日(水) 富山の自然と地域づくり 講師：早稲田大学名誉教授 宮口 侑迪 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	9月5日(木) 富山の自然と防災 講師：立山カルデラ砂防博物館	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	9月5日(木) 現地研修（富山県内） 立山カルデラ砂防博物館 引率：富山国際大学現代社会学部教授 尾畑 納子	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	9月5日(木) 現地研修（富山県内） 立山カルデラ砂防博物館 引率：富山国際大学現代社会学部教授 尾畑 納子	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	9月5日(木) 現地研修（富山県内） 富山県万葉歴史館 引率：富山国際大学現代社会学部教授 尾畑 納子	
	【予習】	
	【復習】	

第16回	9月5日(木) まとめ、レポート提出 これまでの学びについて整理したものを参考に、富山の未来のために必要なこと、自分は何ができるかについて考え、まとめる。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	受講態度及び毎時の課題、現地研修（50％）、レポート（50％）をもって総合的に評価する。 試験は実施しない。		
使用資料 <テキスト>	テキストは初回に無料配布予定。	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	授業前後の学習に関しては、本要綱の到達目標を踏まえ初日のオリエンテーションで説明を行う。		
授業外質問方法	授業に関する質問などは毎回質問票を配布して各講師に提出する。その他、休憩時間などを利用して質問などに応じる。		
オフィス・アワー	休憩期間中及び授業終了後。		

授業科目名	卒業研究			科目コード	K1803F01
英文名	Research Seminar I (for juniors)				
科目区分	研究				
職名	教授	担当教員名	相山 馨		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマを設定し、研究計画を立てて、卒業研究中間発表を行う。				
キーワード	研究	研究の方法	研究計画		
到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を理解することができる。(30%)				
	研究の方法を理解し、各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができる。(40%)				
	論文の構成など研究論文の書き方に関する基本的な事項を理解できる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。 以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。 (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 (4) 卒業研究は 2 年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 (5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習 等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 3 年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。 ・卒業研究中間発表会 10 月下旬(予定)	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第2回	研究とは何か	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第3回	研究論文とは	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第4回	文献の探し方 1	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第5回	文献の探し方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第6回	研究の方法 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第7回	研究の方法 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第8回	研究の方法 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第9回	文献抄読 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第10回	文献抄読 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第11回	研究テーマの検討 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第12回	研究テーマの検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第13回	研究計画の検討	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】これまでの研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第16回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分

第17回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第18回	卒業研究中間発表会ポスター閲覧	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究内容からの学びを整理する	90分
第19回	研究計画の検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の課題を整理する	90分
第20回	文献抄読 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第21回	文献抄読 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第22回	文献抄読 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第23回	文献抄読 7	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第24回	論文の書き方 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第25回	論文の書き方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第26回	論文の書き方 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第27回	研究計画の立案 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第28回	研究計画の立案 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第29回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】発表内容を振り返り、自身の研究に向けての課題を整理する	90分
第30回	4 年次卒業研究発表会に参加	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】4年生の研究発表から学んだことを整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究中間発表等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けてたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究			科目コード	K1803F01
英文名	Research Seminar I (for juniors)				
科目区分	研究				
職名	准教授	担当教員名	石倉 卓子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマを設定し、研究計画を立てて、卒業研究中間発表を行う。				
キーワード	研究	研究の方法	研究計画		
到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を理解することができる。(30%)				
	研究の方法を理解し、各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができる。(40%)				
	論文の構成など研究論文の書き方に関する基本的な事項を理解できる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。 以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。 (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 (4) 卒業研究は 2 年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 (5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習 等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 3 年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。 ・卒業研究中間発表会 10 月下旬(予定)	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第2回	研究とは何か	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第3回	研究論文とは	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第4回	文献の探し方 1	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第5回	文献の探し方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第6回	研究の方法 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第7回	研究の方法 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第8回	研究の方法 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第9回	文献抄読 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第10回	文献抄読 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第11回	研究テーマの検討 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第12回	研究テーマの検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第13回	研究計画の検討	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】これまでの研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第16回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分

第17回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第18回	卒業研究中間発表会ポスター閲覧	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究内容からの学びを整理する	90分
第19回	研究計画の検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の課題を整理する	90分
第20回	文献抄読 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第21回	文献抄読 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第22回	文献抄読 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第23回	文献抄読 7	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第24回	論文の書き方 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第25回	論文の書き方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第26回	論文の書き方 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第27回	研究計画の立案 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第28回	研究計画の立案 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第29回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】発表内容を振り返り、自身の研究に向けての課題を整理する	90分
第30回	4 年次卒業研究発表会に参加	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】4年生の研究発表から学んだことを整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究中間発表等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究			科目コード	K1803F01
英文名	Research Seminar I (for juniors)				
科目区分	研究				
職名	准教授	担当教員名	大平 泰子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマを設定し、研究計画を立てて、卒業研究中間発表を行う。				
キーワード	研究	研究の方法	研究計画		
到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を理解することができる。(30%)				
	研究の方法を理解し、各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができる。(40%)				
	論文の構成など研究論文の書き方に関する基本的な事項を理解できる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。 以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。 (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 (4) 卒業研究は 2 年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 (5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習 等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 3 年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。 ・卒業研究中間発表会 10 月下旬(予定)	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第2回	研究とは何か	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第3回	研究論文とは	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第4回	文献の探し方 1	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第5回	文献の探し方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第6回	研究の方法 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第7回	研究の方法 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第8回	研究の方法 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第9回	文献抄読 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第10回	文献抄読 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第11回	研究テーマの検討 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第12回	研究テーマの検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第13回	研究計画の検討	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】これまでの研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第16回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分

第17回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第18回	卒業研究中間発表会ポスター閲覧	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究内容からの学びを整理する	90分
第19回	研究計画の検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の課題を整理する	90分
第20回	文献抄読 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第21回	文献抄読 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第22回	文献抄読 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第23回	文献抄読 7	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第24回	論文の書き方 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第25回	論文の書き方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第26回	論文の書き方 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第27回	研究計画の立案 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第28回	研究計画の立案 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第29回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】発表内容を振り返り、自身の研究に向けての課題を整理する	90分
第30回	4 年次卒業研究発表会に参加	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】4年生の研究発表から学んだことを整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究中間発表等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けてたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究			科目コード	K1803F01
英文名	Research Seminar I (for juniors)				
科目区分	研究				
職名	教授	担当教員名	大藪 敏宏		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマを設定し、研究計画を立てて、卒業研究中間発表を行う。				
キーワード	研究	研究の方法	研究計画		
到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を理解することができる。(30%)				
	研究の方法を理解し、各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができる。(40%)				
	論文の構成など研究論文の書き方に関する基本的な事項を理解できる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。 以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。 (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 (4) 卒業研究は 2 年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 (5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習 等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 3 年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。 ・卒業研究中間発表会 10 月下旬(予定)	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第2回	研究とは何か	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第3回	研究論文とは	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第4回	文献の探し方 1	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第5回	文献の探し方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第6回	研究の方法 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第7回	研究の方法 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第8回	研究の方法 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第9回	文献抄読 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第10回	文献抄読 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第11回	研究テーマの検討 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第12回	研究テーマの検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第13回	研究計画の検討	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】これまでの研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第16回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分

第17回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第18回	卒業研究中間発表会ポスター閲覧	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究内容からの学びを整理する	90分
第19回	研究計画の検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の課題を整理する	90分
第20回	文献抄読 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第21回	文献抄読 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第22回	文献抄読 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第23回	文献抄読 7	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第24回	論文の書き方 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第25回	論文の書き方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第26回	論文の書き方 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第27回	研究計画の立案 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第28回	研究計画の立案 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第29回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】発表内容を振り返り、自身の研究に向けての課題を整理する	90分
第30回	4 年次卒業研究発表会に参加	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】4年生の研究発表から学んだことを整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究中間発表等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究			科目コード	K1803F01
英文名	Research Seminar I (for juniors)				
科目区分	研究				
職名	講師	担当教員名	奥田 秀巳		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマを設定し、研究計画を立てて、卒業研究中間発表を行う。				
キーワード	研究	研究の方法	研究計画		
到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を理解することができる。(30%)				
	研究の方法を理解し、各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができる。(40%)				
	論文の構成など研究論文の書き方に関する基本的な事項を理解できる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。 以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。 (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 (4) 卒業研究は 2 年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 (5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習 等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 3 年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。 ・卒業研究中間発表会 10 月下旬(予定)	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第2回	研究とは何か	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第3回	研究論文とは	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第4回	文献の探し方 1	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第5回	文献の探し方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第6回	研究の方法 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第7回	研究の方法 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第8回	研究の方法 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第9回	文献抄読 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第10回	文献抄読 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第11回	研究テーマの検討 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第12回	研究テーマの検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第13回	研究計画の検討	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】これまでの研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第16回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分

第17回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第18回	卒業研究中間発表会ポスター閲覧	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究内容からの学びを整理する	90分
第19回	研究計画の検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の課題を整理する	90分
第20回	文献抄読 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第21回	文献抄読 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第22回	文献抄読 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第23回	文献抄読 7	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第24回	論文の書き方 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第25回	論文の書き方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第26回	論文の書き方 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第27回	研究計画の立案 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第28回	研究計画の立案 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第29回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】発表内容を振り返り、自身の研究に向けての課題を整理する	90分
第30回	4 年次卒業研究発表会に参加	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】4年生の研究発表から学んだことを整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究中間発表等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けてたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究			科目コード	K1803F01
英文名	Research Seminar I (for juniors)				
科目区分	研究				
職名	教授	担当教員名	彼谷 環		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマを設定し、研究計画を立てて、卒業研究中間発表を行う。				
キーワード	研究	研究の方法	研究計画		
到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を理解することができる。(30%)				
	研究の方法を理解し、各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができる。(40%)				
	論文の構成など研究論文の書き方に関する基本的な事項を理解できる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。 以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。 (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 (4) 卒業研究は 2 年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 (5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習 等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 3 年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。 ・卒業研究中間発表会 10 月下旬(予定)	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第2回	研究とは何か	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第3回	研究論文とは	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第4回	文献の探し方 1	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第5回	文献の探し方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第6回	研究の方法 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第7回	研究の方法 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第8回	研究の方法 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第9回	文献抄読 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第10回	文献抄読 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第11回	研究テーマの検討 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第12回	研究テーマの検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第13回	研究計画の検討	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】これまでの研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第16回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分

第17回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第18回	卒業研究中間発表会ポスター閲覧	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究内容からの学びを整理する	90分
第19回	研究計画の検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の課題を整理する	90分
第20回	文献抄読 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第21回	文献抄読 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第22回	文献抄読 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第23回	文献抄読 7	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第24回	論文の書き方 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第25回	論文の書き方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第26回	論文の書き方 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第27回	研究計画の立案 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第28回	研究計画の立案 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第29回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】発表内容を振り返り、自身の研究に向けての課題を整理する	90分
第30回	4 年次卒業研究発表会に参加	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】4年生の研究発表から学んだことを整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究中間発表等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究			科目コード	K1803F01
英文名	Research Seminar I (for juniors)				
科目区分	研究				
職名	准教授	担当教員名	河崎 美香		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマを設定し、研究計画を立てて、卒業研究中間発表を行う。				
キーワード	研究	研究の方法	研究計画		
到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を理解することができる。(30%)				
	研究の方法を理解し、各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができる。(40%)				
	論文の構成など研究論文の書き方に関する基本的な事項を理解できる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。 以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。 (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 (4) 卒業研究は 2 年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 (5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習 等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 3 年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。 ・卒業研究中間発表会 10 月下旬(予定)	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第2回	研究とは何か	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第3回	研究論文とは	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第4回	文献の探し方 1	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第5回	文献の探し方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第6回	研究の方法 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第7回	研究の方法 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第8回	研究の方法 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第9回	文献抄読 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第10回	文献抄読 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第11回	研究テーマの検討 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第12回	研究テーマの検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第13回	研究計画の検討	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】これまでの研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第16回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分

第17回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第18回	卒業研究中間発表会ポスター閲覧	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究内容からの学びを整理する	90分
第19回	研究計画の検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の課題を整理する	90分
第20回	文献抄読 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第21回	文献抄読 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第22回	文献抄読 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第23回	文献抄読 7	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第24回	論文の書き方 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第25回	論文の書き方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第26回	論文の書き方 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第27回	研究計画の立案 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第28回	研究計画の立案 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第29回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】発表内容を振り返り、自身の研究に向けての課題を整理する	90分
第30回	4 年次卒業研究発表会に参加	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】4年生の研究発表から学んだことを整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究中間発表等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究			科目コード	K1803F01
英文名	Research Seminar I (for juniors)				
科目区分	研究				
職名	講師	担当教員名	金子 泰子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマを設定し、研究計画を立てて、卒業研究中間発表を行う。				
キーワード	研究	研究の方法	研究計画		
到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を理解することができる。(30%)				
	研究の方法を理解し、各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができる。(40%)				
	論文の構成など研究論文の書き方に関する基本的な事項を理解できる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。 以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。 (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 (4) 卒業研究は 2 年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 (5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習 等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 3 年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。 ・卒業研究中間発表会 10 月下旬(予定)	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第2回	研究とは何か	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第3回	研究論文とは	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第4回	文献の探し方 1	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第5回	文献の探し方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第6回	研究の方法 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第7回	研究の方法 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第8回	研究の方法 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第9回	文献抄読 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第10回	文献抄読 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第11回	研究テーマの検討 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第12回	研究テーマの検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第13回	研究計画の検討	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】これまでの研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第16回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分

第17回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第18回	卒業研究中間発表会ポスター閲覧	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究内容からの学びを整理する	90分
第19回	研究計画の検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の課題を整理する	90分
第20回	文献抄読 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第21回	文献抄読 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第22回	文献抄読 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第23回	文献抄読 7	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第24回	論文の書き方 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第25回	論文の書き方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第26回	論文の書き方 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第27回	研究計画の立案 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第28回	研究計画の立案 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第29回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】発表内容を振り返り、自身の研究に向けての課題を整理する	90分
第30回	4 年次卒業研究発表会に参加	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】4年生の研究発表から学んだことを整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究中間発表等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けてたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究			科目コード	K1803F01
英文名	Research Seminar I (for juniors)				
科目区分	研究				
職名	講師	担当教員名	佐部利 典彦		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマを設定し、研究計画を立てて、卒業研究中間発表を行う。				
キーワード	研究	研究の方法	研究計画		
到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を理解することができる。(30%)				
	研究の方法を理解し、各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができる。(40%)				
	論文の構成など研究論文の書き方に関する基本的な事項を理解できる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。 以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。 (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 (4) 卒業研究は 2 年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 (5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習 等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 3 年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。 ・卒業研究中間発表会 10月下旬(予定)	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第2回	研究とは何か	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第3回	研究論文とは	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第4回	文献の探し方 1	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第5回	文献の探し方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第6回	研究の方法 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第7回	研究の方法 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第8回	研究の方法 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第9回	文献抄読 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第10回	文献抄読 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第11回	研究テーマの検討 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第12回	研究テーマの検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第13回	研究計画の検討	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】これまでの研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第16回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分

第17回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第18回	卒業研究中間発表会ポスター閲覧	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究内容からの学びを整理する	90分
第19回	研究計画の検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の課題を整理する	90分
第20回	文献抄読 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第21回	文献抄読 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第22回	文献抄読 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第23回	文献抄読 7	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第24回	論文の書き方 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第25回	論文の書き方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第26回	論文の書き方 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第27回	研究計画の立案 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第28回	研究計画の立案 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第29回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】発表内容を振り返り、自身の研究に向けての課題を整理する	90分
第30回	4 年次卒業研究発表会に参加	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】4年生の研究発表から学んだことを整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究中間発表等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けてたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究			科目コード	K1803F01
英文名	Research Seminar I (for juniors)				
科目区分	研究				
職名	教授	担当教員名	瀬戸 健		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマを設定し、研究計画を立てて、卒業研究中間発表を行う。				
キーワード	研究	研究の方法	研究計画		
到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を理解することができる。(30%)				
	研究の方法を理解し、各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができる。(40%)				
	論文の構成など研究論文の書き方に関する基本的な事項を理解できる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。 以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。 (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 (4) 卒業研究は 2 年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 (5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習 等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 3 年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。 ・卒業研究中間発表会 10 月下旬(予定)	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第2回	研究とは何か	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第3回	研究論文とは	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第4回	文献の探し方 1	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第5回	文献の探し方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第6回	研究の方法 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第7回	研究の方法 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第8回	研究の方法 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第9回	文献抄読 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第10回	文献抄読 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第11回	研究テーマの検討 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第12回	研究テーマの検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第13回	研究計画の検討	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】これまでの研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第16回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分

第17回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第18回	卒業研究中間発表会ポスター閲覧	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究内容からの学びを整理する	90分
第19回	研究計画の検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の課題を整理する	90分
第20回	文献抄読 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第21回	文献抄読 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第22回	文献抄読 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第23回	文献抄読 7	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第24回	論文の書き方 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第25回	論文の書き方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第26回	論文の書き方 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第27回	研究計画の立案 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第28回	研究計画の立案 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第29回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】発表内容を振り返り、自身の研究に向けての課題を整理する	90分
第30回	4 年次卒業研究発表会に参加	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】4年生の研究発表から学んだことを整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究中間発表等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けてたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究			科目コード	K1803F01
英文名	Research Seminar I (for juniors)				
科目区分	研究				
職名	講師	担当教員名	竹田 好美		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマを設定し、研究計画を立てて、卒業研究中間発表を行う。				
キーワード	研究	研究の方法	研究計画		
到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を理解することができる。(30%)				
	研究の方法を理解し、各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができる。(40%)				
	論文の構成など研究論文の書き方に関する基本的な事項を理解できる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。 以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。 (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 (4) 卒業研究は 2 年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 (5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習 等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 3 年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。 ・卒業研究中間発表会 10 月下旬(予定)	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第2回	研究とは何か	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第3回	研究論文とは	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第4回	文献の探し方 1	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第5回	文献の探し方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第6回	研究の方法 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第7回	研究の方法 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第8回	研究の方法 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第9回	文献抄読 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第10回	文献抄読 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第11回	研究テーマの検討 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第12回	研究テーマの検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第13回	研究計画の検討	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】これまでの研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第16回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分

第17回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第18回	卒業研究中間発表会ポスター閲覧	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究内容からの学びを整理する	90分
第19回	研究計画の検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の課題を整理する	90分
第20回	文献抄読 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第21回	文献抄読 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第22回	文献抄読 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第23回	文献抄読 7	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第24回	論文の書き方 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第25回	論文の書き方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第26回	論文の書き方 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第27回	研究計画の立案 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第28回	研究計画の立案 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第29回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】発表内容を振り返り、自身の研究に向けての課題を整理する	90分
第30回	4 年次卒業研究発表会に参加	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】4年生の研究発表から学んだことを整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究中間発表等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究			科目コード	K1803F01
英文名	Research Seminar I (for juniors)				
科目区分	研究				
職名	教授	担当教員名	辻井 満雄		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマを設定し、研究計画を立てて、卒業研究中間発表を行う。				
キーワード	研究	研究の方法	研究計画		
到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を理解することができる。(30%)				
	研究の方法を理解し、各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができる。(40%)				
	論文の構成など研究論文の書き方に関する基本的な事項を理解できる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。 以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。 (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 (4) 卒業研究は 2 年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 (5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習 等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 3 年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。 ・卒業研究中間発表会 10月下旬(予定)	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第2回	研究とは何か	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第3回	研究論文とは	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第4回	文献の探し方 1 指導案 指導案 指導案	
	【予習】個人研究の振り返り 指導案 指導案 指導案	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第5回	文献の探し方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第6回	研究の方法 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第7回	研究の方法 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第8回	研究の方法 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第9回	文献抄読 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第10回	文献抄読 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第11回	研究テーマの検討 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第12回	研究テーマの検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第13回	研究計画の検討	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】これまでの研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第16回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分

第17回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第18回	卒業研究中間発表会ポスター閲覧	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究内容からの学びを整理する	90分
第19回	研究計画の検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の課題を整理する	90分
第20回	文献抄読 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第21回	文献抄読 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第22回	文献抄読 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第23回	文献抄読 7	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第24回	論文の書き方 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第25回	論文の書き方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第26回	論文の書き方 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第27回	研究計画の立案 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第28回	研究計画の立案 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第29回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】発表内容を振り返り、自身の研究に向けての課題を整理する	90分
第30回	4 年次卒業研究発表会に参加	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】4年生の研究発表から学んだことを整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究中間発表等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けてたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究			科目コード	K1803F01
英文名	Research Seminar I (for juniors)				
科目区分	研究				
職名	教授	担当教員名	仲井 文之		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマを設定し、研究計画を立てて、卒業研究中間発表を行う。				
キーワード	研究	研究の方法	研究計画		
到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を理解することができる。(30%)				
	研究の方法を理解し、各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができる。(40%)				
	論文の構成など研究論文の書き方に関する基本的な事項を理解できる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。 以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。 (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 (4) 卒業研究は 2 年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 (5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習 等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 3 年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。 ・卒業研究中間発表会 10 月下旬(予定)	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第2回	研究とは何か	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第3回	研究論文とは	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第4回	文献の探し方 1	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第5回	文献の探し方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第6回	研究の方法 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第7回	研究の方法 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第8回	研究の方法 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第9回	文献抄読 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第10回	文献抄読 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第11回	研究テーマの検討 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第12回	研究テーマの検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第13回	研究計画の検討	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】これまでの研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第16回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分

第17回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第18回	卒業研究中間発表会ポスター閲覧	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究内容からの学びを整理する	90分
第19回	研究計画の検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の課題を整理する	90分
第20回	文献抄読 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第21回	文献抄読 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第22回	文献抄読 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第23回	文献抄読 7	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第24回	論文の書き方 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第25回	論文の書き方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第26回	論文の書き方 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第27回	研究計画の立案 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第28回	研究計画の立案 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第29回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】発表内容を振り返り、自身の研究に向けての課題を整理する	90分
第30回	4 年次卒業研究発表会に参加	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】4年生の研究発表から学んだことを整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究中間発表等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けてたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究			科目コード	K1803F01
英文名	Research Seminar I (for juniors)				
科目区分	研究				
職名	教授	担当教員名	福島 美枝子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマを設定し、研究計画を立てて、卒業研究中間発表を行う。				
キーワード	研究	研究の方法	研究計画		
到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を理解することができる。(30%)				
	研究の方法を理解し、各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができる。(40%)				
	論文の構成など研究論文の書き方に関する基本的な事項を理解できる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。 以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。 (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 (4) 卒業研究は 2 年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 (5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習 等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 3 年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。 ・卒業研究中間発表会 10 月下旬(予定)	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第2回	研究とは何か	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第3回	研究論文とは	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第4回	文献の探し方 1	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第5回	文献の探し方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第6回	研究の方法 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第7回	研究の方法 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第8回	研究の方法 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第9回	文献抄読 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第10回	文献抄読 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第11回	研究テーマの検討 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第12回	研究テーマの検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第13回	研究計画の検討	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】これまでの研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第16回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分

第17回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第18回	卒業研究中間発表会ポスター閲覧	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究内容からの学びを整理する	90分
第19回	研究計画の検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の課題を整理する	90分
第20回	文献抄読 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第21回	文献抄読 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第22回	文献抄読 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第23回	文献抄読 7	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第24回	論文の書き方 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第25回	論文の書き方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第26回	論文の書き方 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第27回	研究計画の立案 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第28回	研究計画の立案 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第29回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】発表内容を振り返り、自身の研究に向けての課題を整理する	90分
第30回	4 年次卒業研究発表会に参加	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】4年生の研究発表から学んだことを整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究中間発表等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けてたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究			科目コード	K1803F01
英文名	Research Seminar I (for juniors)				
科目区分	研究				
職名	教授	担当教員名	堀江 英一		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマを設定し、研究計画を立てて、卒業研究中間発表を行う。				
キーワード	研究	研究の方法	研究計画		
到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を理解することができる。(30%)				
	研究の方法を理解し、各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができる。(40%)				
	論文の構成など研究論文の書き方に関する基本的な事項を理解できる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。 以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。 (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 (4) 卒業研究は 2 年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 (5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習 等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 3 年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。 ・卒業研究中間発表会 10 月下旬(予定)	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第2回	研究とは何か	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第3回	研究論文とは	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第4回	文献の探し方 1	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第5回	文献の探し方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第6回	研究の方法 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第7回	研究の方法 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第8回	研究の方法 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第9回	文献抄読 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第10回	文献抄読 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第11回	研究テーマの検討 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第12回	研究テーマの検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第13回	研究計画の検討	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】これまでの研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第16回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分

第17回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第18回	卒業研究中間発表会ポスター閲覧	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究内容からの学びを整理する	90分
第19回	研究計画の検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の課題を整理する	90分
第20回	文献抄読 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第21回	文献抄読 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第22回	文献抄読 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第23回	文献抄読 7	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第24回	論文の書き方 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第25回	論文の書き方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第26回	論文の書き方 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第27回	研究計画の立案 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第28回	研究計画の立案 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第29回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】発表内容を振り返り、自身の研究に向けての課題を整理する	90分
第30回	4 年次卒業研究発表会に参加	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】4年生の研究発表から学んだことを整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究中間発表等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けてたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究			科目コード	K1803F01
英文名	Research Seminar I (for juniors)				
科目区分	研究				
職名	准教授	担当教員名	本江 理子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマを設定し、研究計画を立てて、卒業研究中間発表を行う。				
キーワード	研究	研究の方法	研究計画		
到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を理解することができる。(30%)				
	研究の方法を理解し、各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができる。(40%)				
	論文の構成など研究論文の書き方に関する基本的な事項を理解できる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。 以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。 (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 (4) 卒業研究は 2 年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 (5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習 等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 3 年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。 ・卒業研究中間発表会 10月下旬(予定)	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第2回	研究とは何か	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第3回	研究論文とは	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第4回	文献の探し方 1	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第5回	文献の探し方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第6回	研究の方法 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第7回	研究の方法 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第8回	研究の方法 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第9回	文献抄読 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第10回	文献抄読 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第11回	研究テーマの検討 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第12回	研究テーマの検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第13回	研究計画の検討	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】これまでの研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第16回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分

第17回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第18回	卒業研究中間発表会ポスター閲覧	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究内容からの学びを整理する	90分
第19回	研究計画の検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の課題を整理する	90分
第20回	文献抄読 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第21回	文献抄読 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第22回	文献抄読 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第23回	文献抄読 7	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第24回	論文の書き方 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第25回	論文の書き方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第26回	論文の書き方 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第27回	研究計画の立案 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第28回	研究計画の立案 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第29回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】発表内容を振り返り、自身の研究に向けての課題を整理する	90分
第30回	4 年次卒業研究発表会に参加	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】4年生の研究発表から学んだことを整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究中間発表等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けてたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究			科目コード	K1803F01
英文名	Research Seminar I (for juniors)				
科目区分	研究				
職名	教授	担当教員名	松山 友之		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマを設定し、研究計画を立てて、卒業研究中間発表を行う。				
キーワード	研究	研究の方法	研究計画		
到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を理解することができる。(30%)				
	研究の方法を理解し、各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができる。(40%)				
	論文の構成など研究論文の書き方に関する基本的な事項を理解できる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。 以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。 (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 (4) 卒業研究は 2 年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 (5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習 等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 3 年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。 ・卒業研究中間発表会 10 月下旬(予定)	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第2回	研究とは何か	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第3回	研究論文とは	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第4回	文献の探し方 1	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第5回	文献の探し方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第6回	研究の方法 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第7回	研究の方法 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第8回	研究の方法 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第9回	文献抄読 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第10回	文献抄読 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第11回	研究テーマの検討 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第12回	研究テーマの検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第13回	研究計画の検討	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】これまでの研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第16回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分

第17回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第18回	卒業研究中間発表会ポスター閲覧	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究内容からの学びを整理する	90分
第19回	研究計画の検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の課題を整理する	90分
第20回	文献抄読 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第21回	文献抄読 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第22回	文献抄読 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第23回	文献抄読 7	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第24回	論文の書き方 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第25回	論文の書き方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第26回	論文の書き方 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第27回	研究計画の立案 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第28回	研究計画の立案 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第29回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】発表内容を振り返り、自身の研究に向けての課題を整理する	90分
第30回	4 年次卒業研究発表会に参加	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】4年生の研究発表から学んだことを整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究中間発表等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究			科目コード	K1803F01
英文名	Research Seminar I (for juniors)				
科目区分	研究				
職名	教授	担当教員名	宮田 徹		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマを設定し、研究計画を立てて、卒業研究中間発表を行う。				
キーワード	研究	研究の方法	研究計画		
到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を理解することができる。(30%)				
	研究の方法を理解し、各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができる。(40%)				
	論文の構成など研究論文の書き方に関する基本的な事項を理解できる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。 以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。 (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 (4) 卒業研究は 2 年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 (5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習 等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 3 年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。 ・卒業研究中間発表会 10 月下旬(予定)	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第2回	研究とは何か	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第3回	研究論文とは	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第4回	文献の探し方 1	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第5回	文献の探し方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第6回	研究の方法 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第7回	研究の方法 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第8回	研究の方法 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第9回	文献抄読 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第10回	文献抄読 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第11回	研究テーマの検討 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第12回	研究テーマの検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第13回	研究計画の検討	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】これまでの研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第16回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分

第17回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第18回	卒業研究中間発表会ポスター閲覧	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究内容からの学びを整理する	90分
第19回	研究計画の検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の課題を整理する	90分
第20回	文献抄読 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第21回	文献抄読 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第22回	文献抄読 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第23回	文献抄読 7	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第24回	論文の書き方 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第25回	論文の書き方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第26回	論文の書き方 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第27回	研究計画の立案 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第28回	研究計画の立案 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第29回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】発表内容を振り返り、自身の研究に向けての課題を整理する	90分
第30回	4 年次卒業研究発表会に参加	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】4年生の研究発表から学んだことを整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究中間発表等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究			科目コード	K1803F01
英文名	Research Seminar I (for juniors)				
科目区分	研究				
職名	教授	担当教員名	村上 満		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマを設定し、研究計画を立てて、卒業研究中間発表を行う。				
キーワード	研究	研究の方法	研究計画		
到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を理解することができる。(30%)				
	研究の方法を理解し、各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができる。(40%)				
	論文の構成など研究論文の書き方に関する基本的な事項を理解できる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。 以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。 (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 (4) 卒業研究は 2 年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 (5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習 等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 3 年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。 ・卒業研究中間発表会 10 月下旬(予定)	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第2回	研究とは何か	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第3回	研究論文とは	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第4回	文献の探し方 1	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第5回	文献の探し方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第6回	研究の方法 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第7回	研究の方法 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第8回	研究の方法 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第9回	文献抄読 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第10回	文献抄読 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第11回	研究テーマの検討 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第12回	研究テーマの検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第13回	研究計画の検討	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】これまでの研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第16回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分

第17回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第18回	卒業研究中間発表会ポスター閲覧	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究内容からの学びを整理する	90分
第19回	研究計画の検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の課題を整理する	90分
第20回	文献抄読 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第21回	文献抄読 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第22回	文献抄読 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第23回	文献抄読 7	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第24回	論文の書き方 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第25回	論文の書き方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第26回	論文の書き方 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第27回	研究計画の立案 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第28回	研究計画の立案 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第29回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】発表内容を振り返り、自身の研究に向けての課題を整理する	90分
第30回	4 年次卒業研究発表会に参加	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】4年生の研究発表から学んだことを整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究中間発表等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けてたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究			科目コード	K1803F01
英文名	Research Seminar I (for juniors)				
科目区分	研究				
職名	教授	担当教員名	室林 孝嗣		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマを設定し、研究計画を立てて、卒業研究中間発表を行う。				
キーワード	研究	研究の方法	研究計画		
到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を理解することができる。(30%)				
	研究の方法を理解し、各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができる。(40%)				
	論文の構成など研究論文の書き方に関する基本的な事項を理解できる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。 以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。 （１）自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 （２）研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 （３）研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 （４）卒業研究は２年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等（講演会、研究発表会、講習会）に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 （５）文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 ３年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。 ・卒業研究中間発表会 10月下旬（予定）	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第2回	研究とは何か	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第3回	研究論文とは 【様式】卒研発表（ゼミ内様式）	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第4回	文献の探し方 1 【レジュメ】2021卒業研究第4回	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第5回	4年生卒研発表 【レジュメ】2021卒業研究第5回	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第6回	研究の方法 1 【レジュメ】2021卒業研究第6回 【資料】南雲さん、栃谷さん	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第7回	研究の方法 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第8回	研究の方法 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第9回	文献抄読 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第10回	文献抄読 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第11回	研究テーマの検討 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第12回	研究テーマの検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第13回	研究計画の検討	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】これまでの研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分

第16回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第17回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第18回	卒業研究中間発表会ポスター閲覧	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究内容からの学びを整理する	90分
第19回	研究計画の検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の課題を整理する	90分
第20回	文献抄読 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第21回	文献抄読 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第22回	文献抄読 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第23回	文献抄読 7	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第24回	論文の書き方 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第25回	論文の書き方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第26回	論文の書き方 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第27回	研究計画の立案 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第28回	研究計画の立案 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第29回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】発表内容を振り返り、自身の研究に向けての課題を整理する	90分
第30回	4年次卒業研究発表会に参加	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】4年生の研究発表から学んだことを整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究中間発表等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けてたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究			科目コード	K1803F01
英文名	Research Seminar I (for juniors)				
科目区分	研究				
職名	講師	担当教員名	岩崎 直哉		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	3年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	4単位		
授業の概要	指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマを設定し、研究計画を立てて、卒業研究中間発表を行う。				
キーワード	研究	研究の方法	研究計画		
到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を理解することができる。(30%)				
	研究の方法を理解し、各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができる。(40%)				
	論文の構成など研究論文の書き方に関する基本的な事項を理解できる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。 以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。 (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 (4) 卒業研究は 2 年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 (5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習 等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 3 年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。 ・卒業研究中間発表会 10 月下旬(予定)	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第2回	研究とは何か	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第3回	研究論文とは	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第4回	文献の探し方 1	
	【予習】個人研究の振り返り	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第5回	文献の探し方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第6回	研究の方法 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第7回	研究の方法 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第8回	研究の方法 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第9回	文献抄読 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第10回	文献抄読 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第11回	研究テーマの検討 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第12回	研究テーマの検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第13回	研究計画の検討	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】発表の準備	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】これまでの研究を振り返り、今後の研究に向けての課題を整理する	90分
第16回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分

第17回	卒業研究中間発表会のポスター作成	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究をまとめる	90分
第18回	卒業研究中間発表会ポスター閲覧	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究内容からの学びを整理する	90分
第19回	研究計画の検討 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】自身の研究を振り返り、今後の課題を整理する	90分
第20回	文献抄読 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第21回	文献抄読 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第22回	文献抄読 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第23回	文献抄読 7	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第24回	論文の書き方 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第25回	論文の書き方 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分

第26回	論文の書き方 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第27回	研究計画の立案 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第28回	研究計画の立案 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	90分
第29回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】発表内容を振り返り、自身の研究に向けての課題を整理する	90分
第30回	4 年次卒業研究発表会に参加	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】4年生の研究発表から学んだことを整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究中間発表等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けてたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			